

第 4 章 事業計画

第4章 事業計画

4-1 施工計画

4-1-1 施工方針

(1) 事業実施上の基本事項

本計画は、本報告書に基づいて日本国関係機関にて検討され、日本国政府の閣議決定を経て、「ブ」国との両国政府間による本計画に係わる交換公文（E/N）の締結の後に、日本国政府無償資金協力の制度に従って実施される。E/N に従い、本計画に係わるコンサルタント、建築施工業者、および機材納入業者は日本法人とし、「ブ」国側との契約は日本国政府の認証を受ける必要がある。

(2) 事業実施体制

本計画は、MEBA の管轄下で実施され、DEP が実施機関となり、計画内容の協議等調整業務を行い、本計画の実施に係わる設計監理契約、工事契約などの諸手続きも DEP が契約当事者となる。さらに、住民参加による宿舍建設に係わる調査・住民との折衝等「ブ」国側の諸手続き及び建設工事の施工監理も、DEP 内に所管の組織を創設して担当せしめる。

また、外務省が E/N の締結等の 2 国間取極めに関する業務を行い、経済・財務・計画省が銀行取極め業務を行う。

(3) コンサルタント

両国政府間による E/N の締結の後に、MEBA は本計画の基本設計調査に係わった日本法人のコンサルタントと本計画の詳細設計及び施工監理に係わるコンサルタント契約を締結し、日本政府の認証をうける。

契約締結後、コンサルタントは本基本設計調査報告書に基づき MEBA と協議し、教員宿舍を含め計画対象施設の詳細設計及び入札図書を作成して MEBA の承認を得た後、入札業務の代行を行う。さらに教室棟、便所棟の建設工事と教員宿舍建設用資材の調達を監理する。

(4) 工事請負業者

本計画の日本側負担分は、小学校の教室・便所の建設と教室基礎備品の調達・据え付け、及び、教員宿舍建設用資材の調達・各サイトでの引渡しからなる。本件の場合、教室の基礎備品、宿舍建設用資材についても、その内容、規模から教室・便所の建設と一括して発注するのが適当である。

工事請負業者は一定の資格を有する日本の建築專業会社を対象とした入札参加資格制限付一般競争入札により選定される。入札の結果、原則として最低価格入札者を落札者とし、建設工事請負契約を締結し日本政府の認証を受ける。

(5) 現地コンサルタント・建設業者活用分野・方法

ワガドゥグには、建設のコンサルタント会社が数社あり、なかには相当の規模を持ち、外国援助による一連の小学校建設計画のコンサル業務を受注した実績を持つものも含まれている。本件の対象施設は現地工法を採用しているため、実施設計及び施工監理業務において技術的にも問題なく、現地コンサルタントを積極的に活用すべきである。

本件の様に現地工法を採用している場合は、事業費の低減を図るため日本人の労務量を極力節減するよう計画し、現地サブコンを最大限に活用するのが望ましい。小学校は単体の規模が小さく、小規模の業者でも施工可能であり、本件の各対象県の中心都市には小規模の建設業者が存在するが、日本の無償資金協力システムに要求される工期、施工の品質を考慮すると、これらに頼るのは危険が大きく、かえって日本の元請け業者の管理コストを押し上げる結果になりかねない。また、第一次計画の実績によれば「ブ」国の所謂大手業者といえども経営基盤、保有機材は脆弱で、全面的に信頼することはできない。現時点では、ワガドゥグ、ワイグヤ、ボボデュラソーの三大都市に基盤を置く準大手以上数社に、各々の地域の実績等に応じて分割発注し、危険分散と相互の競合を図るのが適当である。

4-1-2 施工上の留意事項

(1) 一般建設事情

1) 建設業者

現在「ブ」国における MTPHU に承認されている建設業者は、規模に応じて下記のようにランク付けられている。

C-1	5,000 万 CFA 以下	(請負金額)
C-2	1 億 CFA 以下	(請負金額)
C-3	1.5 億 CFA 以下	(請負金額)
C-4	1.5 億 CFA 以上	(請負金額)

前記のとおり、本件の下請けとしては、C-4 クラスの複数業者とするのが妥当である。

2) 労務事情

前述のとおり、地方都市にもある程度の熟練労務者は存在するので、現地のサブコンは適宜これらをサイト付近で調達することができるが、技術レベルにばらつきがあると思われ、地方によってはワガドゥグから派遣することが必要となる場合も十分有り得る。

3) 建設資機材

セメント・鉄筋・鉄骨・金物・塗料等、殆どの工業製品についてはフランスを中心とする EC 諸国からの輸入に頼っている割合が高く、鋼製建具等は半製品を輸入し、

自国で製品化している。砂・砂利・木材は自国で産出している。

建設機械については、本計画で使用する簡単なものは殆ど現地で調達可能である。

(2) 施工上の留意事項

- 1) 本計画の建設対象施設は、遠隔地に散在する 77 サイトの計 259 教室を中心としており、これらが無償資金協力システムにおける予算年度枠の中で、効率的に実施する必要がある。そのために、天候の影響、地域の建設事情を考慮しつつ、日本人技術者の負担作業や、数量の限られた建設機械を効率良く配分することが重要である。
- 2) 第一次計画の実績から、日本人技術者のサイト訪問は週 2 回程度必要であり、一人当たり同時担当サイト数は約 5~6 サイトとなる。本計画の対象建物のうち、最も規模の大きい単体の教室棟の建設に必要な必要工期は平均 4.5 ヶ月程度と見込まれる。日本人技術者の張り付けや建設機械の回転を考慮すると、日本人技術者一人当たりの同時担当可能な数サイト (5 サイト前後) を 1 単位とし、そのうちで各サイトの作業工程を少しずつずらして、全体として 5.5 ヶ月で施工するよう計画すれば、1 期 12 ヶ月に 2 単位分 (10~12 サイト) 建設できる。
- 3) 効率的な資機材の運搬、施工の管理・監理を図るため、なるべく地域的にまとめる方向で、施工区分を分割することが望ましい。その際、日本人技術者の長期駐在事務所の設置場所としては、サイトの分布状況と生活施設の整備状況からワガドゥグ、ワイグヤ、ボボデュラソーの三大都市とするのが適当である。これらの下に、よりサイトに近い地方都市に現地人技術者を駐在させる。
- 4) 上記 1) ~3) の想定に基づき、全工区を地図上でシミュレーションした結果、全体を 14 単位に分けることができるが、元請業者の管理能力、現地請け業者の施工能力、建設機械の調達可能量等を勘案すれば、2 期別けとして 1 期当たり各 7 単位、12 ヶ月ずつで実施するのが適当である。第 1 期はワガドゥグ、ワイグヤ、第 2 期はワガドゥグ、ボボデュラソーを駐在基地として、それぞれ近傍の 5 県を効率良く管理する計画とする。各期はそれぞれの前半に 3 単位、後半に 4 単位を建設すると想定する。
- 5) 作業能力が同じ程度の施工チームを確保し、資材を適時に供給できる体制、適切な工程・品質を確保する管理体制をとるよう計画する。
- 6) 住民参加により建設される教員宿舎の建設資材の調達・運搬の計画も、教室の建設計画と連携しつつ、「ブ」国側の作業と密接な調整を図って合理的な計画とする。

これらの検討結果により、各期に建設する建物の数、タイプ、床面積、各サイト毎の各期に建設する建物の数とタイプ等は次の各表のとおりである。

表 4-1 建物タイプ別建設数集計表

タイプ	建物の仕様	倉庫・職員室	基礎深度	壁材料*	第1期		第2期		合計	
					建物数	教室数	建物数	教室数	建物数	教室数
2C0AC	教室棟 (2 教室)	無し	50cm	CB	1	2	0	0	1	2
2C0BC	教室棟 (2 教室)	無し	80cm	CB	0	0	1	2	1	2
2C1AC	教室棟 (2 教室)	有り	50cm	CB	2	4	2	4	4	8
2C1BC	教室棟 (2 教室)	有り	80cm	CB	1	2	4	8	5	10
3COAL	教室棟 (3 教室)	無し	50cm	LB	1	3	4	12	5	15
3C0BL	教室棟 (3 教室)	無し	80cm	LB	0	0	1	3	1	3
3C0BC	教室棟 (3 教室)	無し	80cm	CB	4	12	1	3	5	15
3C1AL	教室棟 (3 教室)	有り	50cm	LB	8	24	13	39	21	63
3C1AC	教室棟 (3 教室)	有り	50cm	CB	13	39	5	15	18	54
3C1BL	教室棟 (3 教室)	有り	80cm	LB	0	0	6	18	6	18
3C1BC	教室棟 (3 教室)	有り	80cm	CB	18	54	5	15	23	69
教室数合計					48	140	42	119	90	259
WCL	便所棟 (6ﾌｰｽ)	—	—	LB	9		24		33	
WCC	便所棟 (6ﾌｰｽ)	—	—	CB	38		17		55	
LL	教員宿舎	—	—	LB	11		25		36	
LC	教員宿舎	—	—	CB	39		27		66	

CB: コンクリートブロック壁, LB: ラテライトブロック壁

表 4-2 建物種類別の延床面積と施工床面積

建物種類	1棟当たり		第1期			第2期			合計		
	延床面積	施工床面積	建物数	延床面積	施工床面積	建物数	延床面積	施工床面積	建物数	延床面積	施工床面積
2 教室/無	153.00	153.00	1	153	153	1	153	153	2	306	306
2 教室/有	191.25	191.25	3	574	574	6	1,148	1,148	9	1,721	1,721
3 教室/無	229.50	229.50	5	1,148	1,148	6	1,377	1,377	11	2,525	2,525
3 教室/有	267.75	267.75	39	10,442	10,442	29	7,765	7,765	68	18,207	18,207
教室合計	—	—	48	12,317	12,317	42	10,442	10,442	90	22,759	22,759
便所棟	9.36	33.50	47	440	1,575	41	384	1,374	88	824	2,948
合計	—	—	—	12,756	13,891	—	10,826	11,816	—	23,682	25,707
教員宿舎	67.22	70.39	—	—	—	102	6,856	7,180	102	6,856	7,180
合計	—	—	—	—	—	—	17,682	18,996	—	30,439	32,887

教室の種類…有→倉庫・職員室付き、無→倉庫・職員室無し

表4-3 各校の計画対象建物の数と種類

県/ 番号	学校名	建設 予定数	期分 け	学校の周辺条件				建設予定建物の仕様					
				電気設備 0無 1有	水源0:有 1:0.5km内 2:他	工事用水 水源 (0 ~2)	アクセス/ 雨期の通 行(0~2)	基礎深度 (cm)	壁材料	教室棟記号	便所棟 記号	宿舍 記号	
BAZEGA	1 GOANGHIN	3	2	0	1	2	2	50	コンクリート	3C1AC	WCC	1	LC 3
	2 KOMBISSIRI (E)	2	2	0	2	0	2	80	コンクリート	2C1BC	WCC	1	LC 3
	3 KONIOUDOU	3	2	0	2	2	0	80	コンクリート	3C1BC	WCC	1	-
	4 NANGOUWA	3	2	0	1	0	0	80	コンクリート	3C1BC	WCC	1	LC 3
	5 MONOMTENGA	6	2	0	2	0	2	80	コンクリート	3C1BC+3C0BC	WCC	2	-
	6 BABDO	2	2	0	0	0	0	80	コンクリート	2C1BC	WCC	1	LC 1
	7 NAMBE	2	2	0	1	0	0	50	コンクリート	2C1AC	WCC	1	LC 2
	9 SAPONE MARCHE (B)	2	2	0	1	0	1	80	コンクリート	2C1BC	WCC	1	LC 2
	計	23	8	0	7							9	11
BOUGOURBA	1 NISSEO	3	2	0	2	0	2	50	レンガ	3C1AL	WCL	1	-
	2 ORPOUNE	3	2	0	0	1	2	50	レンガ	3C1AL	WCL	1	-
	3 DIEBOUGOU (C)	6	2	0	0	0	2	50	レンガ	3C1AL+3COAL	WCL	2	-
	4 BALEMBAR	6	2	0	1	0	2	50	レンガ	3C1AL+3COAL	WCL	2	LL 2
	5 SANGOLO	3	2	0	0	0	0	50	レンガ	3C1AL	WCL	1	-
	6 TINGUERA	3	2	0	1	2	0	80	レンガ	3C1BL	WCL	1	LL 3
	7 BAPLA	3	2	0	0	0	2	50	レンガ	3C1AL	WCL	1	LL 3
	9 LOTO	3	2	0	1	0	2	50	レンガ	3C1AL	WCL	1	LL 2
	計	30	8	0	6							10	10
BOLKEMENDE	1 YORO-YARCE	3	2	0	0	0	1	50	コンクリート	3C1AC	WCC	1	-
	2 SIGLE	3	2	0	1	1	2	80	コンクリート	3C1BC	WCC	1	LC 3
	3 DOULOU	4	2	0	1	1	2	80	コンクリート	2C1BC+2C0BC	WCC	1	LC 3
	4 SAVILY	3	2	0	0	0	2	80	コンクリート	3C1BC	WCC	1	-
	5 TAMPENGA	3	2	0	0	0	1	50	コンクリート	3C1AC	WCC	1	LC 1
	7 YORGO (THYOU)	2	2	0	2	0	2	50	コンクリート	2C1AC	WCC	1	-
	8 ZERKOU	3	2	0	1	2	1	50	コンクリート	3C1AC	WCC	1	LC 3
	9 NIANKADO	3	2	0	0	0	0	50	コンクリート	3C1AC	WCC	1	LC 3
	計	24	8	0	4							8	13
HOUEI	1 BARE	3	2	0	0	2	2	50	レンガ	3C1AL	WCL	1	LL 3
	3 SAMATOUKORO	3	2	0	0	1	2	50	レンガ	3C1AL	WCL	1	-
	5 PENI	6	2	0	0	1	2	50	レンガ	3C1AL+3COAL	WCL	2	-
	6 BODIALEDAGA	6	2	0	1	0	2	80	レンガ	3C1BL+3C0BL	WCL	2	LL 3
	7 LAFIABOUGOU (D)	3	2	0	0	2	2	80	レンガ	3C1BL	WCL	1	-
	8 MATOURKOU	6	2	0	0	0	2	50	レンガ	3C1AL+3COAL	WCL	2	LL 3
	10 TOUGASCOURA	3	2	0	1	0	2	80	レンガ	3C1BL	WCL	1	LL 2
計	30	7	0	4							10	11	
KOSSI	1 CISSE	3	2	0	1	0	0	50	レンガ	3C1AL	WCL	1	LL 2
	4 KOMBARA	3	2	0	1	0	0	80	レンガ	3C1BL	WCL	1	-
	5 KOSSO	3	2	0	0	0	2	50	レンガ	3C1AL	WCL	1	LL 2
	7 TONI	3	2	0	1	1	0	80	レンガ	3C1BL	WCL	1	-
計	12	4	0	4							4	4	
OUBRETENGA	1 SAO	3	1	0	0	0	0	50	コンクリート	3C1AC	WCC	1	LC 3
	4 WAVOUSSE	3	1	0	0	2	1	50	コンクリート	3C1AC	WCC	1	-
	7 BOUSSE (A)	3	1	0	0	2	2	50	コンクリート	3C1AC	WCC	1	-
	10 ANNEXE ENEP	6	1	1	0	0	1	80	コンクリート	3C1BC+3C0BC	WCC	2	LC 3
	11 NOMGANA	6	1	1	1	0	2	80	コンクリート	3C1BC+3C0BC	WCC	2	-
計	21	6	2	1							7	6	

県/ 番号	学校名	建設		学校の周辺条件				建設予定建物の仕様				
		予定数	期分け	電気設備 0無 1有	水源0:有 1:0.5km内 2:他	工事用水 水源(0 ~2)	アクセス/ 雨期の通 行(0~2)	基礎深度 (cm)	壁材料	教室棟記号	便所棟 記号	宿舍 記号
PASSORE	1 YALGATENGA	3	1	0	0	2	2	50	コンクリート	3C1AC	WCC 1	-
	2 GNANGLA	3	1	0	2	0	2	50	コンクリート	3C1AC	WCC 1	-
	3 DAKORE	3	1	0	2	0	0	50	コンクリート	3C1AC	WCC 1	-
	4 KABA	4	1	0	2	0	1	50	コンクリート	2C1AC+2COAC	WCC 1	-
	5 BATONO	3	1	0	1	0	1	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	-
	6 ZOUGO	3	1	0	1	0	0	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	LC 2
	7 SONG-NABA	3	1	0	0	2	2	50	コンクリート	3C1AC	WCC 1	LC 3
	8 PELGATENGA	3	1	0	1	2	2	50	コンクリート	3C1AC	WCC 1	LC 2
計	25	8	0	6						8	7	
SANGUTE	1 BOUNGA	3	1	0	0	2	0	50	コンクリート	3C1AC	WCC 1	-
	2 TITA(B)	3	1	0	0	0	2	50	コンクリート	3C1AC	WCC 1	-
	3 NEMELAYE	3	1	0	0	0	2	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	-
	4 YOULOUPO	3	1	0	0	0	0	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	-
	5 SANDIE	3	1	0	1	0	1	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	LC 3
	6 REO SECT. 8	3	1	0	0	0	0	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	LC 2
	7 REO SECT. 9	3	1	0	0	0	0	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	LC 2
	9 BAPORO	3	1	0	1	0	2	50	コンクリート	3C1AC	WCC 1	-
	10 NEDIALPOUN	3	1	0	0	0	1	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	LC 2
	12 REO SECT. 1(A)	6	1	1	0	2	2	80	コンクリート	3C1BC+3COBC	WCC 2	-
	13 REO SECT. 1(B)	6	1	1	0	2	2	80	コンクリート	3C1BC+3COBC	WCC 2	-
	16 ZOULA	3	1	0	0	0	2	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	LC 2
	17 GOUNDI(B)	3	1	0	0	0	2	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	LC 3
計	45	13	2	4						15	14	
SOUROU	1 GUIMOU	6	1	0	1	2	2	50	レンガ	3C1AL+3COAL	WCL 2	LL 2
	2 YEUERE	3	1	0	0	0	2	50	レンガ	3C1AL	WCL 1	LL 2
	3 KAMINA	3	1	0	1	2	0	50	レンガ	3C1AL	WCL 1	-
	4 BAGNONTENGA	3	1	0	0	0	0	50	レンガ	3C1AL	WCL 1	LL 2
	6 KOUAYO	3	1	0	0	0	0	50	レンガ	3C1AL	WCL 1	-
	6 GOURAN	3	1	0	2	0	2	50	レンガ	3C1AL	WCL 1	-
	7 BO	3	1	0	0	2	2	50	レンガ	3C1AL	WCL 1	LL 3
	8 BOUARE	3	1	0	0	0	2	50	レンガ	3C1AL	WCL 1	LL 2
計	27	8	0	3						9	11	
YATENGA	1 SAYE	3	1	0	2	0	1	50	コンクリート	3C1AC	WCC 1	LC 2
	2 MERAYAWA	3	1	0	0	2	0	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	-
	3 SOUMIANGA	3	1	0	0	0	2	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	LC 3
	4 YABONSOGO	3	1	0	0	0	0	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	LC 3
	5 SON-HON	3	1	0	1	0	2	80	コンクリート	3C1BC	WCC 1	-
	6 COURCY(C)	2	1	0	1	2	2	80	コンクリート	2C1BC	WCC 1	-
	7 KOUDOUMBO	3	1	0	0	0	2	50	コンクリート	3C1AC	WCC 1	LC 2
	8 BOURSOCMA	2	1							2C1AC	WCC 1	LC 2
計	22	8	0	3						8	12	

教室数 学校数

1期	140	42
2期	119	35
全期	259	77

[アクセス]
0:未舗装の田舎道>5km
1:未舗装の田舎道<5km
2:幹線道に隣接

[工事用水源]
0:距離>0.5kmまたは有無未確認
1:距離<0.5km
2:学校敷地内に存在

[教室棟記号]

2C: 2教室型, 3C: 3教室型

0: 倉庫無し, 1: 倉庫付

A: 基礎深50cm, B: 基礎深80cm

C: コンクリート, L: レンガ

便所 宿舍

47	50
41	52
88	102

4-1-3 施工区分

本計画の施工は、無償資金協力の制度に従い、日本政府と「ブ」国政府との協力によって実施される。両国の分担業務内容は以下の通りである。

(1) 日本国政府負担工事

1) 施設関係

- － 本基本設計報告書に記載された建物の工事
- － 建物内の電気・衛生設備の工事

2) 機材（教室基礎備品）関係

- － 機材の調達
- － 機材据付け工事

3) 宿舍用建設資材関係

- － 本基本設計報告書に記載された資材の調達
- － 同上資材のサイトまでの運搬・引渡

(2) ブルキナ・ファソ国政府負担工事

1) 敷地・外構工事関係

- － 敷地内既存構造物・樹木等の障害物撤去及び整地工事
- － 塀・門などの外部施設の建設

2) 基幹工事関係

- － 電力引き込み

3) 什器・備品関係

- － 日本国政府負担範囲外の什器・備品・家具等

4) 住民による教員宿舍の建設計画管理

4-1-4 施工監理計画

日本国政府の無償資金協力の方針に基づき、コンサルタントは基本設計の主旨を踏まえ、実施設計業務・監理業務について一貫したプロジェクト遂行チームを編成し、関係各部の意見調整を図り、順調な施設完成を目指す。

施工監理段階において、コンサルタントは本計画の工事現場に適切な技術を備えた現場常駐監理者を派遣し、工事指導・連絡を行う他、工事進捗に合わせて適切な時期に専門技術者を短期間現地に派遣し、検査立ち会い・施工指導を行う。

(1) 監理の方針

- 1) 両国関係機関、担当者と密接な連絡・報告を行い、延滞なく建設工程に基づく施設の完成を目指す。

- 2) 施設完成引き渡し後の先方保守管理に対し、適切な助言と指導を行い、円滑な運営をうながす。

(2) 監理業務

1) 工事契約に関する協力

工事契約方式決定、工事契約書案の作成、工事内訳明細書内容調査、工事施工者の選定

(入札時前審査、入札公告、入札及び入札評価、契約交渉及び契約立ち会い)

2) 施工図書等の検査及び承認

工事施工者から提出される施工図、施工計画書、材料、仕上げ見本、設備資機材の検査及び承認

3) 工事の指導

工事計画・工程などを検討し、工事施工者を指導する。

4) 工事状況報告

施主に対し、工事進捗状況を報告する。

5) 支払いの承認手続きの協力

工事中及び工事完成後に支払われる報酬に関する請求書等の内容検討及び手続きの協力

6) 検査立会

着工から完成迄の建設中の各出来形に対する検査を行う。

7) 竣工検査

施設及び機材の竣工検査を行い、契約図書内容に合致していることを確認する。

8) 住民参加による宿舍建設の実施状況の確認・技術指導

(3) 監理体制

コンサルタントは本計画の規模から判断し、全行程を通して技術者 1 名を「ブ」国に派遣するものとする。また、多数のサイトにおける施工監理業務を遅滞なく行えるよう、現地の適切な技術レベルを有する技術者 5 名を雇用する。この他、工事の進捗に応じ、最低限必要となる技術者を日本より現場に派遣し必要な検査・指導・調整に当たると共に、日本国内側にも担当技術者を配置し、現地との連絡業務およびバックアップに当たる体制を確立する。さらに、本計画の第 2 期においては、住民参加により実施される教員宿舍建設に係わる日本側の資材調達、建設状況のモニター、技術指導等を担当する現地の技術者 5 名を雇用する。

また、日本国政府関係者に対し、本計画の進捗状況・支払手続き・竣工引き渡し等に関する必要諸事項の報告を行う。

以上を勘案した施工監理体制及び関連する部署を次頁の図 4-1 に示す。

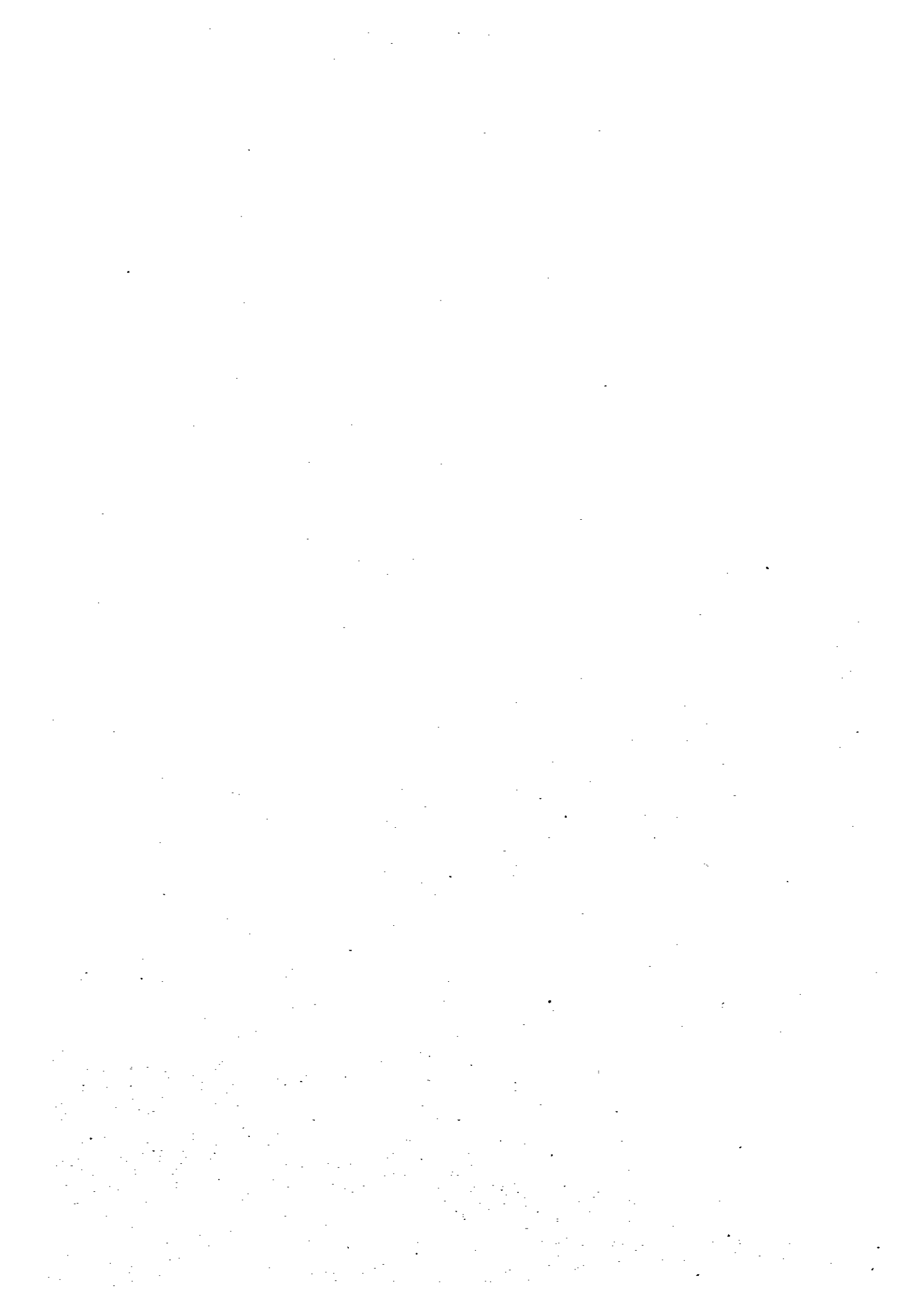
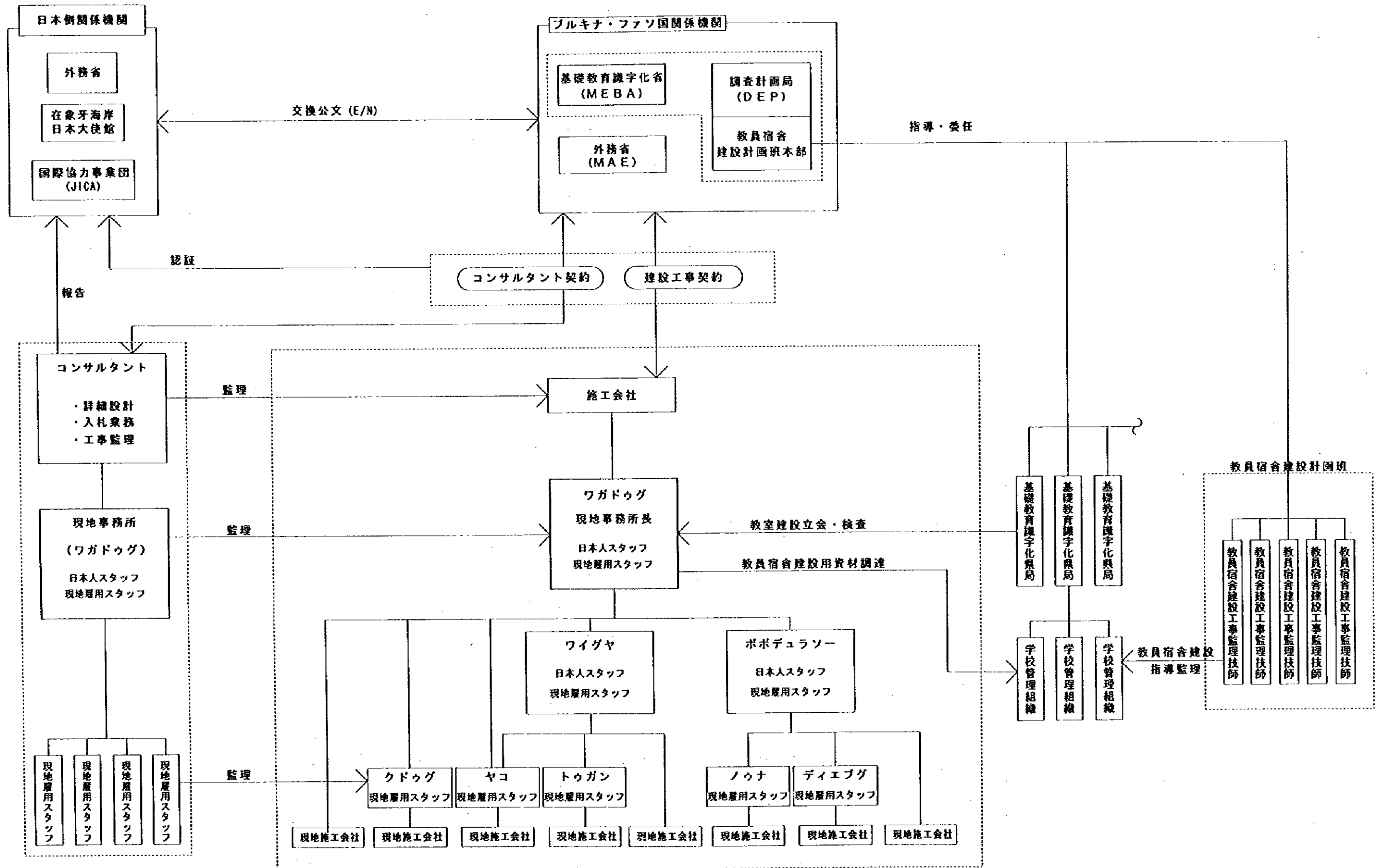
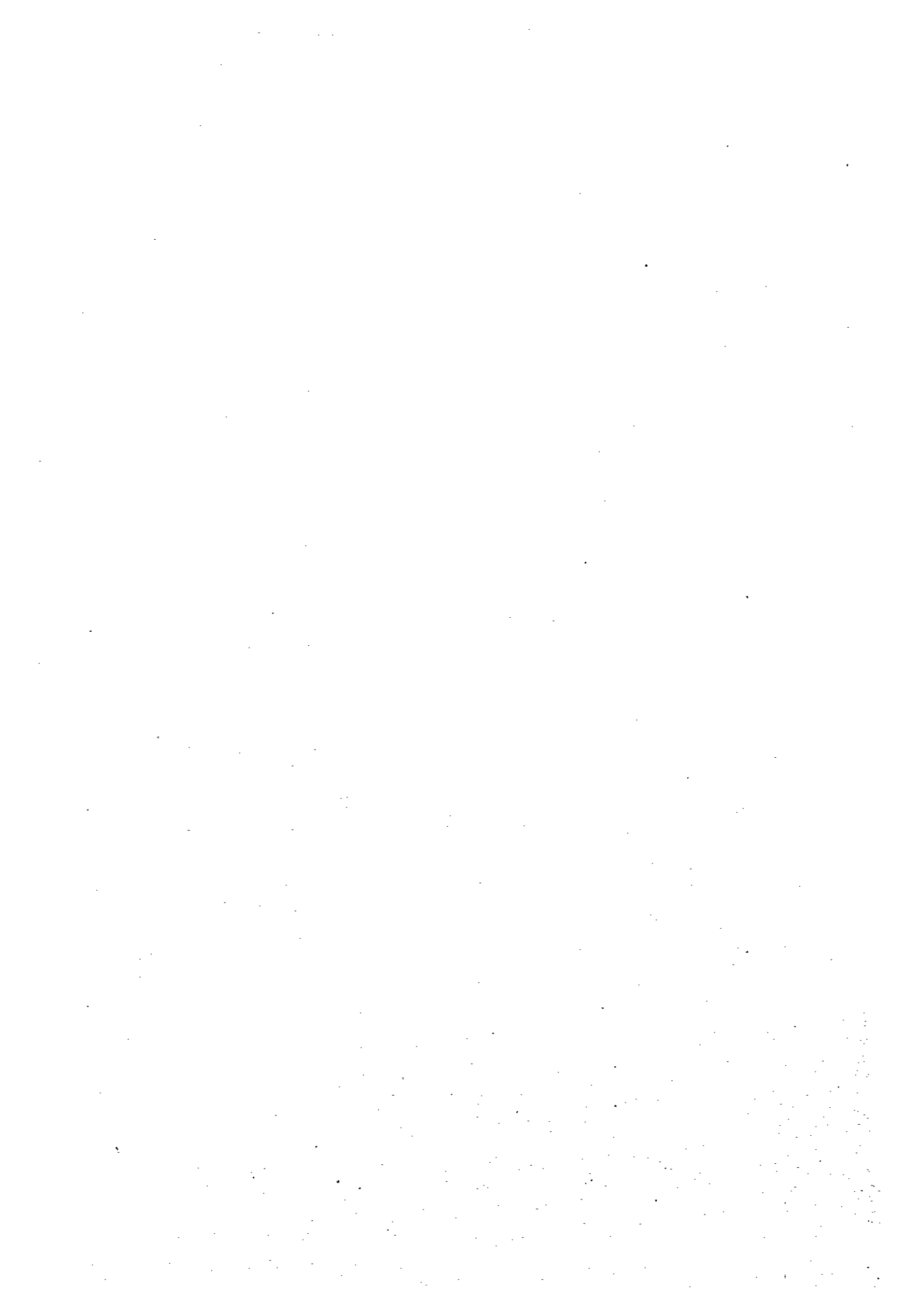


図4-1 施工監理・資材調達管理体制





4-1-5 資機材調達計画

本計画の施設建設に必要な建設資機材は、輸入品を含めて全て現地調達が可能である。ただし、レベルおよびトランシットは、日本人の利用を考慮して日本調達とし、表4-4のとおりとする。

表4-4 主要建設資機材

資機材	現地調達	第3国調達	備考
建築工事			
セメント	○		輸入品
砂	○		
砂利	○		
鉄筋	○		輸入品
鉄骨	○		輸入品
型枠材	○		
コンクリートブロック	○		現場製作
ガラスブロック	○		輸入品
ベニア板	○		輸入品
木材	○		
金属建具	○		輸入型材現地加工
木製建具	○		現地製作
雑金物	○		輸入品
塗料	○		輸入品
什器・設備	○		家具類は現地加工
設備工事			
PVC管	○		輸入品
電気工事			
電線・ケーブル	○		輸入品
照明器具	○		輸入品
配線器具	○		輸入品
建設機械・器具			
資機材	現地調達	日本調達	備考
コンクリートミキサー	○		
振動ローラー	○		
発電機	○		
トラック	○		
コンクリーパイプレーター	○		
溶接機	○		
レベル	○	○	日本人用は日本調達
トランシット	○	○	日本人用は日本調達
タンクローリー	○		
鉄筋加工機	○		

4-1-6 施工工程

本計画は、日本政府の無償資金協力により実施される。両国間 E/N 締結後に「ブ」国政府とコンサルタントの間で詳細設計が契約がなされ、詳細報告書作成、入札・工事契約を経て建設工事及び資機材調達が施工会社により実施される。

(1) 詳細設計業務

コンサルタントは基本設計を基に詳細設計を行い、入札用図書を作成する。入札図書は、詳細設計図、仕様書、予算書からなり、予算書は基本設計時の事業費積算額との誤差は 10%以内に押さえたものである。コンサルタントは詳細設計業務の初期と後期に、「ブ」国政府機関と協議し最終成果品についてその承認を得る。この作業所要期間は 3 ヶ月と見込まれる。

(2) 入札業務

コンサルタントは「ブ」国の実施機関を代理して、日本において工事入札参加資格事前審査 (P/Q) を広告により行い、審査結果により入札参加者を招聘して日本において入札を行う。入札には「ブ」国から本計画実施担当責任者が立ち会うことが期待され、落札者と「ブ」国政府との間で工事請負契約を締結する。この作業期間は 2.5 ヶ月と見込まれる。

(3) 建設工事

工事請負契約締結後、日本国政府の認証を得て発効し、工事が着工される。建設に要する期間は 1 工区 (約 20 サイト前後) 約 5.5 ヶ月と見込まれ、全工区 77 サイトを 4 工区に別け、第 1、2 工区を第 1 期に準備も含め 12 ヶ月で、残りの第 3、4 工区を第 2 期に 12 ヶ月で建設する。

(4) 先方国関係機関と諸手続き業務

1) 基礎教育識字化省 (MEBA)

本計画の実施期間として、基礎教育識字化省は以下の諸手続き業務を行う。

コンサルタント契約手続き

支払い授權書手続き

建築許可申請

工事契約手続き

コンサルタント報酬、工事費支払い発行証明

建設期間中及び施設完成後の必要関係機関への許可届出

実施担当機関である基礎教育識字化省は、本計画施設を円滑に実施促進するために、関係機関と密なる業務調整が望まれるものである。

2) 外務省

外務省は日本国政府と本計画に関する交換公文(E/N)を締結する。

3) 経済・財務・計画省

同省は、本計画に関する銀行取極の手続きを行う。

表 4-5 事業実施工程表

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
第 一 期	実 施 設 計	現地調査												
		国内作業												
	施 工 ・ 調 達	工事準備												
		教室施工1												
第 二 期	実 施 設 計	現地調査												
		国内作業												
	施 工 ・ 調 達	工事準備												
		教室施工1												
教 員 宿 舎	資材調達													
	輸送・引き渡し													

4-1-7 相手国側負担事項

基本設計調査ミニッツにおいて、確認された本計画実施に係わる「ブ」国側負担事項は、下記の通りである。

- 1) 計画のための用地を確保すること。
- 2) 建設される教室に対して十分な人数の教員を配置すること。
- 3) 必要に応じ、建設工事の開始前に、プロジェクトサイトより障害物を撤去し、均すこと。
- 4) 必要に応じ、建設工事のために必要なアクセス道路を建設すること。
- 5) 工事中の授業の継続を保証すること。
- 6) 造園、外構照明、門扉の建設などの付帯外構施設の建設を必要に応じて行うこと。
- 7) 電気、水道、下水などの付帯施設のサイトまでの引き込みを必要に応じて行うこと。
- 8) 日本の外国為替銀行に対し、銀行取り極めに基づき、支払い授權書(A/P)のアドバイス料、及び支払手数料などの手数料を支払うこと。
- 9) プロジェクト用の資機材の迅速な通関に必要な手続き及び免税手続きを行うこと。
- 10) 認証された契約に基づいて提供された役務及び機材に対し、「ブ」国において日本法人または日本人に対して課される、関税、国内税、その他の財政的な義務を免除すること。
- 11) 認証された契約に基づいて提供される役務及び機材に関連して必要とされる日本人又は日本法人の構成員に対し、その役務の提供に必要な「ブ」国入国及び滞在に必要な措置を保証すること。
- 12) プロジェクトの実施に必要な許可、免許などを発行すること。
- 13) 無償資金協力により建設された施設や供与された機材を適切かつ効率的に運用、維持管理するのに十分な教員、予算、児童を確保すること。
- 14) 基礎教育識字化省は地域コミュニティーの学校運営管理状況をモニタリングし、無償資金協力により建設された施設や調達された機材が効果的に活用され、かつ効率的に運用、維持管理されるよう適切な指導助言を行うこと。

- 15) 基礎教育識字化省 (MEBA) は、本計画の協力対象となるコミュニティによる教員宿舎建設の監理のために必要な予算措置を遅滞なく行い、組織整備及び人員配置を実行すること。
- 16) 基礎教育識字化省 (MEBA) は、コミュニティによる教員宿舎の建設を監督し、日本の無償資金協力で調達された資材が、適正に使用されるよう適切な指導助言を行うこと。
- 17) プロジェクト範囲内で、日本の無償資金協力により提供されないすべての費用を負担すること。

4-2 概算事業費

4-2-1 概算事業費

本計画を日本の無償資金協力により実施する場合に必要な事業費総額は、約 21.56 億円となり、先に述べた日本と「ブ」国との負担区分に基づく双方の経費内訳は、下記に示す積算条件によれば、次のとおりと見積もられる。

(1) 日本側負担経費

単位：億円

事業費区分	第1期	第2期	合計	備考
建設費	9.00	6.99	15.99	
(直接工事費)	(5.67)	(4.56)	(10.23)	
(共通仮設費)	(1.20)	(0.68)	(1.88)	
(輸送梱包費)	(0.44)	(0.37)	(0.81)	
(現場経費)	(1.13)	(0.92)	(2.05)	
(一般管理費)	(0.56)	(0.46)	(1.02)	
資機材費 (家具等)	0.50	0.42	0.92	
資材費(教員宿舎用)	0.00	2.59	2.59	
設計監理費	0.98	1.08	2.06	
合計	10.48	11.08	21.56	

(2) 「ブ」国側負担経費 127.1 百万 F.CFA (26.7 百万円)

a. 宿舎建設計画・管理費	64,020,802F.CFA	(13.4 百万円)
b. 宿舎建設補助金	61,020,000F.CFA	(12.8 百万円)
c. 電気引き込み費	1,920,000F.CFA	(0.4 百万円)
合計	127,140,802F.CFA	(26.7 百万円)

(3) 積算条件

1) 積算時点

平成9年8月

2) 為替交換レート

1F.CFA=0.21円

3) 施工期間

2期による施工とし、各期に要する詳細設計・工事の期間は施工工程に示したとおりである。

4) その他

本計画は、日本国政府の無償資金協力の制度に従い実施されるものとする。

4-2-2 運営維持・管理費

(1) 維持・管理計画

本計画の対象校は大部分が遠隔農村部に位置し、上下水道、配電等の都市基盤設備がなく、一部の例外を除いてこれらの使用料金支出を必要とする設備はないため、維持管理の支出は建物の維持管理費と教育資機材補充費のみである。小学校教室の維持・管理については、建前上 MEBA が責任を負うが、限られた予算のなかで、実態は各学校の通学児童の父兄やその他の住民の負担により行われている。

本計画においては維持管理費が極力かからない耐久性に富む施設を計画することにより、短期的には補修工事等の費用はほとんど不要になる。また、長期的に必要となり得る壁面の塗装、屋根材・建具・金物等の補修、交換については、現地調達が可能で、現地の技術で対応が可能な施工方法を採用しているため、現状の維持管理予算の範囲内で、本計画施設の持続的な効果を保つことが十分可能である。

教員宿舎については、従来、住民側が建設して住民が所有し、無料で教員の使用に供するのが一般的であったが、今回建設の対象宿舎は大部分のコストを政府側（及び日本の援助）が負担することになるので、教室と同様に所有権、維持管理責任は政府にあり、政府の監督のもと、日常的な維持管理は居住者が自ら行うものとする。

(2) 維持・管理費用

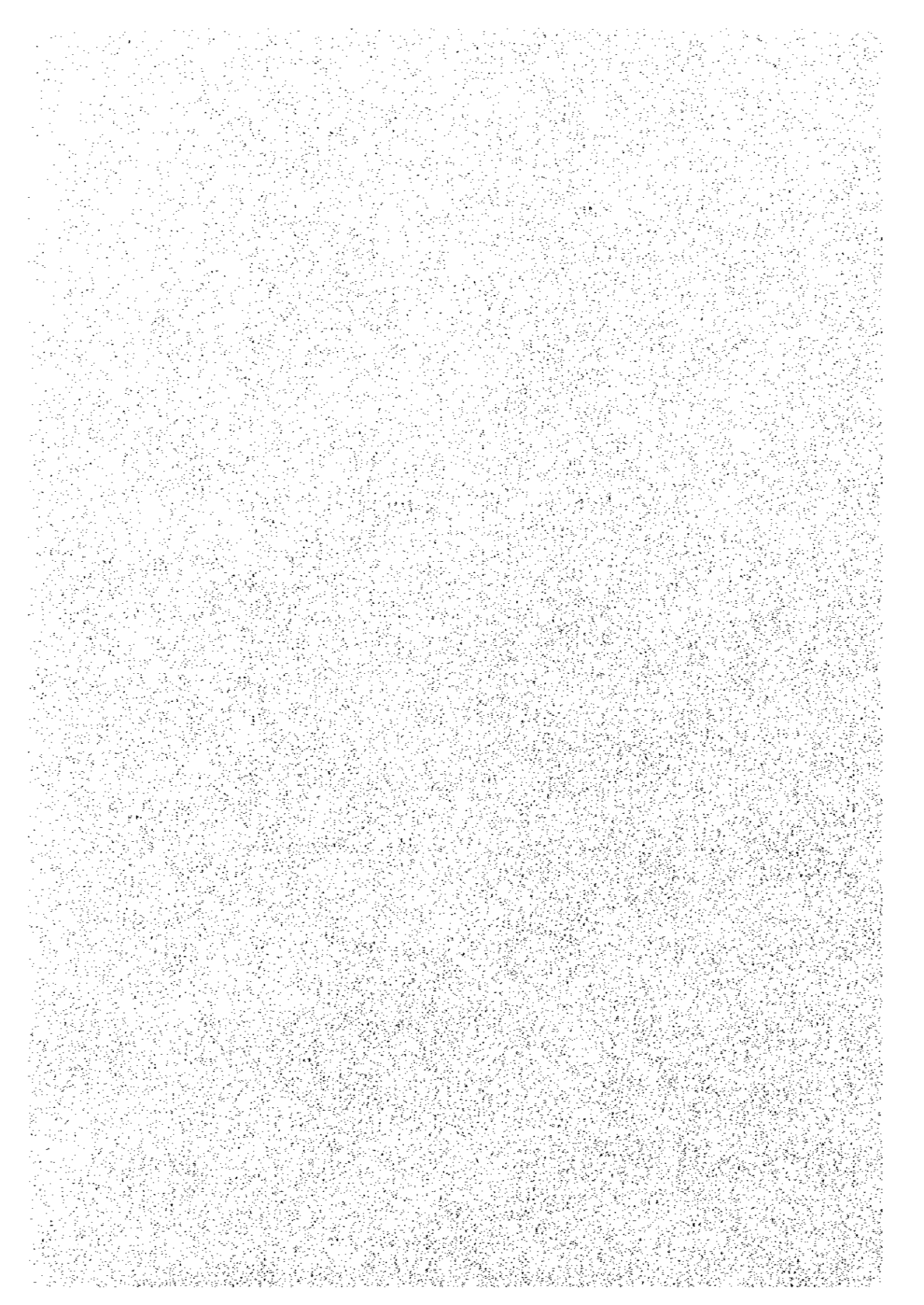
前述の通り、教育施設の維持管理費の大部分は学校に通う児童の保護者への割当金に頼っているのが現状である。この割当金は PTA が集金し、その使途も主に PTA が決定する。割当金の金額は、児童一人当たり 1,000~2,000F.CFA と学校によって異なっている。また、児童数の多い学校ではまとまった額を維持管理費に充てるのが可能であるが、児童数の少ない学校では、数年がかりで建物の修繕を行わざるを得ない場合もある。各県の学校で行ったヒアリングによると、児童一人当たりの割当金は平均 1,500F.CFA であった。1学校あたり 3教室、児童 150人とする、割当金による収入は、

平均 150人/3教室 × 1,500F.CFA = 225,000F.CFA となる。

このうちの一部は、学校によっては給食の調理人等の給与、ノート等の教材費に使われるが、割当金の多くは施設の維持管理費、あるいは建設費用に充てられている。ヒアリング調査によると、現在1校あたり平均10万FCFAが施設の維持管理費として使われている。この割当金は固定的なものではなく、施設の維持管理等において、緊急に通常以上の予算が必要である場合には、必要金額に合わせて、別途割当金の増額が徴収される。また大規模な修繕や建築が必要とされている場合には、保護者以外の村の住民や、出稼ぎ者からの寄付を募ることでまかなっている。

年間約23万FCFAという割当金が継続的に学校収入として活用できるならば、本計画で耐久性に富む教育施設を計画することによって、本計画の持続的な効果を保つことは可能であると考えられる。しかし、現金収入の乏しい農村部では割当金の徴収はその他にかかる教育費（年間10,000~20,000FCFAといわれる）と共に、保護者の大きな負担となっていることが考えられるため、今後MEBAに対して施設維持管理費の充実を促していく必要がある。

第5章 プロジェクトの評価と提言



第5章 プロジェクトの評価と提言

5-1 妥当性にかかる実証・検証及び裨益効果

「ブ」国政府は、教育開発の推進に取り組んでおり、特に初等教育重視の姿勢は、「公共投資3ヵ年計画（1996-1998年）」および、IMFの構造調整融資実施にあたって作成された「強化構造改革政策—1996-1998経済政策大綱」の2つの国家開発計画に明確に打ち出されている。初等教育部門においては、総就学率を1996年の38%から2006年には60%に向上させることを目標の一つに掲げており、そのために、教員養成の充実と学校建設計画の実施により教育へのアクセスを増やす方策に重点を置いている。

教員養成については、現在2校の教員養成学校に加えて、新たに2校の新設を準備中であり、これが計画通り進行すれば、教室数に対して十分な数の教員数を確保することが可能になっている。一方、学校建設に関しては、世銀を中心に実施している第4次教育プロジェクトにおける1,200教室の建設、UNICEFを中心として実施している「教育機会拡大プロジェクト（仮称）」における衛星学校の建設の他、EUやイスラム開発銀行も小学校建設を支援している。

本計画は、「ブ」国政府の教育開発計画の主に教育の量の拡大の面を支援するものであり、また他援助機関の教育施設整備計画を補完するものと位置づけられる。本計画は、以下の観点から無償資金協力による計画の実施が妥当であると判断される。

(1) 教育機会の増大

教育の量の拡大については、様々な援助機関が支援を行っているものの、教育意識の高まりによる就学者の増大や、都市の人口増加による教育機関への圧迫を解消するには十分でない。1996～2000年の小学校就学年齢人口（7～12歳）の年平均増加率は約3.4%であり、1996年の2,055,000人から2000年には2,349,000人に増加すると予測されている。このような人口増加が続くと仮定すれば、総就学率を1996年の38%から、2006年までに60%に向上させるためには、約99万人の就学が必要となる。本計画における教室の増築は118教室であり、1教室あたりの児童数を60人として、年間の直接裨益児童数は、7,080人となる。

「ブ」国では、複式学級や2部授業の全国的な普及はゆるやかであり、現状では教室数が不足しているために、就学年齢児童でもその入学を学校側が断っているケースがしばしば見られる。教育の質を落とさないよう、カリキュラムや教員養成の面で考慮しつつ、過渡期の方策として複式学級や2部授業を推進する一方で、学校教室の拡大を図る必要がある。

(2) 教育の需要の増加

教育への参加を拡大するためには、学校施設の増加等によって教育の供給を増加させるだけでなく、学校に通うことによるコストを削減し、反対に便益を高めることによって、教育の需要を増加させるための取り組みが不可欠である。現在、主に教育施設の維持管理費と学校で使用される教材・家具購入に必要な費用等に充てる割当金（児童一人当たり1,000～2,000F.CFA）が、学校に通う児童の親の負担になっており、それに加えて教室の新設や修復が必要な時には、別途割当金が徴収されている。さらに、子どもを学校に送るためには、ノートなどの学用品や衣服の購入費、教科書購入費（通常貸与さ

れているが、高学年になると購入を希望する場合も多い)等の教育費が年間 5,000～20,000F.CFA 必要であり、現金収入が少なく、子どもの多い農村部の家庭では、大きな負担になっている。

さらに学校に子どもを送ることによって、教育にかかる直接費用だけでなく、家庭内の子どもの労働が失われることによる機会費用も発生することになる。現金収入を得ることのできる労働は多くないが、男子児童は家畜の世話、薪集め、畑仕事等、女子児童は水汲みや台所仕事など、母親の家事全般の手伝いを行っており、貴重な労働力となっている。

本計画では耐久性に富む教育施設を計画し、教員宿舎の資材供与型支援を行うことによって、従来、住民・保護者の負担となっていた施設建設費用やメンテナンス費用を大幅に軽減することが可能であり、教育にかかるコストの軽減による教育の需要の増加が見込まれる。

(3) 教育環境の改善

本計画の建て替え対象となる教室は、老朽化の激しいバンコ造のものである。雨漏り、採光が不十分、通気性が悪い等の問題がある上に、住民が1教室ずつ増築しているために安全面に問題がある教室も見られる。また教室の不足を補うために藁葺きの掘立て小屋を簡易教室としている学校もあり、一般に教育環境は劣悪である。このような小学校教室の建て替えを行う本計画の実施により、教育環境が大幅に改善される。教育環境の改善によって、雨や風によって授業が妨げられることなくカリキュラムをこなすことが可能になり、教育の質に好影響を与えることが可能になる。さらに、教育環境の改善は、児童の教育達成度や教育の内部効率(中退率、留年率等)にも影響を与えるとの報告もなされている。本計画では対象校において便所の設置も予定されている。農村部では便所のある村は稀であり、衛生教育上の観点からも、便所の設置は有効であると考えられる。また、便所の設置は、女子の就学率に好影響を与えるというバングラデシュやパキスタンにおける研究結果も出されている。

(4) 良質な教員の確保

移動手段を確保することの難しい村においては、教員が学校近辺に居住することは、学校教育の面からも、また教員の生活確保の面からも重要である。教員宿舎は、従来住民・保護者が財政・労働負担をして建設し、教員に無料で提供するのが一般的である。財政的に不足している村の住民の手による教員宿舎は、多くの場合教員の数に充たず、教員宿舎の不足は、雨期の休校を余儀なくされる等学校の運営にも影響を与えている。また、教員宿舎の住居と同レベルのバンコ造りで劣化の早いものがほとんどであり、教員宿舎の数の不足に加えて、雨漏り、ひびわれ、ネズミや虫の害等の質の問題も抱えており、居住環境は悪い。教員の多くは都市近郊出身者で、村の生活に不慣れな上、民族・言語の違いもあって、村への帰属意識も薄い。また、公務員としての教員の立場と村の住民の間の社会的階層差が存在することも否めない。従って、教員宿舎の居住環境は、教員の定着やモチベーションに大きな影響を与えており、教員宿舎の整備は、教育の質の向上に寄与するものであると考えられる。

(5) 学校教育に対する住民の意識向上

今回サイト調査を行った多くの村においては、住民の学校教育への意識向上がきつ

けとなって、住民の経済力・労働力負担によって小学校建設が行われており、学校教育の必要性に対する認識は高いと考えられる。しかし、それは「すべての子どもに教育を」という意識ではなく、「機会に恵まれれば（教室の余裕があれば、教育費を負担することが可能ならば）学校に行かせたい」という認識にすぎない。住民のインタビュー結果でも、母親一人あたり平均 7~8 人の子どものうち、学校に通っているのは半数以下という状況であった。この不就学の原因は教室の不足による入学の拒否や、金銭的理由によるものが多いが、「積極的な子どもは学校に行かせるが、内気な子どもは家においておく」、あるいは「女子よりは男子を学校に行かせる」といった判断を親が行っている例も見られ、子どもの性格や性差で就学が決定されている状況も稀ではない。

この点からも、就学率の向上には保護者に対する啓蒙活動が必要であると考えられる。本計画では、その目的である教育環境の整備はもちろんのこと、計画実施のプロセス段階のサイト調査や住民集会、建設工程に関わることでそれ自体が、人々の教育に対する意識の向上につながると考えられる。世銀が実施している第 4 次教育プロジェクトの中間報告においても、学校建設を通して、保護者を学校管理面に関与させる共同体組織（APE 等）が創出されたり活性化されたことによって、保護者の学校に対する関心が高まったとの報告がなされている。

さらに、本計画では、教員宿舎を資材供与型の住民参加の方式で実施することにより、住民の意識の向上を図ることが可能である。ネパールで実施されたわが国の資材供与型の学校建設においても、住民のアンケート調査によると、学校建設計画対象校に子どもを持つ保護者のうち 9 割以上の保護者が、学校建設参加によって「子どもに学校へ行ってほしいという気持ちが高まった」、「教育への期待が高まった」と回答したという肯定的な評価結果が出ており、本計画においても同様の効果が期待できると考えられる。現状では、多くの村において、学校の存在は必ずしも身近に感じられるものではない。このことは、井戸を除けば学校が唯一の公共施設であるにもかかわらず、他の目的のために学校施設が利用されることがほとんどないという事実にも現れている。学校の増築、建て替えおよび維持管理の過程を通して、住民が村以外の社会との交わりを持ち、また学校と様々な形で関わっていく中で、徐々に意識の向上が図られると考えられる。

(6) 教育行政の強化

本計画のコンポーネントのひとつである住民参加による教員宿舎の建設実施にあたっては、教育省調査計画局内に、建設計画を管理する新たな組織の整備とその適切な予算措置が必要となる。この建設管理組織の業務には、施工計画書や技術基準の作成、住民側との交渉、技師の雇用・研修、工事の検査、維持管理要領の作成等が含まれる。本計画の実施において、わが国のコンサルタントの施工管理の技術移転を通して、建設管理にかかる能力強化が期待される。

以上の観点から、本計画は「ブ」国の教育の供給・需要の両面より、初等教育の就学率向上に寄与すると判断され、協力の妥当性は認められる。

5-2 技術協力・他ドナーとの連携

現在のところ本計画と直接連携の必要な他機関からの援助はないが、小学校建設を担当する DEP は、本計画に先立つ他ドナーによる援助の窓口となっており、施設の規模・内

容等の調整を図っている。しかし、人員不足や組織運営の貧弱さ等からその計画管理能力には限界があり、計画進捗に伴い常に他ドナーの動向の把握に努める必要がある。

本計画のための技術協力は必要ないと考えられる。ただし、住民参加による教員宿舎建設に係わる先方技術者の、カウンターパート研修等の可能性は今後、先方の組織整備、準備作業の進展をみて検討されるべきである。

5-3 課題

本計画は、5-1 の通り、その実施が妥当であると認められるが、実施にあたっては、次のような課題があり、その整備が十分に行われることによって、本計画をより円滑に、効果的に実現できると考えられる。

(1) 教員宿舎の建設

教員宿舎の建設については、住民参加の方式を採用するため、「ブ」国側は、先方の1998年度に少なくとも本件実施のための本部機関を発足させ、必要とされるサイトの補足調査、住民への計画説明と建設契約、本計画に必要な要員の採用・養成計画等を作成する等の準備作業を開始する必要がある。このため、宿舎の建設資材の調達には本件の第2期に実施予定としたが、1998年4月頃までに「ブ」国側の準備作業の進行状況を確認しつつ、宿舎建設計画の内容を見直し必要に応じ措置を講ずるものとする。

(2) 施設維持・管理体制の強化

現状では施設の維持管理は、ほとんど住民にまかされている。住民が学校を地域の財産として意識し、維持管理活動に積極的に参加する体制は確立されているものの、財政不足により、必ずしも十分な維持管理が行われているとは限らない。適切な維持管理の有無は、施設の寿命に大きく影響するため、住民のイニシアティブを大切にしながらも、地方教育局による技術的、財政的に適切なサポートが必要である。そのためには、各学校、視学官、地方教育局、中央教育省の管理・監督体制、情報伝達体制の強化が必要である。

(3) 維持・管理予算の確保

小学校や教員宿舎など教育施設関連に充てられる予算は、1億4,700万CFAであるが、現実には、大規模な改修を必要とする小学校が多く、改修済の小学校の施設維持管理予算は十分ではない。住民参加による建設や維持管理によるコスト削減を図るとともに、地方教育局が維持管理予算を確保することが必要である。

さらに、本計画をより効果のあるものにし、持続的な教育発展を目指すためには、以下の点に考慮する必要がある。

(4) 教育施設整備計画の評価の実施

本調査開始時においては、第一次小学校建設計画対象校におけるヒアリング調査を行ったが、その効果を定量的、定性的に把握するには時期尚早であった。ブルキナ・ファソでは、各援助機関が、様々なアプローチで小学校建設を進めており、それらとの比較も含めて、建設計画の効果の把握を行うことによって、教育の他の分野（教員養成、カ

リキュラム開発等)への協力や他の協力形態の活用の可能性、必要性を考慮した、さらに改善された協力計画の策定が可能になると考えられる。

(5) 教育統計の整備

就学者層の拡大に伴い、教室の増築のみならず、新規サイトにおける学校建設も必要となっている。しかし、特に地方の農村部においては、教育統計のみならず人口統計が十分でないところも多く、そのため、適切なスクールマッピングが困難な状況があり、円滑な新規学校建設の疎外要因となっている。今回のサイト調査においては、サイト調査時に各学校の詳細データを得て、施設整備の妥当性を判断することができたが、中央行政機関と地方行政機関、さらに各学校のもつ情報の量・質の差は明らかであった。今後、同国および、援助国側が効率的に小学校建設に取り組んでいくためには、適切なスクールマッピングの実施と、統計収集体制の確立は必要条件であると考えられる。

(6) 他分野への協力

教育の機会拡大を図るためには、教室の建設・建替と教員の数の充足は、教育の供給サイドにおいて現在緊急に必要とされる活動の一つである。しかし、今後教育の機会拡大を図りつつ、中・長期的に教育の質の向上を目指すには、教員養成やカリキュラム・教材・教授法などの見直しも必要になってくると考えられる。現状では、都市部にある教育養成学校で教員が採用されているために、農村部への教員の定着率が悪い、また、地域の教育ニーズに答えられないといった問題も徐々に現われてきている。長期的に住民の教育への参加の拡大を図るには、教育を受けることによる便益が明確にされる必要があり、そのためには教員養成や、教授言語やカリキュラム内容等、教育の制度面の見直しも行っていく必要があると考えられる。特に教育内容については、児童の卒業後の進路を視野に入れたものであることが重要で、そのためには科学、農業、技術教育の面で、同国のニーズにあったものを取り入れていく必要があるものと考えられる。教育の大衆化が進むにつれ、このような教育内容の見直しも、今後重要課題になっていくと思われる。

[資料]

[資料]

1. 調査団員氏名、所属

基本設計調査

団長	村松美江	JICA無償資金協力調査部調査第二課
計画管理	田中香織	JICA派遣事業部派遣第三課
業務主任／建築計画	福渡 勲	(株) 福渡建築コンサルタンツ
教育計画／社会環境	増田知子	(株) 福渡建築コンサルタンツ
施設・設備計画 I	藤田文富	(株) 福渡建築コンサルタンツ
施設・設備計画 II	小川 雅	(株) 福渡建築コンサルタンツ
施工計画／積算	鈴木忠博	(株) 福渡建築コンサルタンツ
通訳	柴原理之	(株) 福渡建築コンサルタンツ

基本設計概要説明調査

総括	向井靖雄	JICA国際協力総合研修所国際協力専門員
業務主任／建築計画	福渡 勲	(株) 福渡建築コンサルタンツ
通訳	柴原理之	(株) 福渡建築コンサルタンツ

2. 調査日程

基本設計調査現地調査日程表

(官団員・コンサルタント団員)

日付	午前/午後	官団員		コンサルタント団員 (福波・増田・藤田・鈴木・小川・芝原)	
		訪問先	訪問先	訪問先	訪問先
3/29	土	AF275 12:30東京発→17:10Parisへ移動		(福波, 藤田, 芝原) AF275 12:30東京→17:10Paris移動	
30	日	13:10Paris発→16:40Ouagadougouへ移動 AF734		(福波, 藤田, 芝原) 13:10 Paris→16:40 Ouagadougou移動 AF734	
31	月	午前午後 外務省表敬、DEP局長との協議、第1次計画施工管理事務所(PCI新谷氏)への事情聴取 Oubritengaにて第1次小学校の視察(村岡, 小川)			
4/1	火	午前午後 DEPIにてインセプションレポート説明・協議、質問書提出、調査日程等協議 Sangui県にてDPEBA支局長と協議、サイト調査(Reo8-N-330) (小川, 鈴木) Ouagadougou着			
2	水	午前午後 樹園にて協議、NEBA次官代理を表敬 国内打ち合わせ、DEPIにて協議 (増田) Ouagadougou着			
3	木	午前午後 NEBA大臣を表敬 DEPIにてミニッツ協議			
4	金	UNICEFにて打ち合わせ (増田同行)		国内打ち合わせ ミニッツ協議、署名	
5	土	11:20 Ouagadougou発、14:40 Abidjan着 RK860		サイト調査準備・国内打ち合わせ	

官団員：部長・調整員

(官団員出発後)

日付	午前/午後	福波	藤田:1班	鈴木:2班	小川:3班	増田:4班
		訪問先	訪問先	訪問先	訪問先	訪問先
4/6	日	Dr. F. Sanou及び調査補助員との打ち合わせ、サイト調査準備				
7	月	午前午後 SanguiにてDPEBA支局長との協議 全員で敷地調査、調査方法の検討 (10)Medialpoun, (6)Reo Sect.-8, (7)Reo Sect.-9				
8	火	(2)Tita P.-B, (9)Baporo (3)Heselaye, (1)Bounga	(8)Kinyon (5)Sandie	(4)Youloupo (11)Guido	(2)Tita P.-B, (9)Baporo (3)Heselaye, (1)Bounga	Reo Sect.-8 にて住民集会
9	水	午前午後 Kossiへ移動、DPEBA支局長との協議 (4)Kombara (6)Nouna Secteur-4, (7)Toni (1)Cisse (4)Kombara (4)Kombara				
10	木	Toniにて住民集会	(8)Kouka-B	(2)Primoue	(3)Bena (5)Kosso	Toniにて住民集会
11	金	午前午後 Hankuy 8(第1次計画による施設)視察、ラテライト露天掘り視察 SourouにてDPEBA支局長との協議 (3)Kamina, (6)Gouran (5)Kouayo, (7)Bo (3)Kamina, (6)Gouran (4)Bagnotenga, (8)Bouare 集会準備				
12	土	午前午後 Ouagadougouへ移動 資料整理	TomaiにてKayala県 支局長と協議 Yatengaへ移動	(2)Yagure, (1)Guimou	Ouagadougouへ移動 資料準備	Guimouにて住民集会 Yatengaへ移動
13	日	資料整理 Yatengaへ移動 資料整理				
14	月	資料整理	YatengaにてDPEBA支局長と協議 (6)Gourcy-C, (7)Koudoubo, (8)Boursouma (1)Saye, (3)Souniyanga, (5)Son-hon (4)Yabonsogo, (2)Merayawa Yabonsogoにて 住民集会			
15	火	UNICEF・世銀との 打ち合わせ	(1)Yalgatenga, (2)Gnagnia, (3)Dakore	(6)Zougo, (5)Batono	(8)Pelgatenga, (4)Kaba 住民集会準備	
16	水	DEPIにて打ち合わせ	(7)Song-Nabalにて住民集会、敷地調査 Oubritengaに移動、DPEBA支局長と協議			
17	木	第1次施工業者事情聴取	(1)Sao, (7)Bousse-A Boulala(第1次)視察 BazegaにてDPEBAと協議	(4)Wavousse, (6)Zagbeza (8)Gascaye	(3)Gounghin, (5)Songpelce (2)Boudtenga, Linonghim-Y3(第1次)視	Wavousselにて 住民集会 Lombila(第1次)視察
18	金	第1次施工業者事情聴取 国内打ち合わせ				
19	土	資料整理	(8)Tensobentenga, (5)Monentenga (2)Kombissiri-E	(9)Sapone Marche-B, Dourougou(第1次)視察 (4)Nangouma, (6)Babdo	(3)Konioudou (1)Goanghin, (7)Namba	Konioudou にて住民集会

日付	午前/午後	福渡	藤田:1班	鈴木:2班	小川:3班	増田:4班
		訪問先	訪問先	訪問先	訪問先	訪問先
20	日	Ouaga-2000視察	団内打ち合わせ			
21	月	UNICEFにて打ち合わせ	BoulkiemdeにてDPEBA支局長と協議			
	午後	DEPIにて打ち合わせ	(4) Savily, (6) Soula	(2) Sigle, (8) Zerkoum	(5) Tampilga, (9) Niyankado	住民集会準備
22	火	資料整理	(7) Yorgo (Thyou)	(3) Doulou	(1) Yorgo-Yarce	Zerkoumにて住民集会
	午後		Houetへ移動			
23	水	資料整理	HouetにてDPEBA支局長と協議			
	午後	Houetへ移動	(3) Samatoukoro, (1) Bera, (7) Lafiabougou-B	(4) Yorokofesso, (5) Peni, (8) Matourkou	資料整理	(2) Nasso, (9) Sarafalao-D
4/24	木	午前	BougouribaにてDPEBA支局長と協議			
	午後	(6) Tinguera, (7) Balpa, (1) Nisseo	(3) Diebougou-C, (4) Balenbar	(5) Sangolo, (8) Tiankoura	資料整理	Boudialedagaにて住民集会 敷地調査 (6) Boudialedaga
25	金	Ouagadougouへ移動	(2) Orpoune	(9) Loto	BougouribaにてDPEBA支局長と協議	Lotoにて住民集会
26	土	資料整理	(10) Tougancoura (Houet)	資料整理		
27	日	資料作成	Ouagadougouへ移動			
28	月	UNICEFにて打ち合わせ	団内打ち合わせ、資料整理			
29	火	世組との打ち合わせ	資料整理	Oubritengaへ移動, (10) Annexe ENEP, (9) Mabitenga, (11) Mongana, Zorgho(第1次)視察	資料整理	
30	水	資料整理	Sanguieにて敷地調査, (12~14) Reo Secteur I-A, B, C, (15) TitaNapone, Karabole(第1次)視察	Sanguieにて敷地調査 (16) Zoula, (17) Goundi-B, (18) Poun	資料整理	
5/1	木	団内打ち合わせ				
2	金	UNICEF、DEPとの打ち合わせ	DEPとの打ち合わせ			UNICEF、DEPとの打ち合わせ
	午後	資料整理、団内打ち合わせ				
3	土	第1次計画施工業者への事情聴取				
	午後	資料収集、整理				
4	日	資料整理	PE4・BID・市による学校、PE4による学校視察	資料整理		
5	月	午前	DEPとの打ち合わせ			
	午後	Dr. Sanouと打ち合わせ	資料収集、整理			
6	火	UNDPにて資料収集	資料収集、整理			
7	水	団内打ち合わせ、帰国準備、17:00 Ouagadougou発 RK838、Abidjanへ移動				
8	木	在象牙海岸大使館・JICA事務所への報告、調査事情調査・資料収集、22:05 Abidjan発 AF703、Paris乗り継ぎ				
9	金	06:25 Paris着、20:15発 JL406、東京へ移動				
10	土	15:00 成田着				

2-2 基本設計概要説明調査日程

日 順	月 日	曜 日	行 程	
			官団員	コンサルタント団員
1	7/29	火		成田発 12:00(AF275) →パリ着 17:20
2	30	水		パリ発 13:10(RK133) →ワガドゥグ着 20:50
3	31	木		外務省表敬 基礎教育識字化省調査計画局表敬及び職員 宿舍建設等につき打ち合わせ 基礎教育識字化省表敬
4	8/1	金		公共事業・住宅・都市省建設事情調査 UNICEF 住民参加による学校建設の実施 状況調査
5	2	土		資料整理
6	3	日		団内協議
7	4	月	基礎教育識字化省調査計画局にて基本設 計概要報告書について協議	←官団員に同じ
8	5	火	LOUMBILA 校(第一次計画実施校)・ NOMGANA 校(第二次計画予定校) 視察	"
9	6	水	基礎教育識字化省調査計画局にてミニツ ツ協議及び署名	"
10	7	木	ワガドゥグ発 19:05(VU141) →アビジャン着 20:30	"
11	8	金	大使館報告、JICA 事務所報告 アビジャン発 22:05(AF703) →パリ着 06:25	"
12	9	土	パリ発 20:15(JL406)	"
13	10	日	→成田着 15:00	"

3. 相手国関係者リスト

ワガドゥグにおける面談者

面談者氏名	役職
SANOUE, Bawaro Seydou	Ministre MEBA (基礎教育識字化省大臣)
ISSA Traore	Secrétaire Générale Par Intérim MEBA (次官代理)
DABOUE, Julien	Directeur des Études et de la Planification, MEBA (調査計画局長)
KI, Boureima Jacques	Conseiller d'Administration Scolaire et Universitaire, MEBA (協力調査プロジェクト実施担当)
KABORE, Pascal	Conseiller d'Administration Scolaire et Universitaire, MEBA (協力調査プロジェクト実施担当)
OUEDRAOGO, Raymond	Technicien en Batiment MEBA (建築担当)
BINGOUWEOGO P. Etienne	Service de la Coopération et Projets, DEP (調査計画局プロジェクト協力室)
GANSONRE Lazare	Conseiller des Affaires Étrangères Directeur de la Coopération Bilatérale (外務省二国間協力局長)
OUATTORA, Djibo Sanatou	Adjoint de Chancellerie, Service Asie Moyen Orient (外務省アジア・中近東担当)
MAKHA Ndao	Specialiste Senior en Education, Division Development des Ressourdes Humaines (世銀本部 人的資源開発部アフリカ地域教育専門員)
DIALLO, Korika	Chargé d'Opérations, Banque Mondiale (世銀ブルキナ支部 プロジェクト担当)
ZOANGA Adama	DGAHC (Directeur Général de l'Architecture, de l'Habitat et de la Construction) (建設省)
SAAD Houry	Représentant de l'UNICEF
HOUETO Collette	Administrateur de Programme Éducation, UNICEF
COMPAORE, Pascal	Ingénieur du Génie Civil, Consultant/Superviseur, ES/CEBNE, UNICEF
TAMBOURA Dembo	Directeur, Représentation et Distribution des Produits Agricoles
新谷 英世	(株) パシフィックコンサルタンツインターナショナル 事務所長
新村 正秀	(株) 鴻池組海外事業部第一営業部主任 プロジェクトリーダー
野口 健一郎	(株) 鴻池組海外事業部建築部見積課主任

各県における面談者

面談者氏名	役職
1997年4月7日 REO / SANGUIÉ	
ZIBA TIASSAY	DPEBA (基礎教育識字化県支局長)
OUEDRAOGO Passigomde	Directeur REO 1 (校長)
KINDA Tesser	Adjoint SEP (調査計画課次長)
BAYALA Jean Baptiste	Responsable SEP (調査計画課責任者)
LINGANE Achille	Enseignant école Secteur 8 (教員)
1997年4月9日 NOUNA / KOSSI	
Diallo Boureima	Inspecteur NOUNA 2 Intérim du DPEBA (視学官)
Dembele DANA	Responsable du SEP(調査計画課責任者)
1997年4月10日 SOLENZO / BANWA	
COULIBALY souyoubo Robert	Inspecteur et DPEBA (基礎教育識字化県支局長)
DAO Anatole	Service des Cantines Scolaires (給食課)
COULIBALY K. Ernest	Secrétariat IEP1 DPEBA (秘書官)
KIENOU Bayoro Paulin	SA (事務官)
DAO Boureima	SA (事務官)
OUEDRAOGO Celestin	Reprographie (コピー技師)
1997年4月11日 TOUGAN / SOUROU	
SOARA Missa	DPEBA (基礎教育識字化県支局長)
ZOUNDI Jacques	CPI
TOE Abdoulaye	SEP (調査計画課)
11 Avril 1997 TOMA / NAYALA	
FORO Moise	DPEBA (基礎教育識字化県支局長)
1997年4月14日 OUAHIGOUYA / YATENGA	
OUEDRAOGO Saidou	DPEBA (基礎教育識字化県支局長)
OUEDRAOGO Ibrahima	SEP charge suivi des projets et du plan

(SEP 企画計画担当者)
 OUEDRAOGO Issaka SEP charge des statistique s(SEP 統計担当者)
 SAVADOGO Soumaila Chef SEP YATENGA (SEP 課長)

1997 年 4 月 15 日
 YAKO / PASSORÉ

DJIGUEMDE Benoit Inspecteur et DPEBA
 (視学官兼基礎教育識字化県支局長)
 OUEDRAOGO B. Joseph Service Administratif Et Financier(組織予算課)
 GUIRE Barnabe Service Des Études Et De La Planification
 (調査計画課)
 DOUMI Boukari CPI

1997 年 4 月 16 日
 KOMBISSIRI / BAZÉGA

BAGRE T. Ambroise DPEBA (基礎教育識字化県支局長)
 OUEDRAOGO sylvain Chef Service Étude et Planification
 (調査計画課長)

1997 年 4 月 21 日
 KOUDOUGOU / BULKIEMDÉ

TAOKO Boukari DPEBA(基礎教育識字化県支局長)
 YAMEOGO Andre Chef de Personnel(人事課長)
 ZONGO Jean Claude Gestionnaire
 MADJIELA About Sougue S E P BULKIEMDE(県調査計画課)

1997 年 4 月 23 日
 BOBODIEULASSO / HOUET

Theodore Millogo DPEBA(基礎教育識字化県支局長)
 Dao Yacouba Service des Études et de la Planification
 (調査計画課)

1997 年 4 月 24 日
 DIÉBOUGOU / BOUGOURIBA

Kam Olle DPEBA(基礎教育識字化県支局長)
 Medah N. B. Cyrille Service des Études et de la Planification
 (調査計画課)

1997 年 4 月 24 日
 DANO / IOBA

MILLOGO Jean Dana DPEBA(基礎教育識字化県支局長)
 SOME Albert Conseiller Pédagogique(教育長)

象牙海岸共和国における面談者

面談者氏名	役職
佐藤 裕美	在象牙海岸共和国日本大使館大使
森本 真樹	在象牙海岸共和国日本大使館三等書記官
能化 正樹	在象牙海岸共和国日本大使館参事官
辰見 石夫	国際協力事業団象牙海岸共和国事務所所長
山形 茂生	国際協力事業団象牙海岸共和国事務所次長
松永 亜紀	国際協力事業団象牙海岸共和国事務所職員

概要説明調査(1997. 7/30~8/7)における面談者

面談者氏名	役職
Bruno Nongoma ZIDOUEMBA	外務省 外務次官
SANOUBawaro Seidou	MEBA 大臣
DABBLE Julien	調査計画局長
KABORE Pascal	協力・調査・プロジェクト実施担当課長
OUEDRAOGO Michel	調査研究課長
BADO N. François	施設資材課長
OUEDRAOGO T. Albert	会計局
ZOANGA Adama	公共事業・住宅・都市省 建築・住宅・建設局長
Saad Y. Houry	UNICEF ブルキナ・ファソ事務局長
COMPAORE Pascal	UNICEF 土木技術者
Georges P. CAFANDO	UNICEF コミュニケーション・動員担当
在象牙海岸共和国日本大使館	
JICA 象牙海岸共和国事務所	

4. 当該国の社会・経済状況

国名	ブルキナ・ファソ
	Burkina Faso

1997.03 1/2

一般指標				
政体	議会制	*1	首都	ワガドゥーグー
元首	President Blaise COMPAORE	*1	主要都市名	ボト・デ・イラワソ、コト・ウーラ、ワグビコキ
独立年月日	1960年08月05日	*1	経済活動可人口	5,000千人 (1994年)
人種(部族)構成	モシ族、ワムン族、モシ族	*4	義務教育年数	6年間 (1996年)
			初等教育就学率	32.0% (1994年)
言語・公用語	仏語、ワムン系言語90%	*1	初等教育終了率	71.0% (1990年)
宗教	地域信仰57%、回教50%、初教10%	*1	識字率	18.0% (1993年)
国連加盟	1960年09月	*2	人口密度	38.06人/Km ² (1995年)
世銀・IMF加盟	1963年05月	*3	人口増加率	2.79% (1995年)
			平均寿命	平均 46.6 男45.71 女47.51
			5歳児未満死亡率	169 /1000 (1994年)
面積	274.2千Km ²	*4	エネルギー供給量	2,387.0 cal/日/人 (1992年)
人口	10,422.8千人 (1995年)	*4		

経済指標				
通貨単位	CFAフラン	*1	貿易量	(1991年)
為替レート(US\$)	1US\$= 551.55 (1月)	*6	輸出	106.0百万ドル
会計年度	1月～ 12月	*1	輸入	533.0百万ドル
国家予算	(1992年)	*6	輸入削減率	5.0% (1993年)
歳入	351.3 百万ドル	*6	主要輸出品目	綿花、金、動物製品
歳出	509.4 百万ドル	*6	主要輸入品目	機械、食品、石油
国際収支	-20.4 百万ドル (1994年)	*6	日本への輸出	3.0百万ドル (1995年)
ODA受取額	435.00 百万ドル (1994年)	*8	日本からの輸入	17.0百万ドル (1995年)
国内総生産(GDP)	1,856.00 百万ドル (1994年)	*8		
一人当たりGNP	300.0 ドル (1994年)	*8	外貨準備総額	357.0百万ドル (1996年)
GDP産業別構成	農業 34.0% (1994年)	*8	対外債務残高	44.0百万ドル (1994年)
	鉱工業 27.0% (1994年)		対外債務返済率	7.4% (1993年)
	サービス業 39.0% (1994年)		インフレ率	2.0% (1993年)
産業別雇用	農業 92.0% (1990年)	*5		
	鉱工業 2.0% (1990年)			
	サービス業 6.0% (1990年)		国家開発計画	第2次経済5ヵ年計画 1991年～1996年
経済成長率	2.5% (1994年)	*8		

気象(1961年～1990年平均) 場所: Ouagadougou (標高 302m)													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計
最高気温	33.0	37.0	40.0	39.0	38.0	36.0	33.0	31.0	32.0	35.0	36.0	35.0	35.4℃
最低気温	16.0	20.0	23.0	26.0	26.0	24.0	23.0	22.0	23.0	23.0	22.0	17.0	22.0℃
平均気温	24.7	27.7	30.9	32.6	31.6	29.3	27.2	26.3	27.0	28.8	27.7	25.1	28.2℃
降水量	0.0	3.0	13.0	15.0	84.0	122.0	203.0	277.0	145.0	33.0	0.0	0.0	895.0 mm
雨期/乾期	乾	乾	乾			雨	雨	雨	雨			乾	乾

- *1 CIA World Fact book(1993)
- *2 States Member of the United Nations
- *3 World Bank Fax(1994)
- *4 CIA World Fact Book(1996-1997)
- *5 Human Development Report(1996)
- *6 International Financial Statistics
- *7 Statistical Yearbook 1996

- *8 World Development Report(1996)
- *9 World Debt Tables (1996)
- *10 世界の国一覽(外務省外務報道官編集)(1996)
- *11 最新世界各国要覽(1996)
- *12 理科年表1997(丸善)

国名	ブルキナ・ファソ
	Burkina Faso

1997.03 2/2

*13

項目	年度	1990	1991	1992	1994
技術協力		2,382.47	2,515.30	2,699.97	3,087.67
無償資金協力		1,989.63	2,050.70	2,194.95	2,456.48
有償資金協力		5,676.39	7,364.47	5,852.05	4,352.21
総 額		10,048.49	11,930.47	10,746.97	9,896.36

*14

項目	経年	1991	1992	1993	1994
技術協力		0.63	0.79	1.05	1.46
無償資金協力		3.72	8.51	5.83	10.36
有償資金協力		0.00	0.00	0.00	0.00
総 額		4.35	9.30	6.88	11.82

*13

	贈 与 (1)		有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1) + (2) = (3)	その他政府資金 及び民間資金 (4)	経済協力総額 (3) + (4)
		技術協力				
二国間援助 (主要供与国)	258.90	118.40	8.90	267.80	0.40	268.20
1. フランス	111.00	55.50	9.60	120.60	0.60	121.20
2. ドイツ	47.60	17.50	0.00	47.60	0.00	47.60
3. オランダ	33.20	27.20	-0.70	32.50	-0.20	32.30
4. カナダ	18.60	5.20	0.00	18.60	0.00	18.60
多国間援助 (主要援助機関)	87.30	23.80	80.50	167.80	-0.90	166.90
1. CEC	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2. IDA	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ の 他	0.10	0.00	4.90	5.00	0.00	5.00
合 計	346.30	142.20	94.30	440.60	-0.50	440.10

*15

技術	
無償	
協力隊	

*13 Geographical Distribution of Financial Flows of Developing Countries(1996)

*14 Japan's Official Development Assistance Annual Report (1995)

*15 国別協力情報(JICA)

5. 参考資料リスト

1. **ETUDE SUR LES SAVOIRS CONSTRUCTIFS AU BURKINA FASO**
MINISTERE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABETISATION DE
MASSE BUREAU DU PROJET EDUCATION III
Depot legal en avril 1991
2. **Tradition & Modernité Système éducatif et aliénation culturelle**
Mensuel BUKINABE DE CULTURE No7 DECEMBER 1996
3. **RAPPORT DE SYNHESE RELATIF AU SCHEMA DIRECTEUR DE REALISATION**
DES INFRASTRUCTURE SCOLAIRES
MINISTERE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABETISATION DE
MASSE
BUREAU DES PROJETS EDUCATION(BPE)
CINCAT:Cabinet d'Ingénierie de Coordination et d'Assistance Technique
JUILLET 1995
4. **DROIT FISCAL BURKINABE FISCALITE PRATIQUE DES AFFAIRES**
CHAMBRE DE COMMERCE D'INDUSTRIE ET D'ARTISANAT DU BURKINA FASO
Ouagadougou,1995
5. **MOBILIER SCOLAIRE DANS LE CADRE DU PE IV**
EQUIPEMENT DES ECOLES CONSTRUITES EN 1994
(TABLE-BANCS - TABLE-MAITRES - TABLE-DIRECTEURS CHAISE-
MAITRES ARMOIRES METALLIQUES - PANNEAUX D'AFFICHAGE) -
DEVIS DESCRIPTIF - PRESCRIPTIONS TECHNIQUES
MINISTERE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABETISATION DE
MASSE
BUREAU DES PROJETS EDUCATION(BPE)
CINCAT:Cabinet d'Ingénierie de Coordination et d'Assistance Technique
MARS 1994
6. **MOBILIER SCOLAIRE EQUIPEMENT DES ECOLES DU PE IV**
(TRANCHE COMPLEMENTAIRE)

(TABLE-BANCS - TABLE-MAITRES - TABLE-DIRECTEURS CHAISE-
MAITRES ARMOIRES METALLIQUES - PANNEAUX D'AFFICHAGE) -
DEVISQUANTITATIF-ESTIMATIF
MINISTERE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABETISATION DE
MASSE
BUREAU DES PROJETS EDUCATION(BPE)

CINCAT: Cabinet d'Ingénierie de Coordination et d'Assistance Technique
DECEMBRE 1994

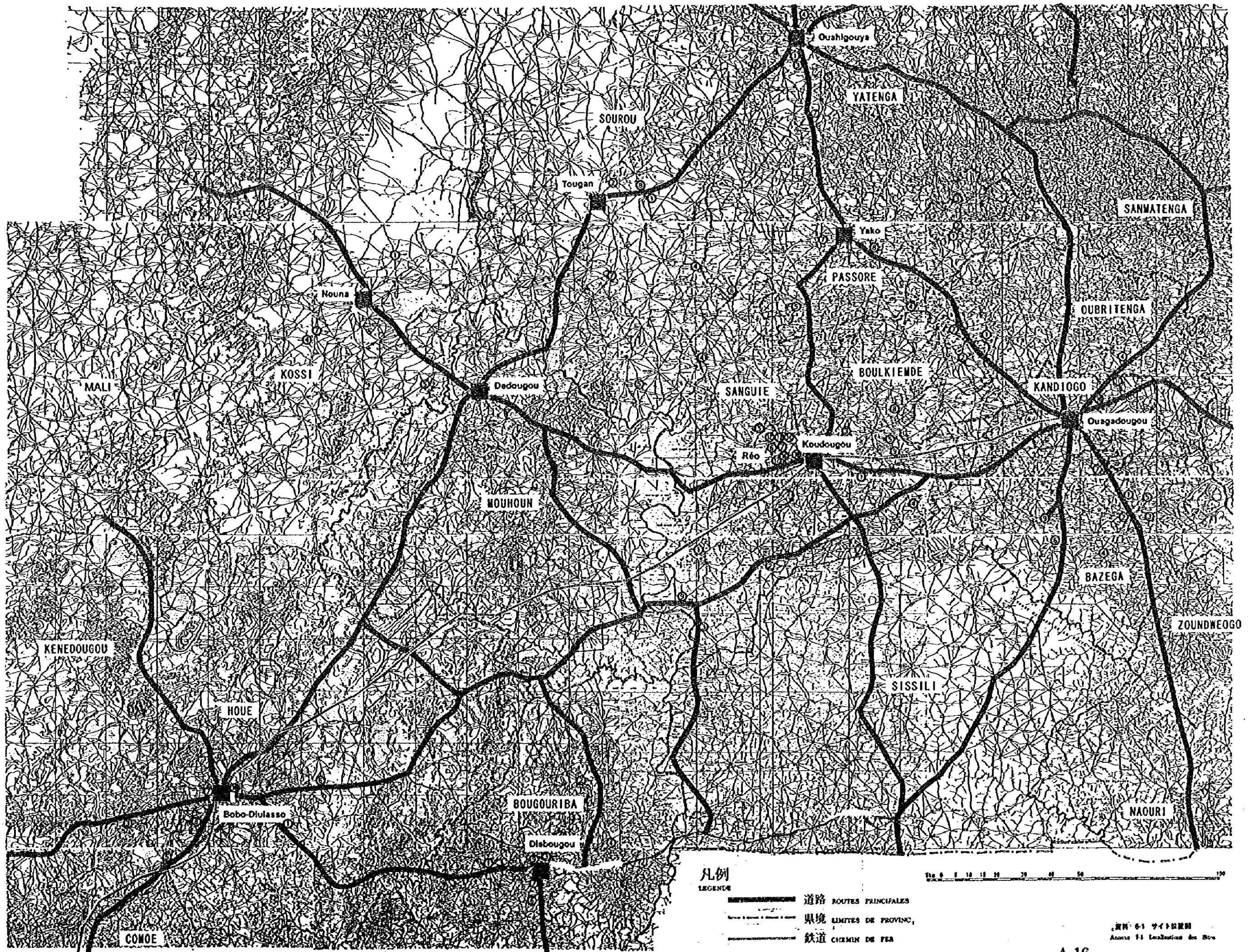
7. PROGRAMMES DES INNOVATIONS DOUBLE FLUX ET MULTIGRADES
MINISTÈRE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABÉTISATION
CELLULE DE SUIVI ET D'ÉVALUATION DES INNOVATIONS PÉDAGOGIQUES
SEPTEMBRE 1996
8. LES INNOVATIONS PÉDAGOGIQUES DANS L'ENSEIGNEMENT DE BASE
MINISTÈRE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABÉTISATION
CELLULE DE SUIVI ET D'ÉVALUATION DES INNOVATIONS PÉDAGOGIQUES
9. EDUCATION (Document Provisoire non encore officiel)
Conférence de la Table Ronde pour le Développement des Secteurs Sociaux
Ministère de l'Économie et des Finances
12 avril 1997
10. NOUVEAUX PROGRAMMES D'ÉTUDE POUR LES ENEP.
MINISTÈRE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABÉTISATION DE
MASSE
Ouagadougou, AVRIL 1995
11. PROGRAMME D'EXPANSION DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE
PLAN D'ACTION POUR L'ÉDUCATION DES FILLES
MINISTÈRE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABÉTISATION DE
MASSE
CABINET DU MINISTRE
JUILLET 1994
12. PROJET DE PLAN DÉCENNAL DE DÉVELOPPEMENT DE L'ÉDUCATION DE
BASE (1998-2007)
MINISTÈRE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABÉTISATION DE
MASSE
13. PROGRAMME DES NATIONS UNIES POUR LE DÉVELOPPEMENT (PNUD)
NOTE CONSULTATIVE
pour la préparation du cadre de coopération entre le Burkina Faso et le PNUD (1997-
2001) Ouagadougou, février 1997
14. STATISTIQUES SCOLAIRES 1994/1995
MINISTÈRE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABÉTISATION
15. PROGRAMME DE FORMATION INITIALE DES INSTITUTEURS PRINCIPAUX IP.

**DOSSIER DE PROGRAMME MINISTERE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE
L'ALPHABETISATION MASSE DECEMBRE 1995**

- 16. PROGRAMME DE FORMATION INITIALE DES CONSEILLERS PEDAGOGIQUES
ITINERANTS IP-DOSSIER DE PROGRAMME MINISTERE DE L'ENSEIGNEMENT
DE BASE ET DE L'ALPHABETISATION MASSE DECEMBRE 1995**
- 17. PROGRAMME DE FORMATION INITIALE DES INSPECTEURS DE
L'ENSEIGNEMENT DU PREMIER DEGRE IEPD-DOSSIER DE PROGRAMME
MINISTERE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABETISATION
MASSE
DECEMBRE 1995**
- 18. RAPPORT D'ACTIVITES DE LA 4EME ANNEE DE L'EXPERIMENTATION
MINISTERE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABETISATION
CELLULE DE SUIVI ET EVALUATION DES INNOVATIONS PEDAGOGIQUES 1995 -
1996**
- 19. GUIDE A L'USAGE DES DIRECTEURS D'ECOLE PRIMAIRE MINISTERE DE
L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABETISATION DE MASSE**
- 20. SITUATION DE LA COOPERATION DU MINISTERE DE L'ENSEIGNEMENT DE
BASE ET DE L'ALPHABETISATION AVEC LES PARTENAIRES AU
DEVELOPPEMENT JANVIER 1997**
- 21. G.L, Houeto et M. Ouedraogo,
Progrès dans l'Éducation des Filles et des Femmes au Burkina, 1997**
- 22. L'Assainissement sur la base des pratiques existantes
IRC Centre international de l'eau et de l'assainissement La Haye, Pays Bas, 1995**
- 23. Ministère de L'économie des Finances et du Plan et Institut National de la
Statistique et de la Démographie, Le Profil de Pauvrette au Burkina Faso, 1996**
- 24. The Royal Embassy of the Netherlands,
Summary of the Survey on Violence Against Young Girls in the Educational
Environment, 1994**
- 25. Coopération au Développement des Pays-Bas Service d'Examen des Opérations,
Femmes et Coopération Néerlandaise au Burkina Faso, 1996**
- 26. Inga Nagel, Portrait des femmes et des associations féminines au Burkina Faso, 1993**

27. **Ambassade Royale des Pays-Bas, Le Mariage Force au Burkina Faso: Une Forme de Violence contre les Femmes, 1995**
28. **Ministère de l'Agriculture et des Ressources Animaux et UNICEF, Données Statistiques des Femmes Rurales au Burkina Faso, 1995**
29. **DEP の組織・業務を定める条例**
(Arrêté No 95-056/MEBA/SG/DEP portant organisation de la Direction des Etudes et de la Planification)
30. **教育基本法 (Loi No. 013/96/ADP portant Loi d'orientation de l'éducation)**
31. **教職員資格条例 (Kiti No.AN VIII 0281/FP/MF/MEBA/TRAV portant statut particulier des personnels enseignants et d'encadrement pédagogique du premier degré)**
32. **小学校教育カリキュラム**
(Programmes d'enseignement des écoles élémentaires de 1989-1990)
33. **国内税制に関する税 (Recueil de taxes relatifs à la fiscalité intérieure)**
34. **衛星校建設のための現場監督員用ガイドブック**
(Guide du contrôleur de construction des ES/CEBNF) : UNICEF

サイト位置図・配置図



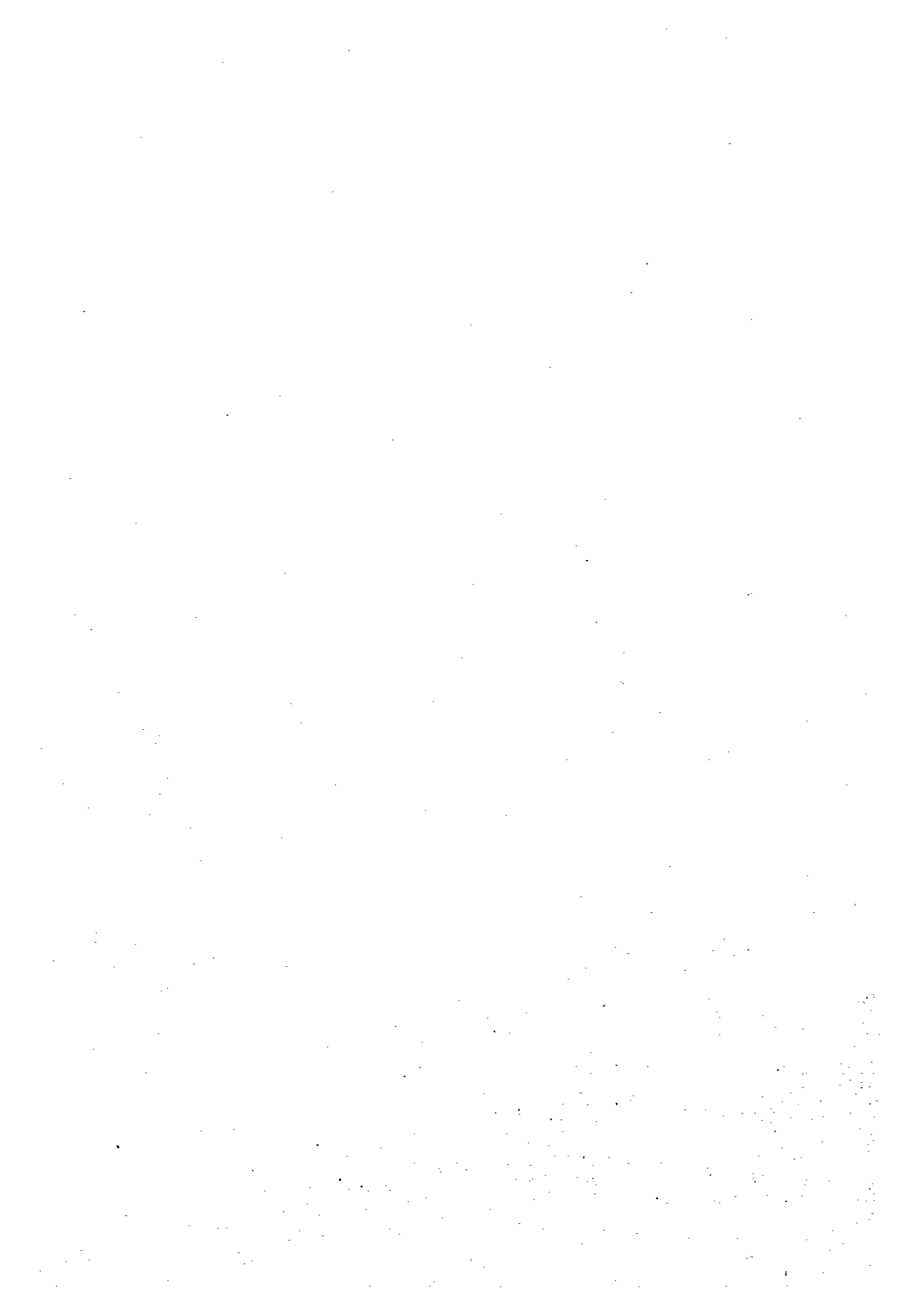
凡例

LEGENDE

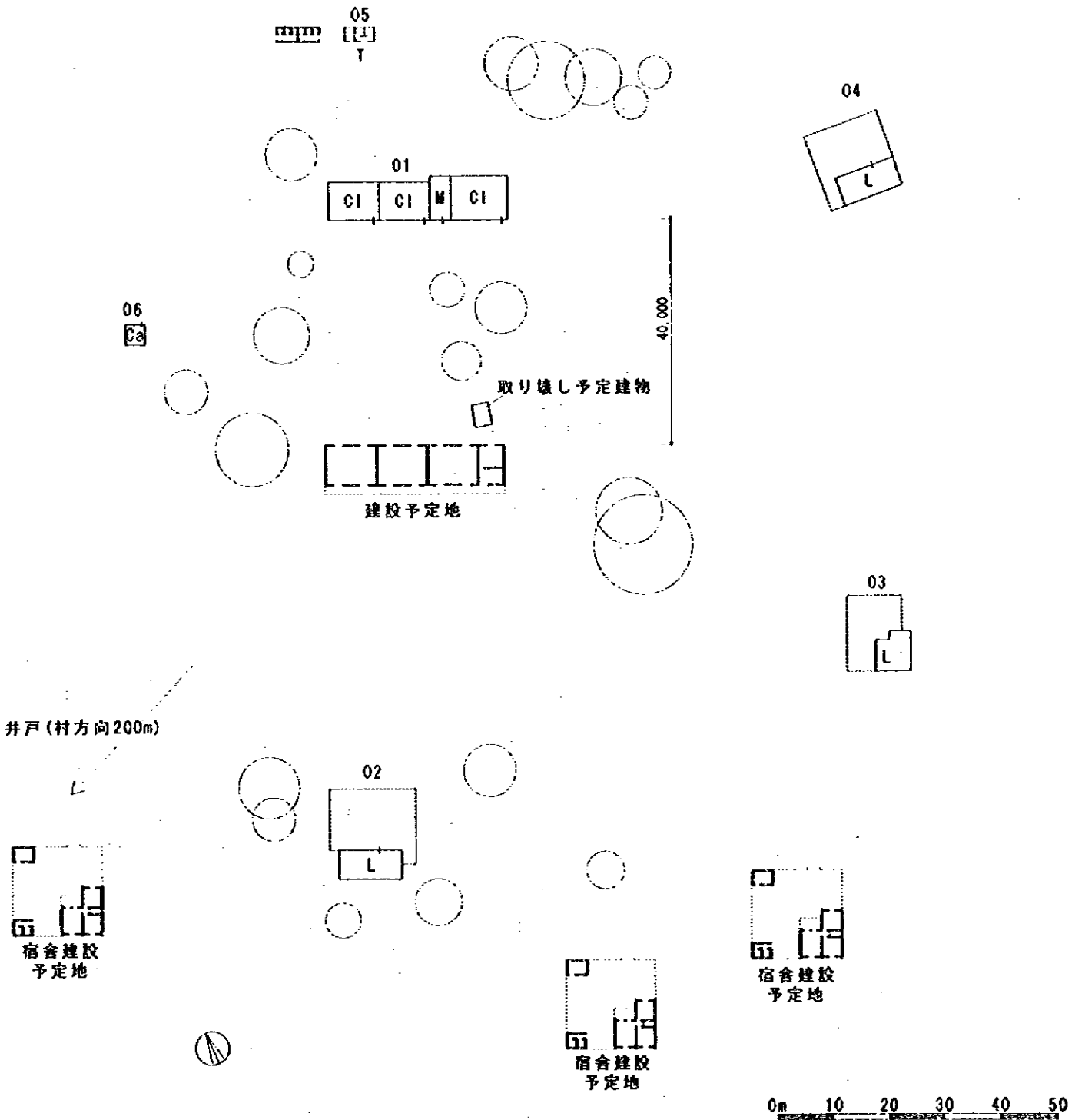
- 道路 ROUTES PRINCIPALES
- 県境 LIMITES DE PROVINCE
- 鉄道 CHEMIN DE FER



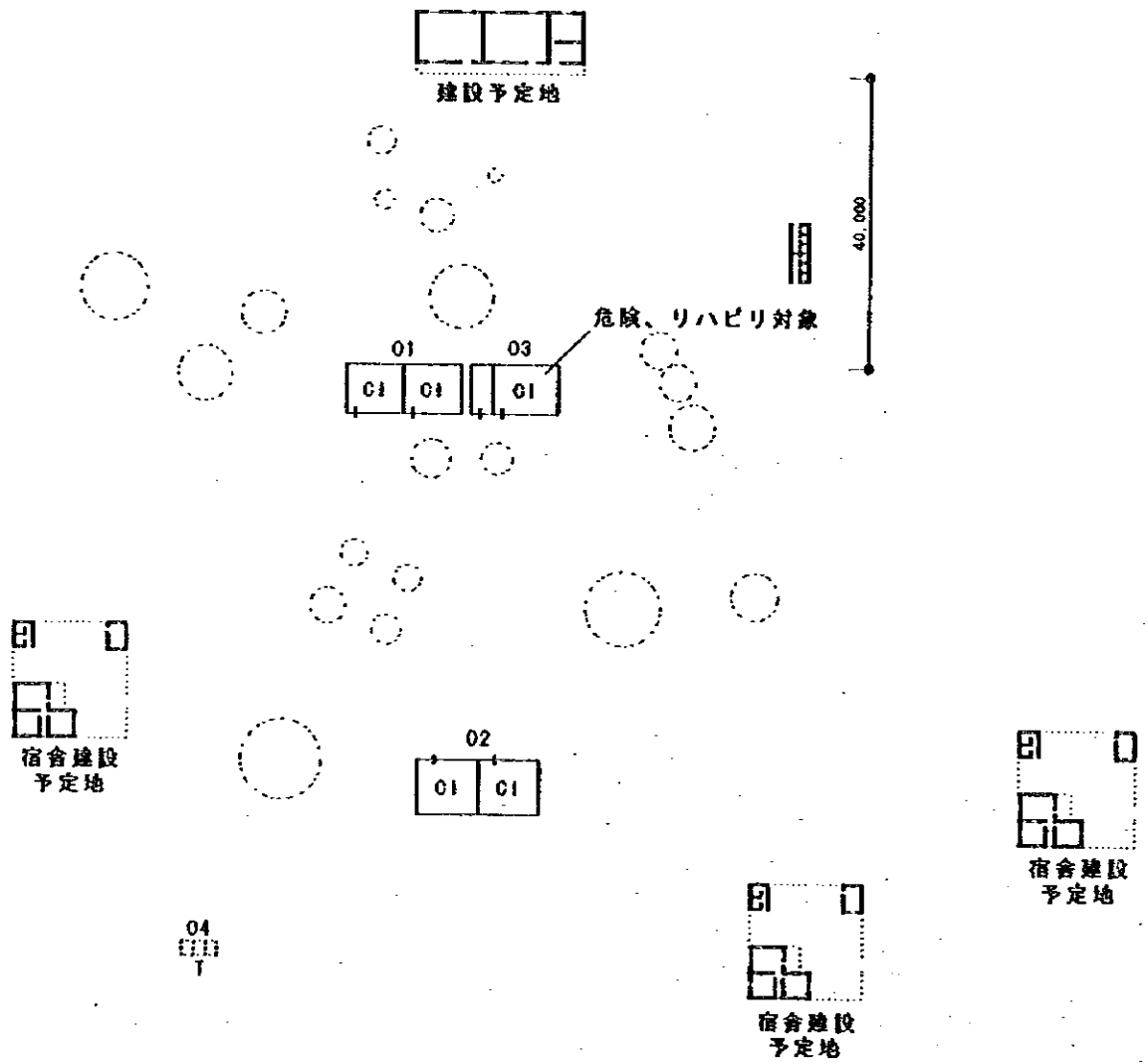
資料 6-1 寸法位置図
Annex 11 Localisation des Sites



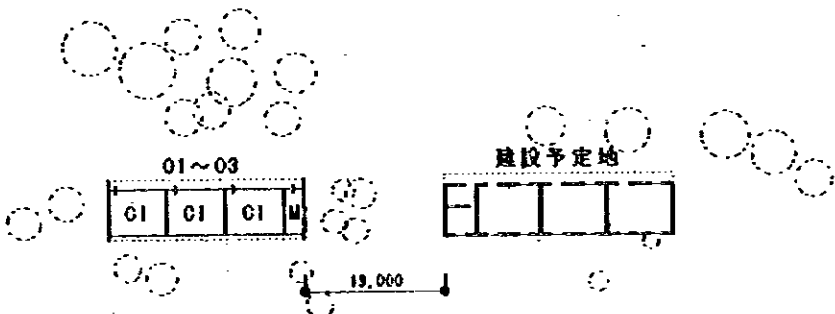
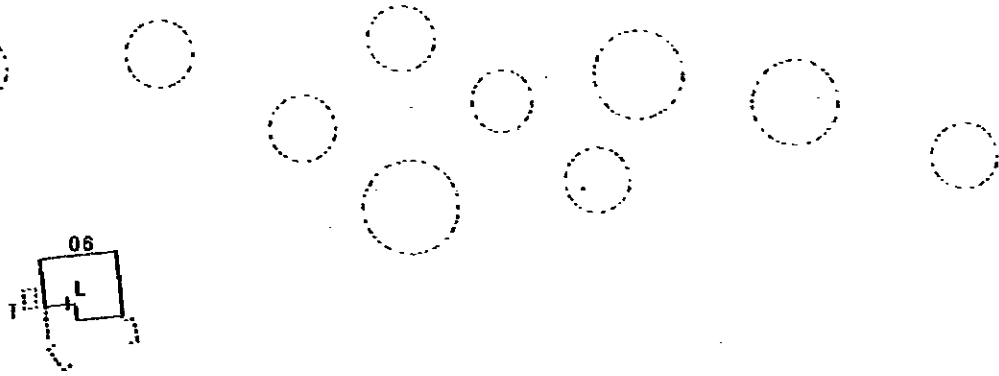
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



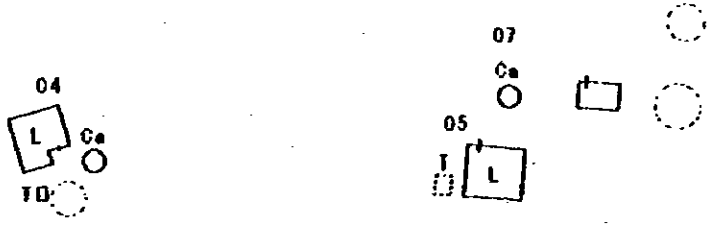
- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



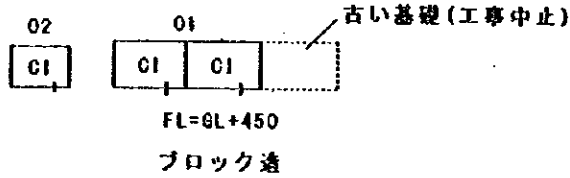
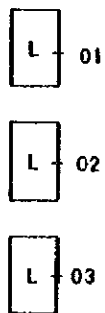
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



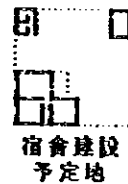
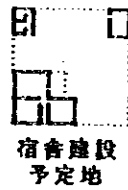
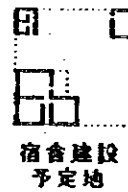
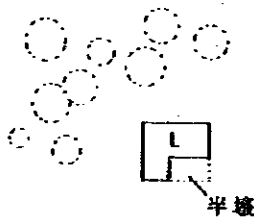
貯水池あり (1ka)



- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫

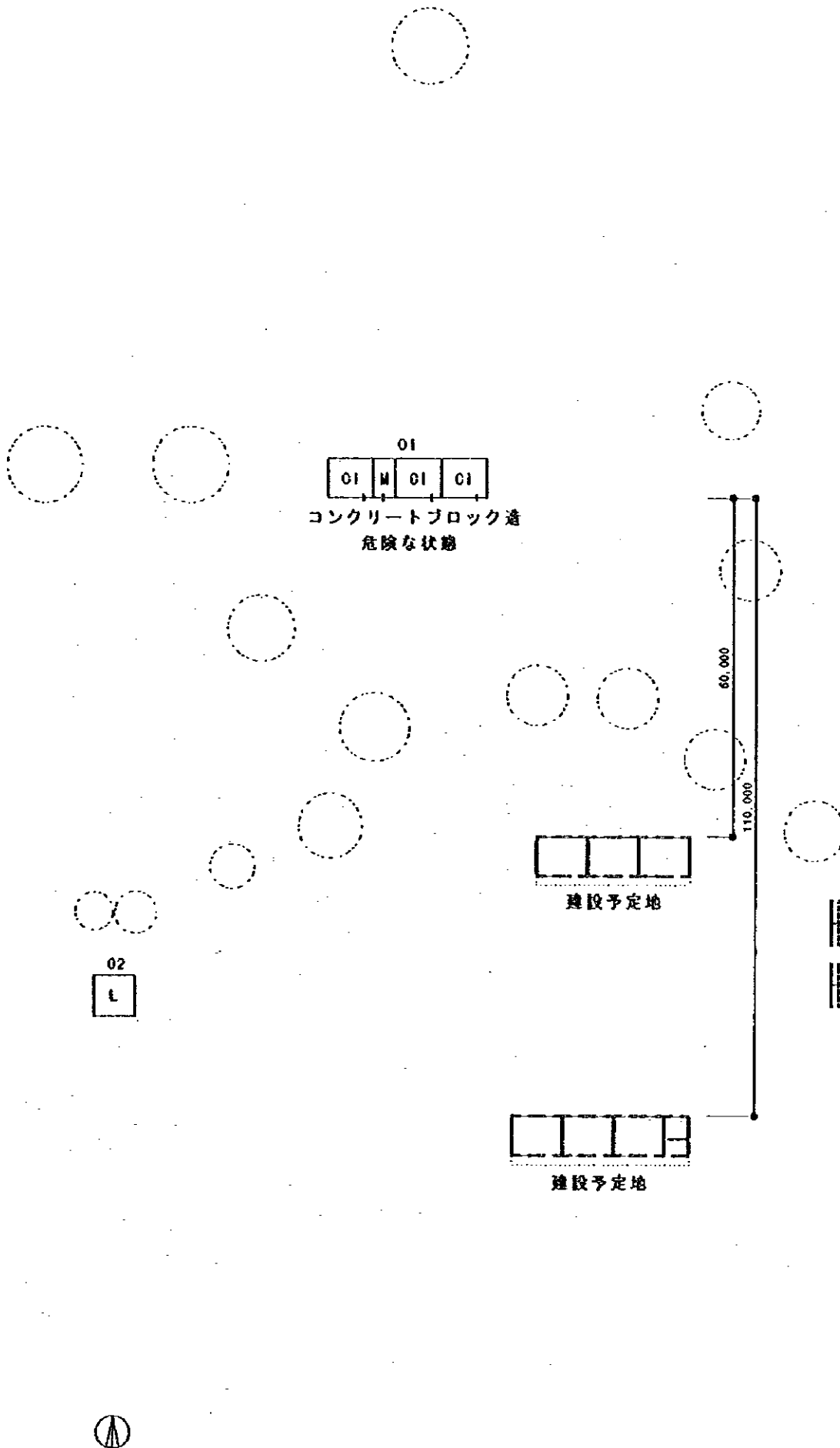


40,000

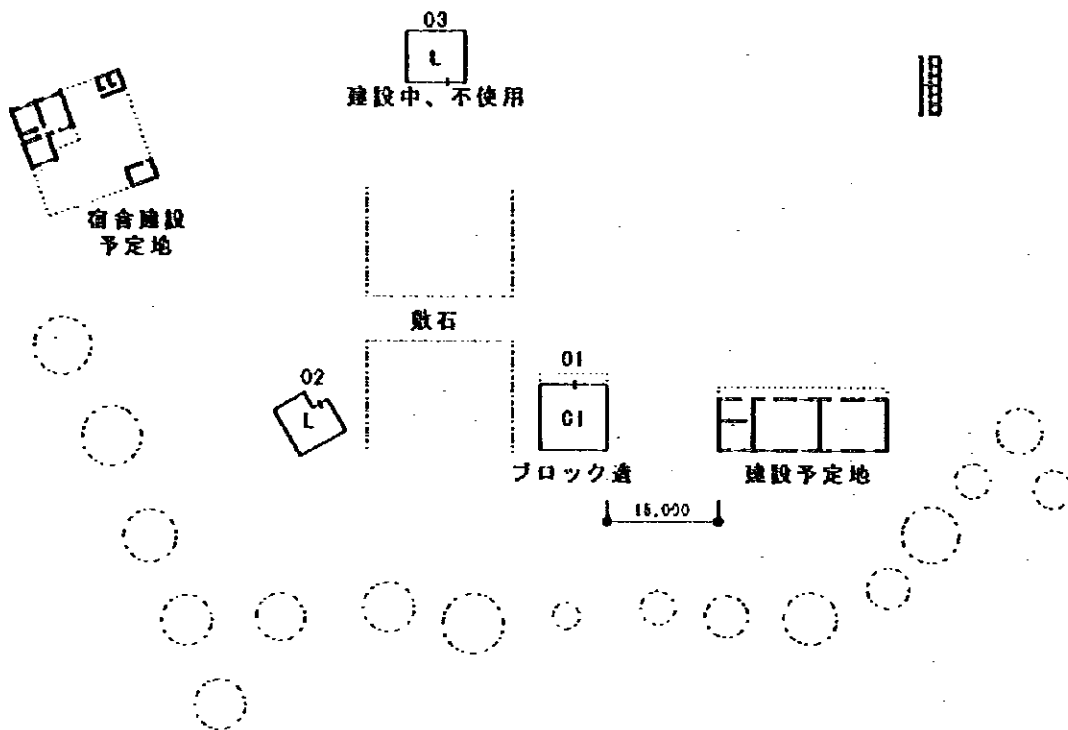


凡例

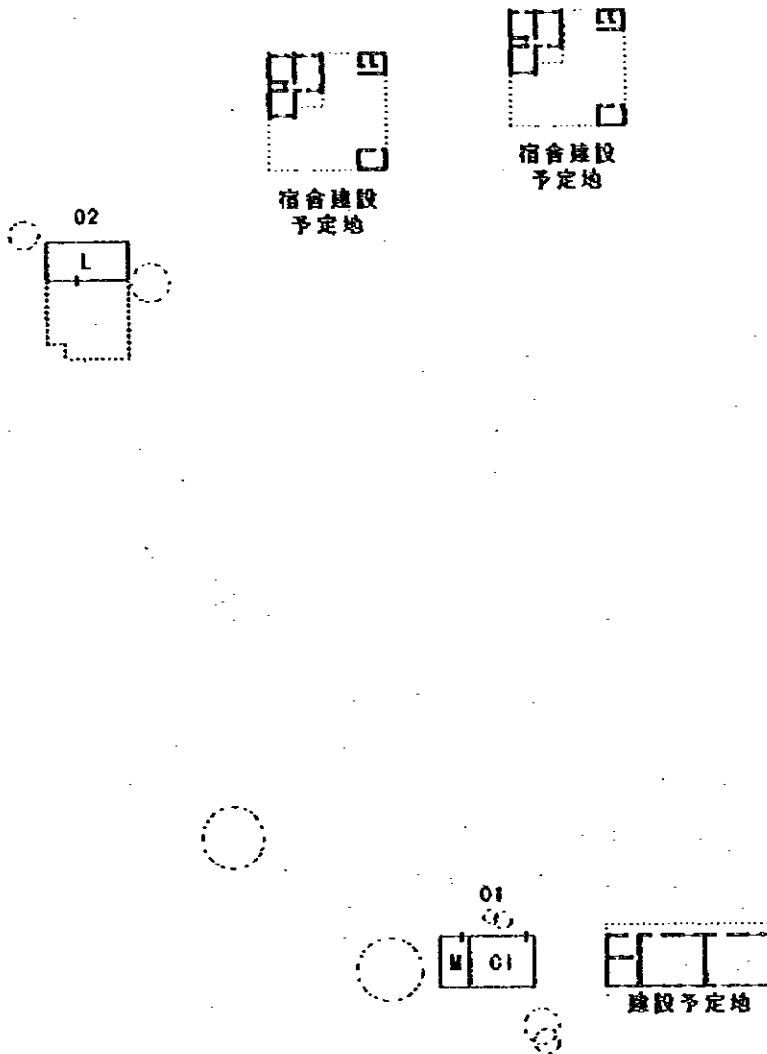
- Cl: 教室
- L: 教員住宅
- T: 便所棟
- Ga: 台所
- M: 倉庫



- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 I: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫

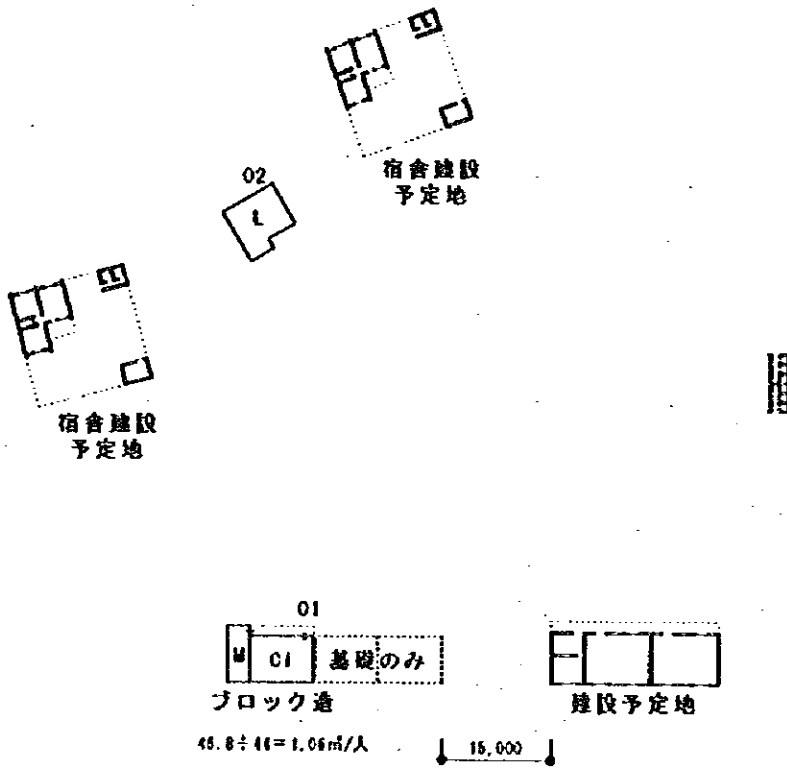


周囲を水路が取り囲み崖となっている
 1ヶ所通行可能



凡例

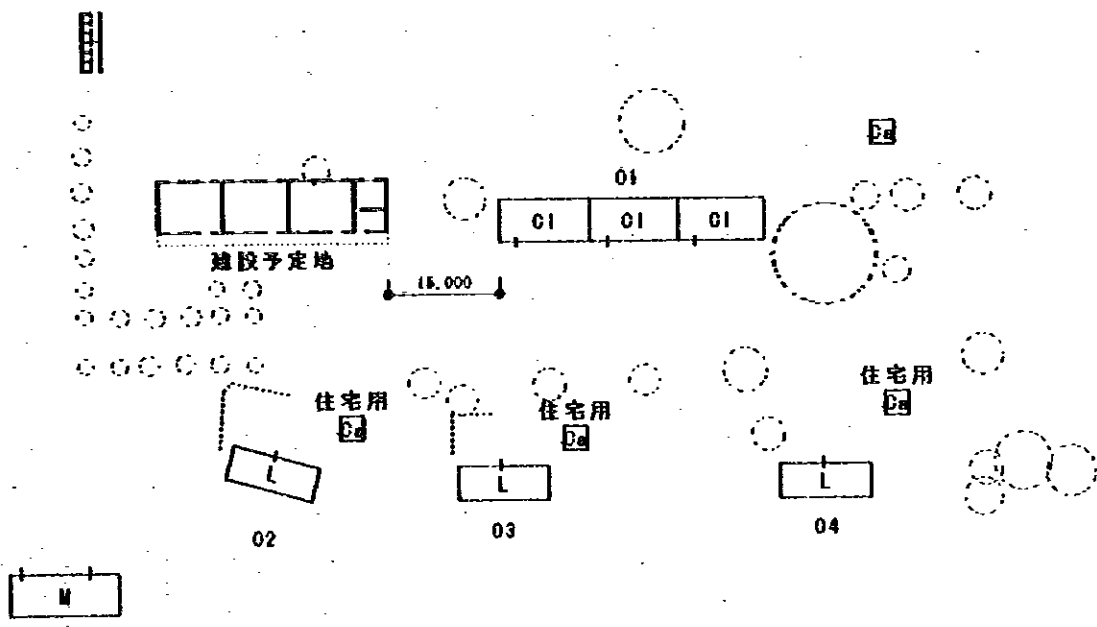
- O1: 教室
- L: 教員住宅
- T: 便所棟
- C: 台所
- M: 倉庫



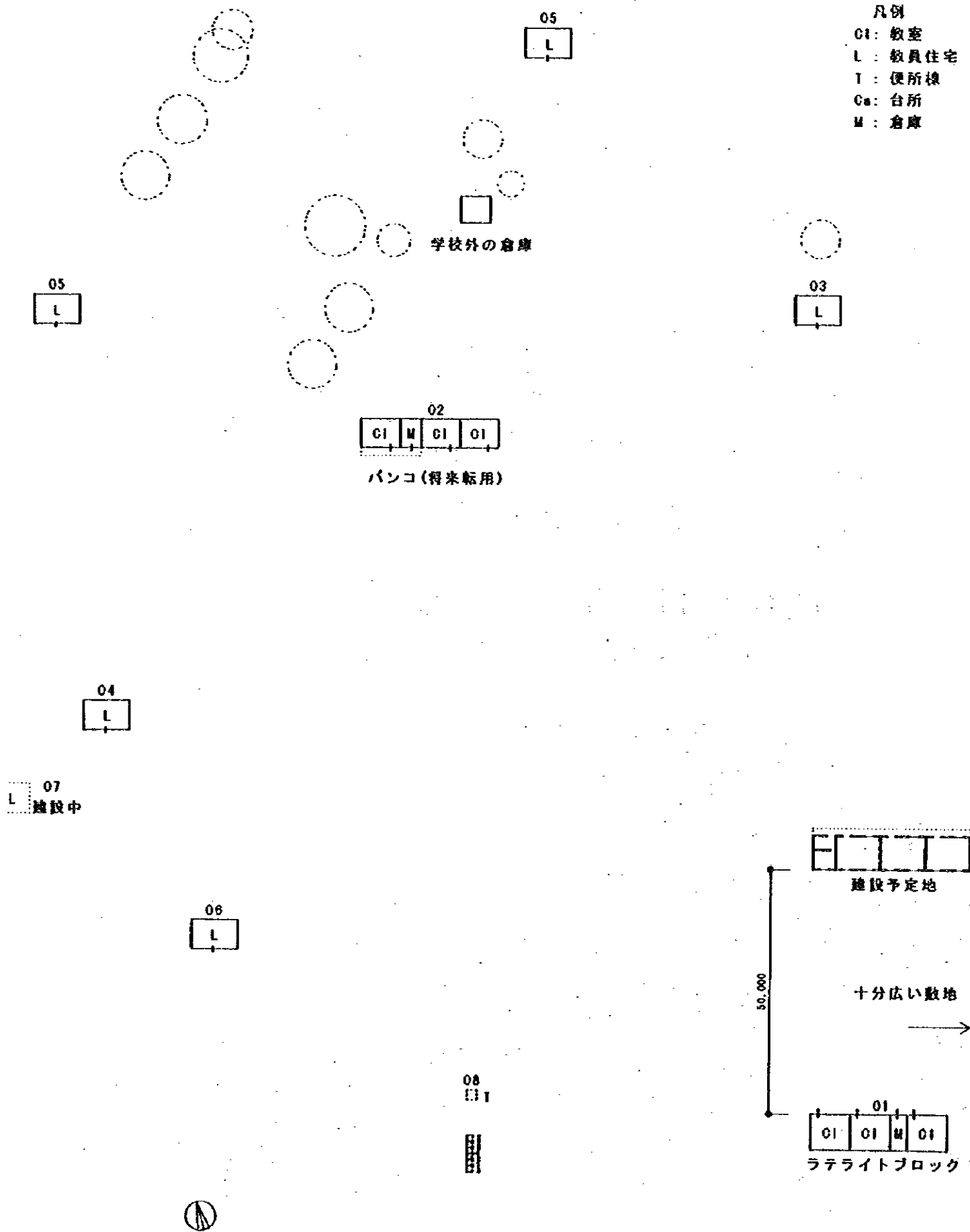
住民建設の新教室は資金不足のため工事中止



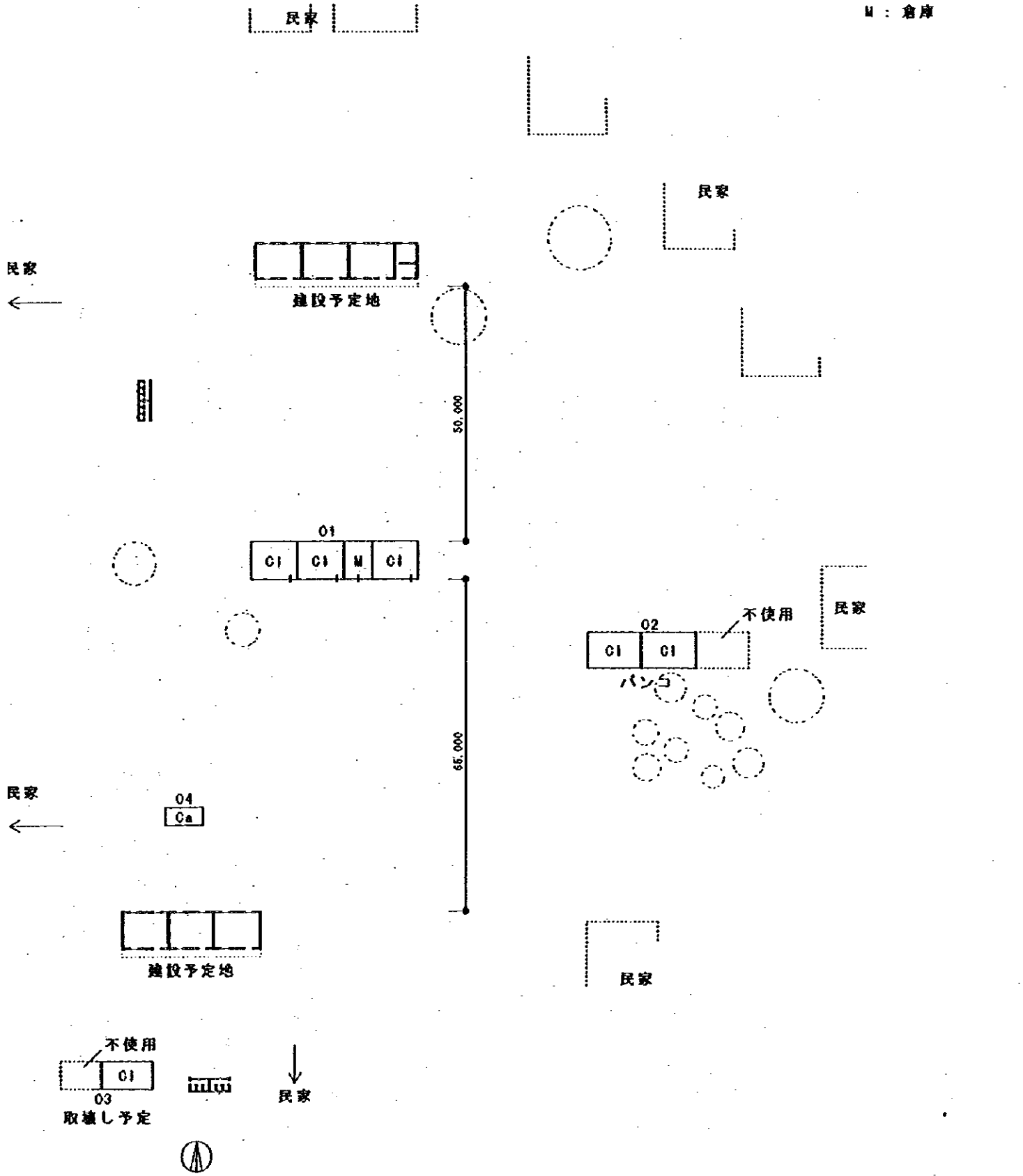
- 凡例
 O1: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



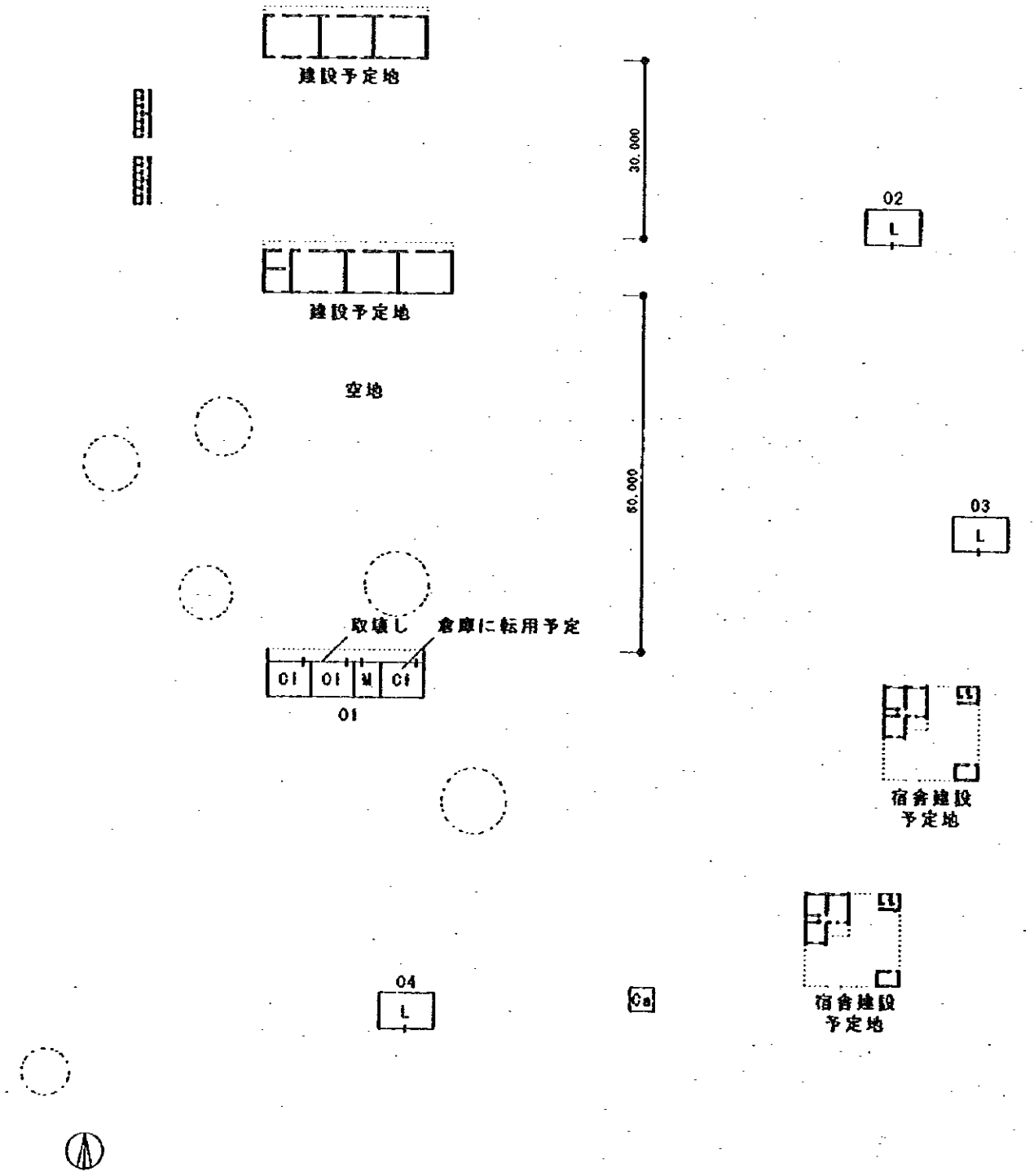
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



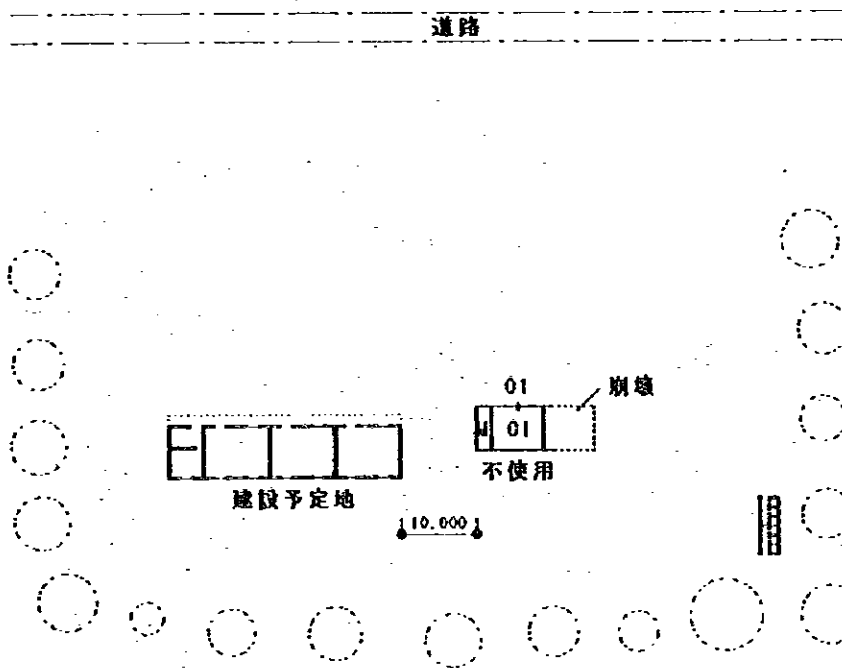
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



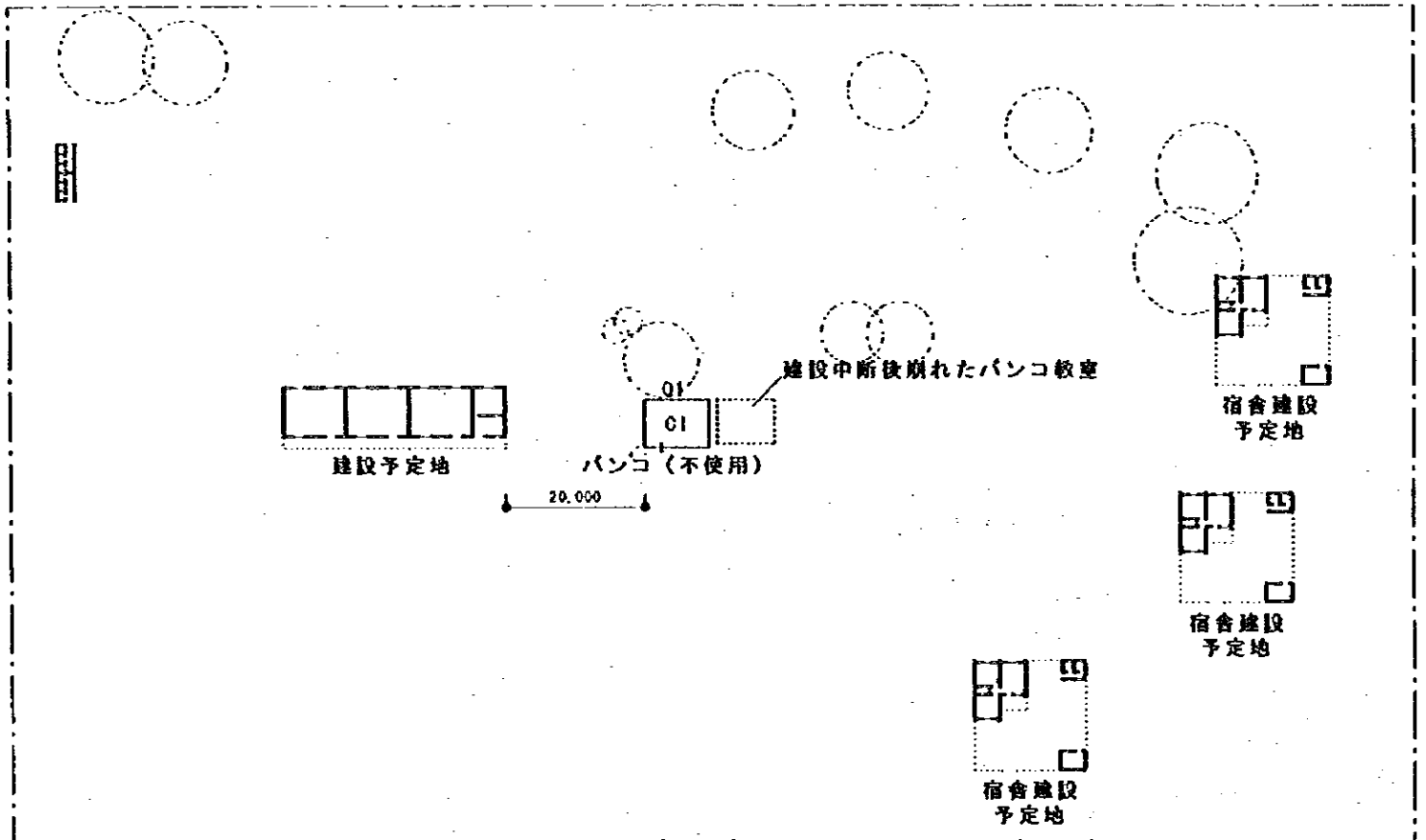
- 凡例
Cl: 教室
L: 教員住宅
T: 便所棟
Ca: 台所
M: 倉庫



建物の老朽化により休校中
児童のうち50人はNyolonyoloの学校(12km東)へ通学

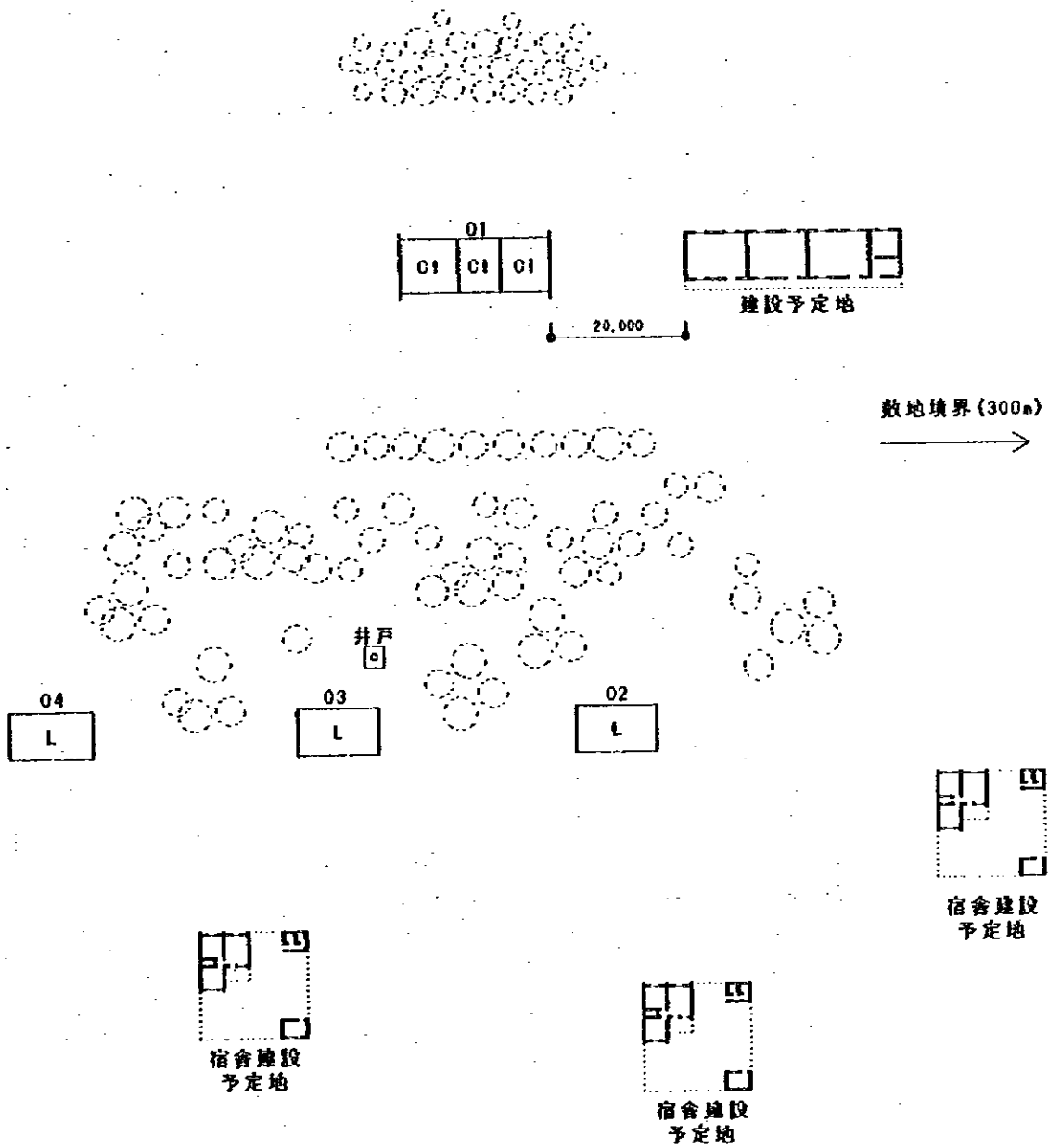


- 凡例
Cl: 教室
L: 教員住宅
I: 便所棟
Ca: 台所
M: 倉庫



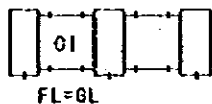
- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 I: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫

敷地境界



- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 厕所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫

FJA(青年農業訓練所)を間借り



FL=GL
 周囲は岩盤の露出した草地

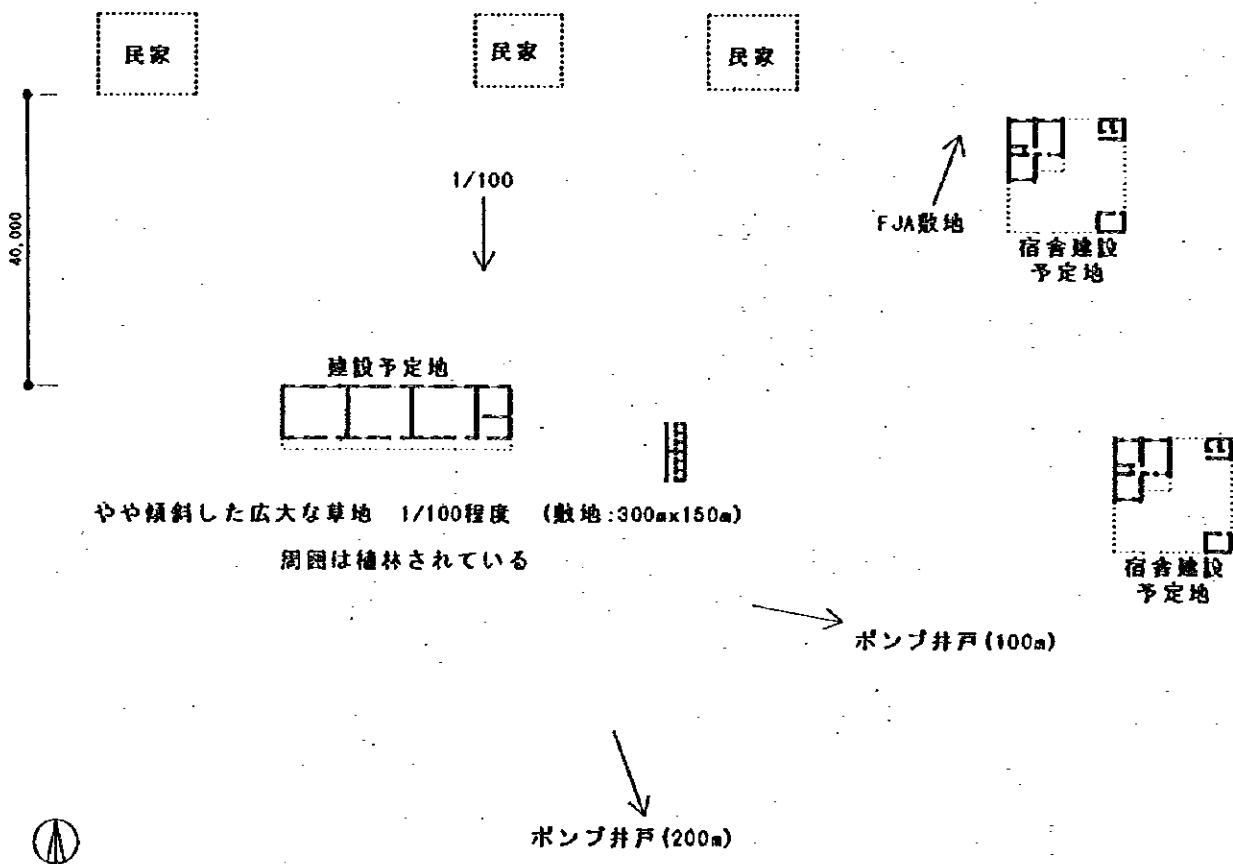
民家

新校舎建用敷地
 (500m)

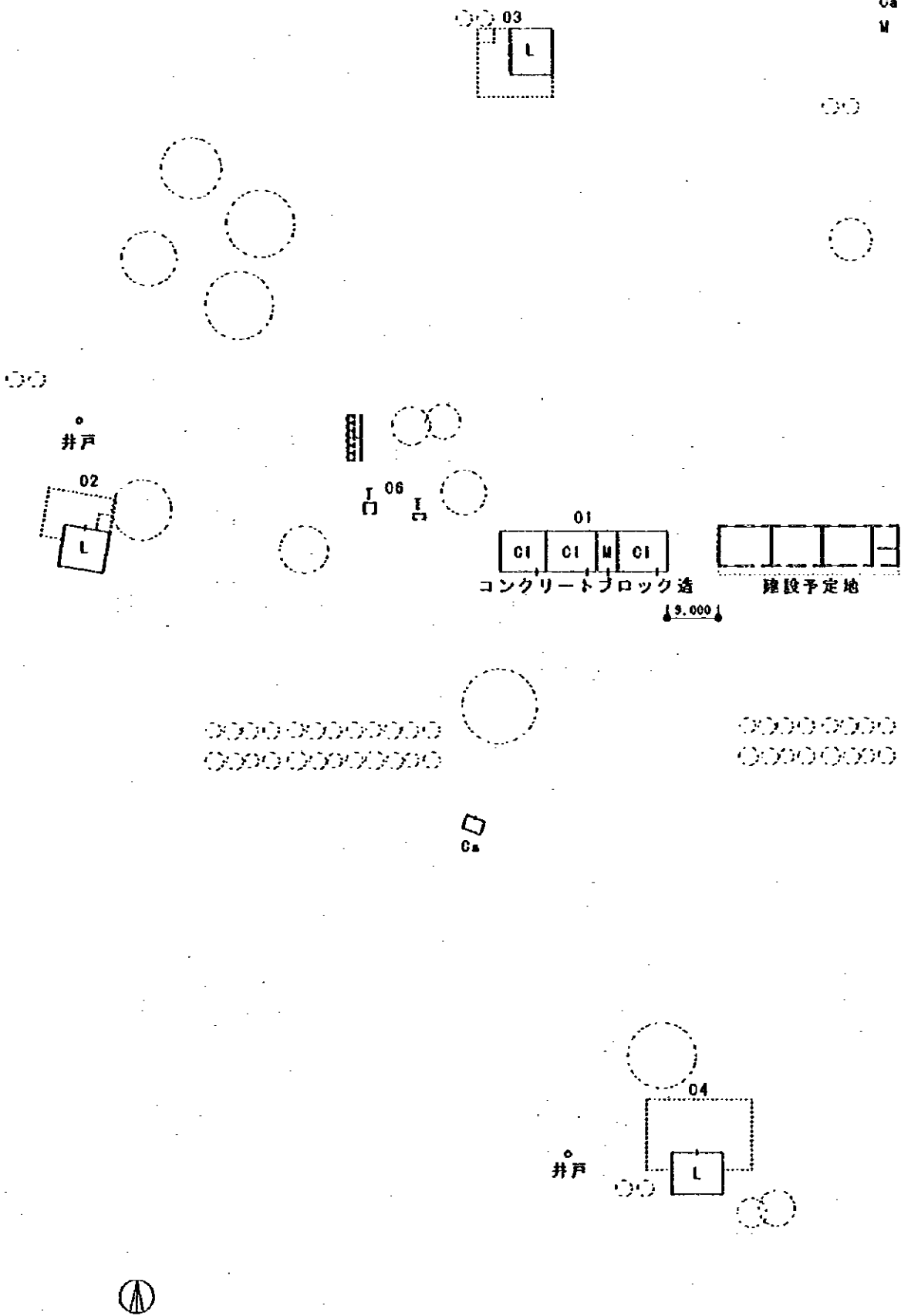
民家

Diebougou

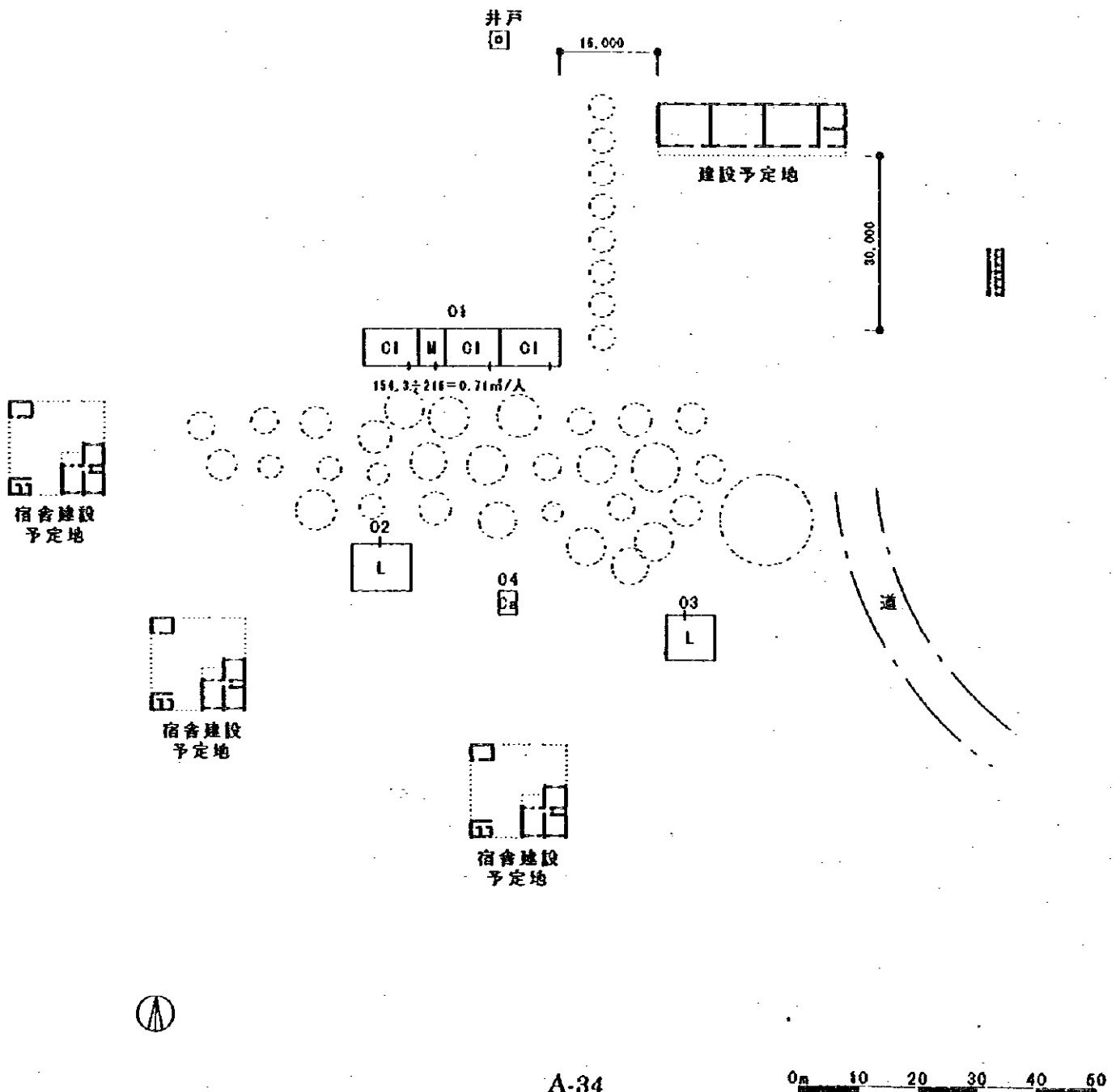
Bobo



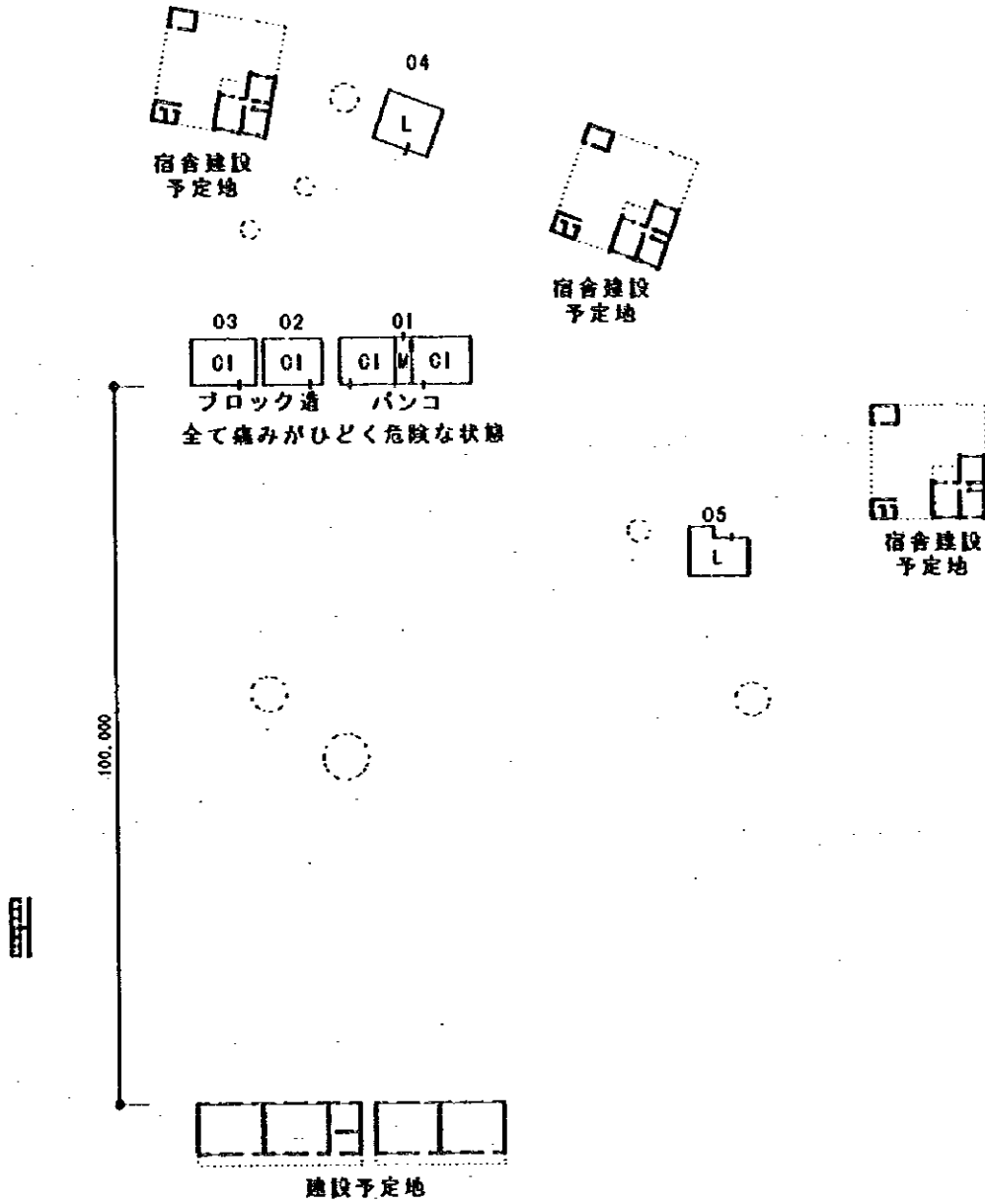
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



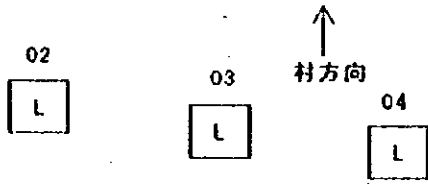
- 凡例
 O1: 教室
 L: 教員住宅
 I: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



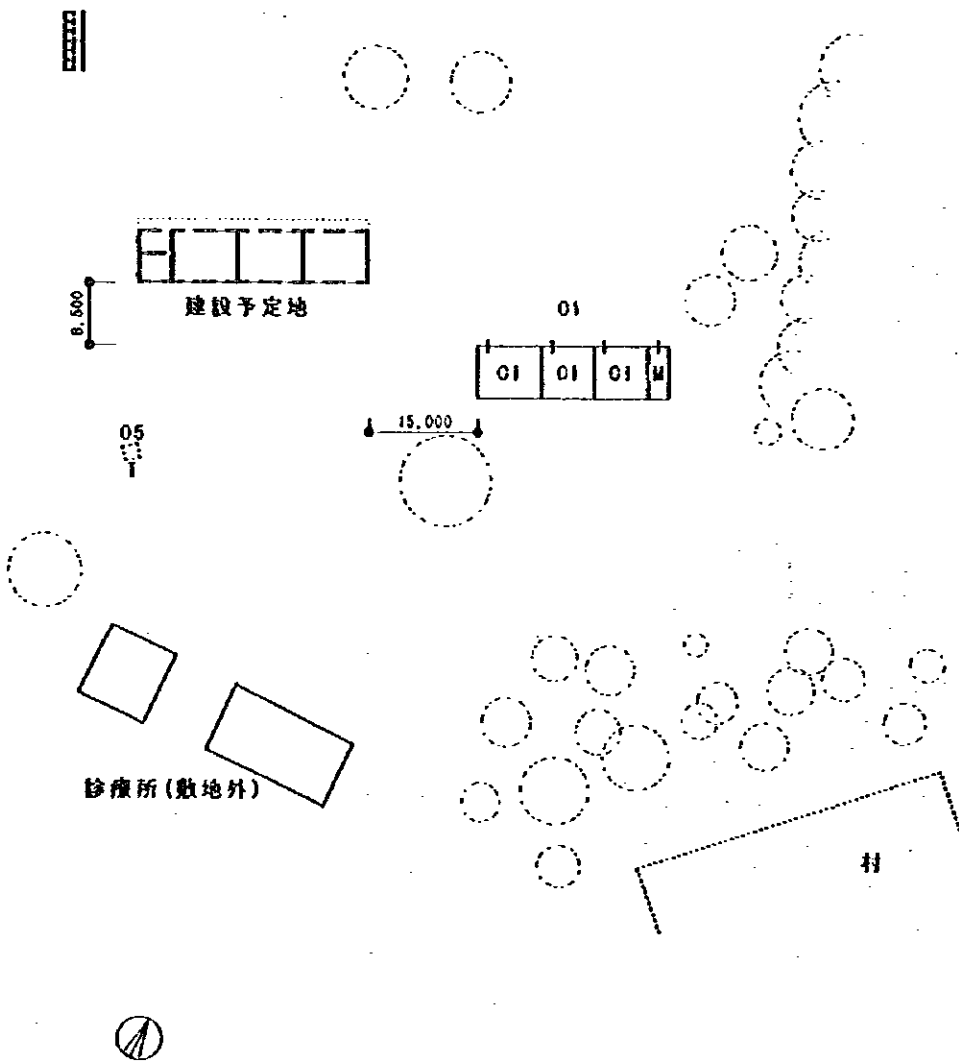
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



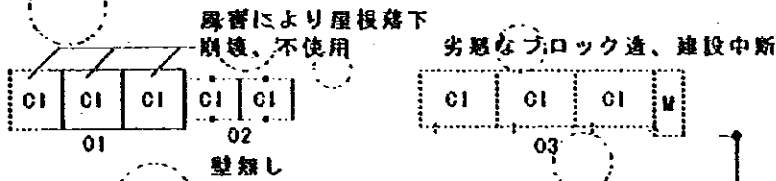
- 凡例
 OI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



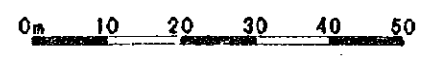
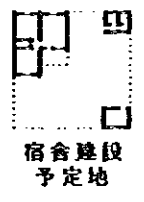
←
 強風の方向
 (Direction of strong wind)



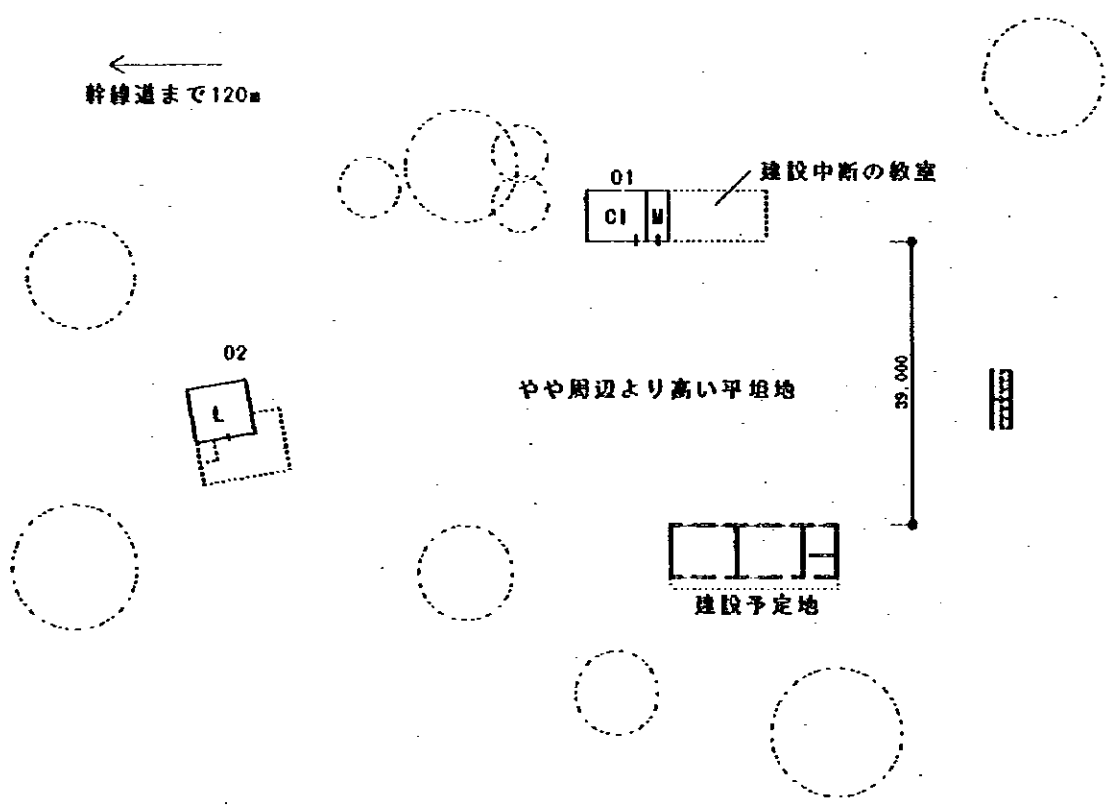
- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



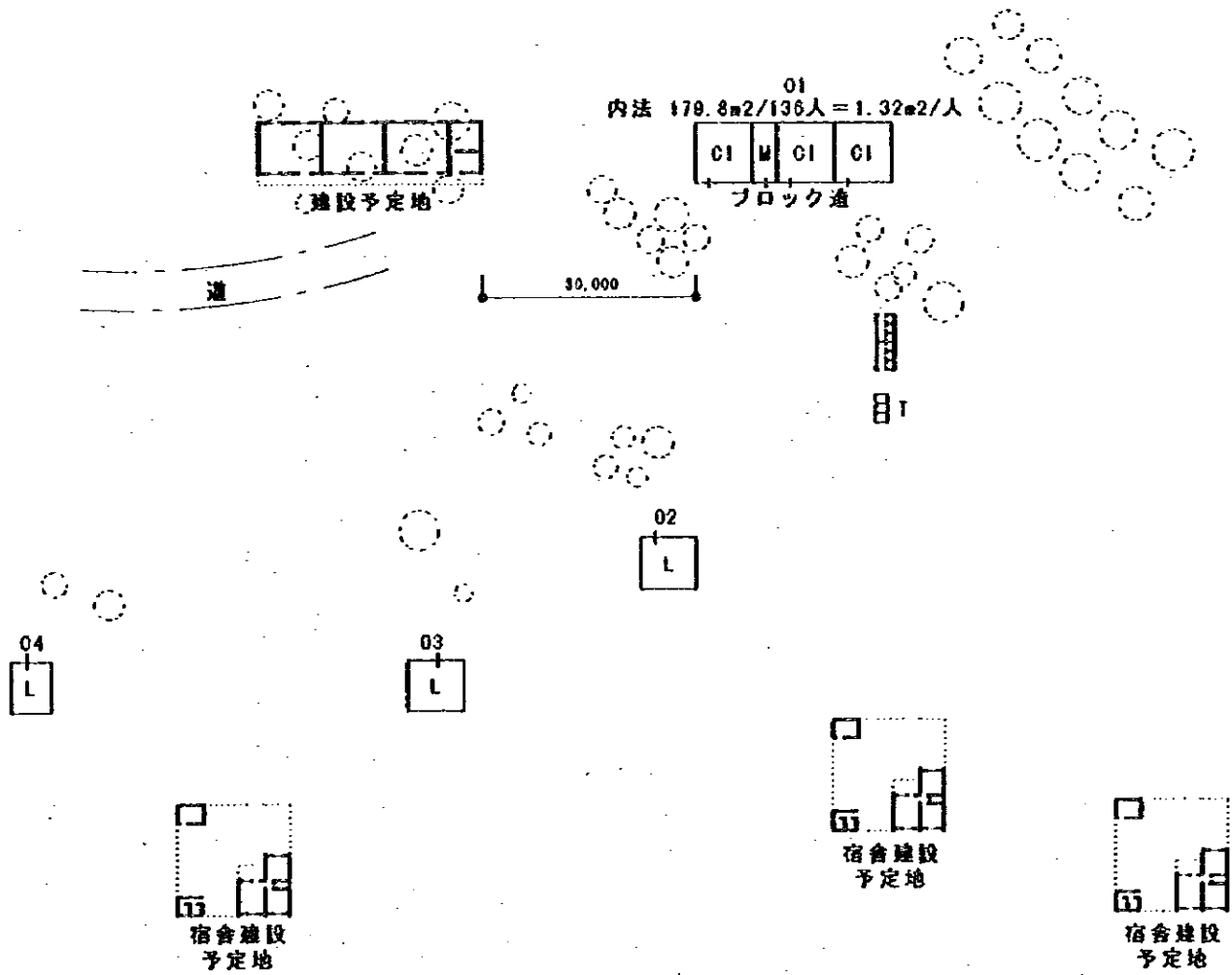
28,000



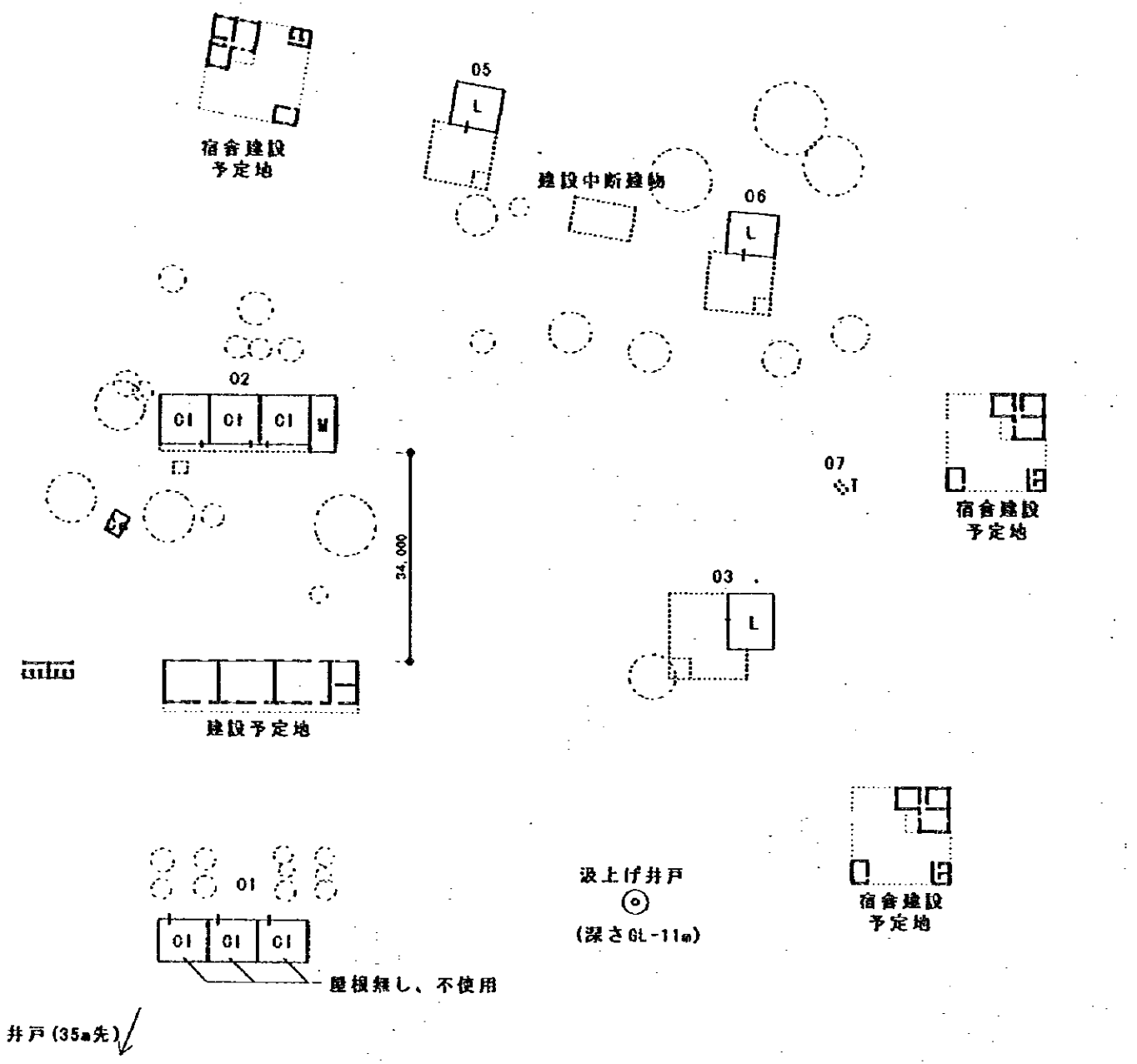
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



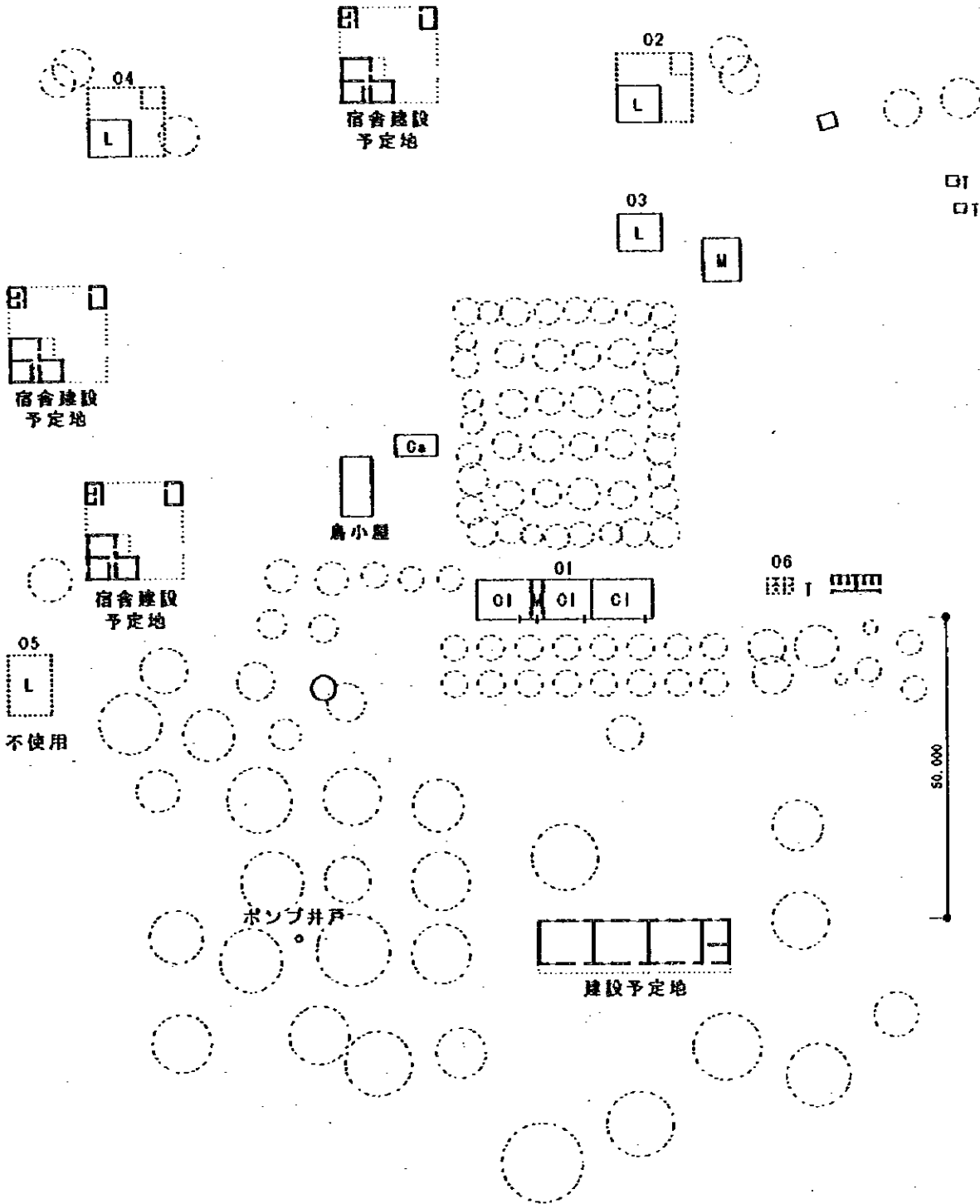
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫

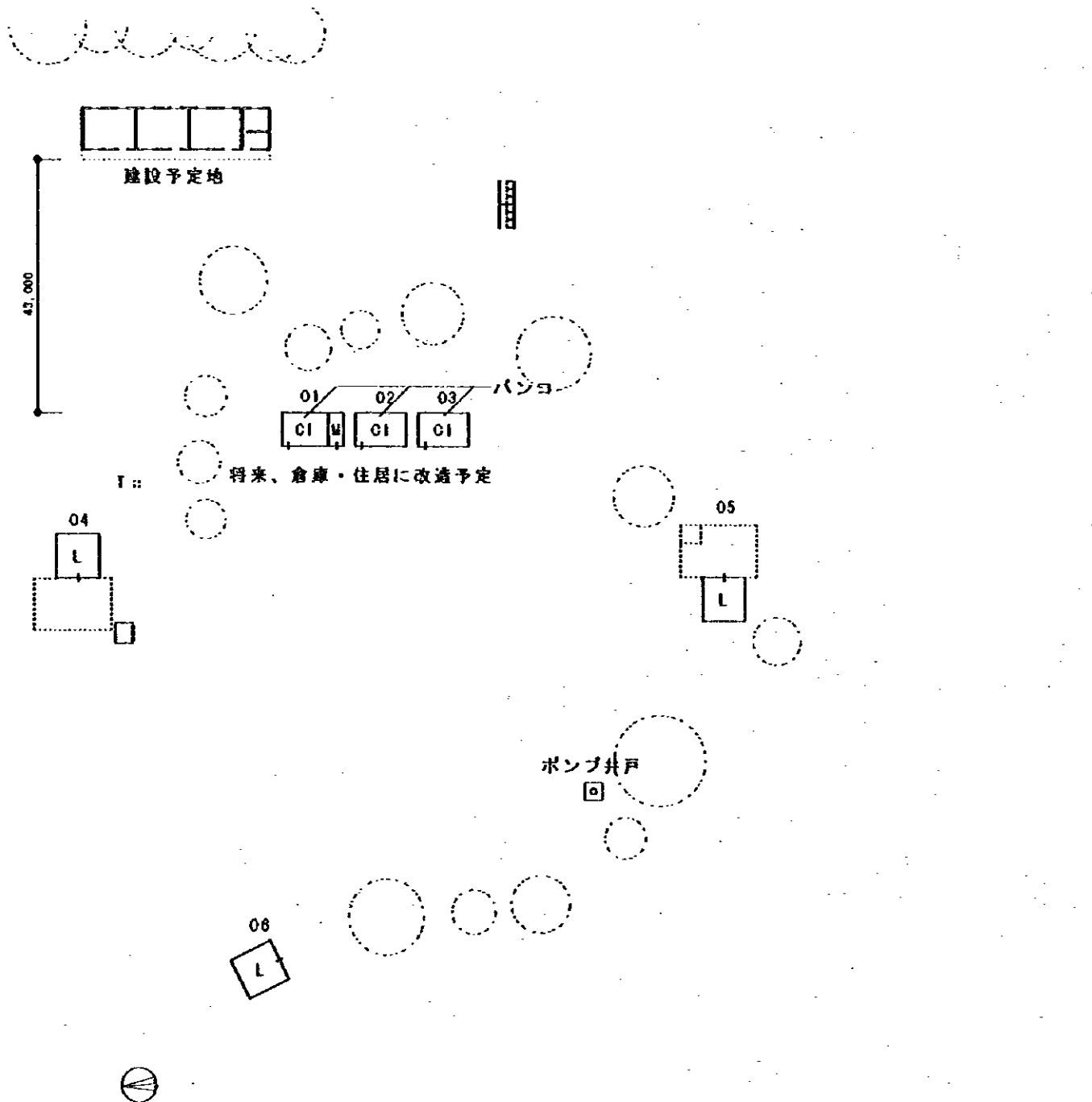


- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫

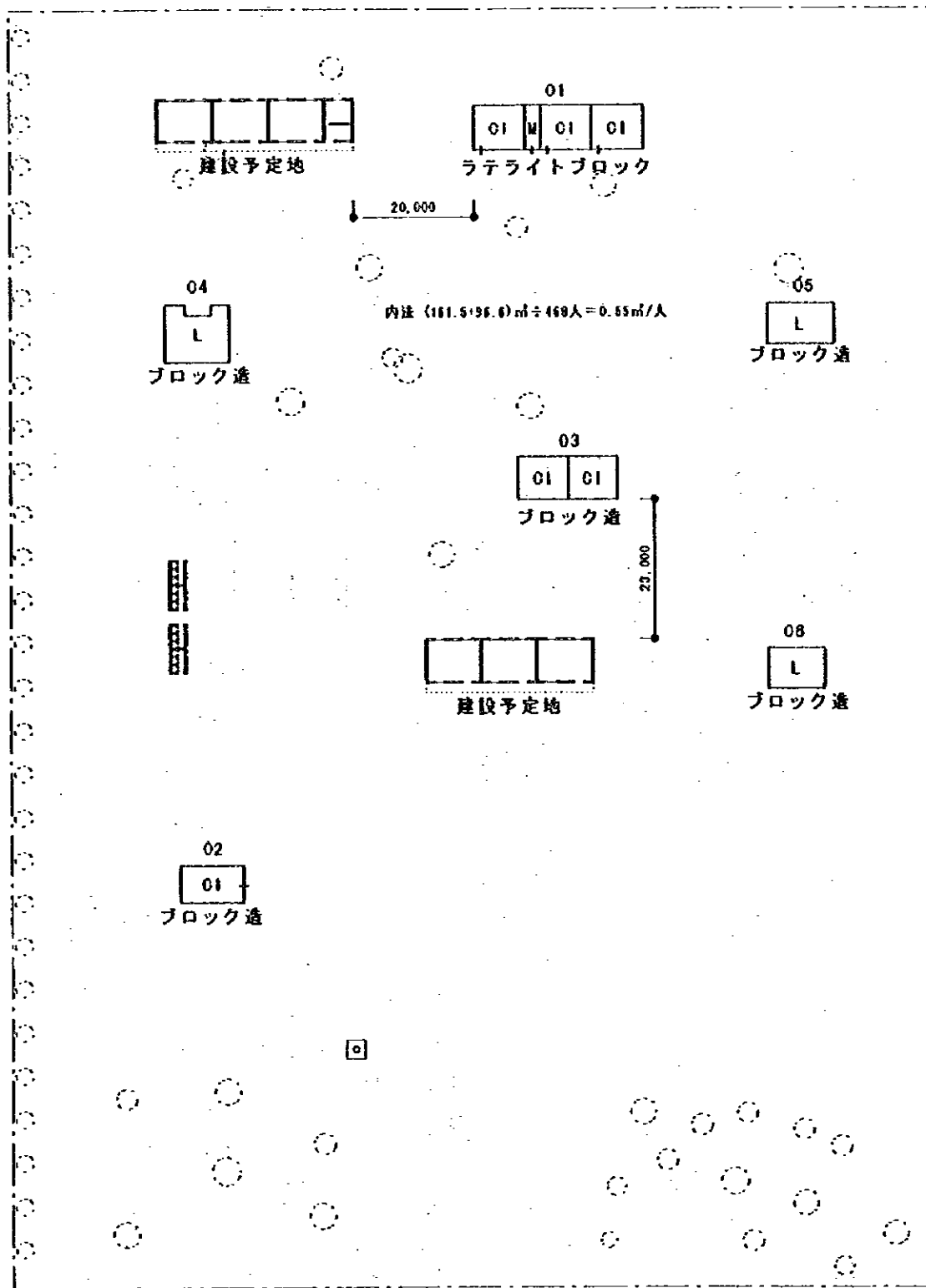


凡例

- CI: 教室
- L: 教員住宅
- T: 便所棟
- Ca: 台所
- M: 倉庫



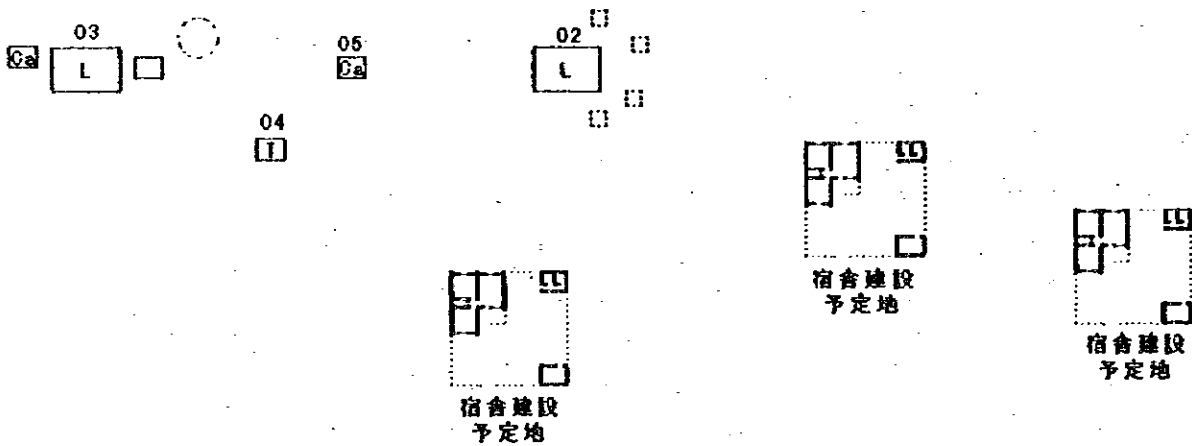
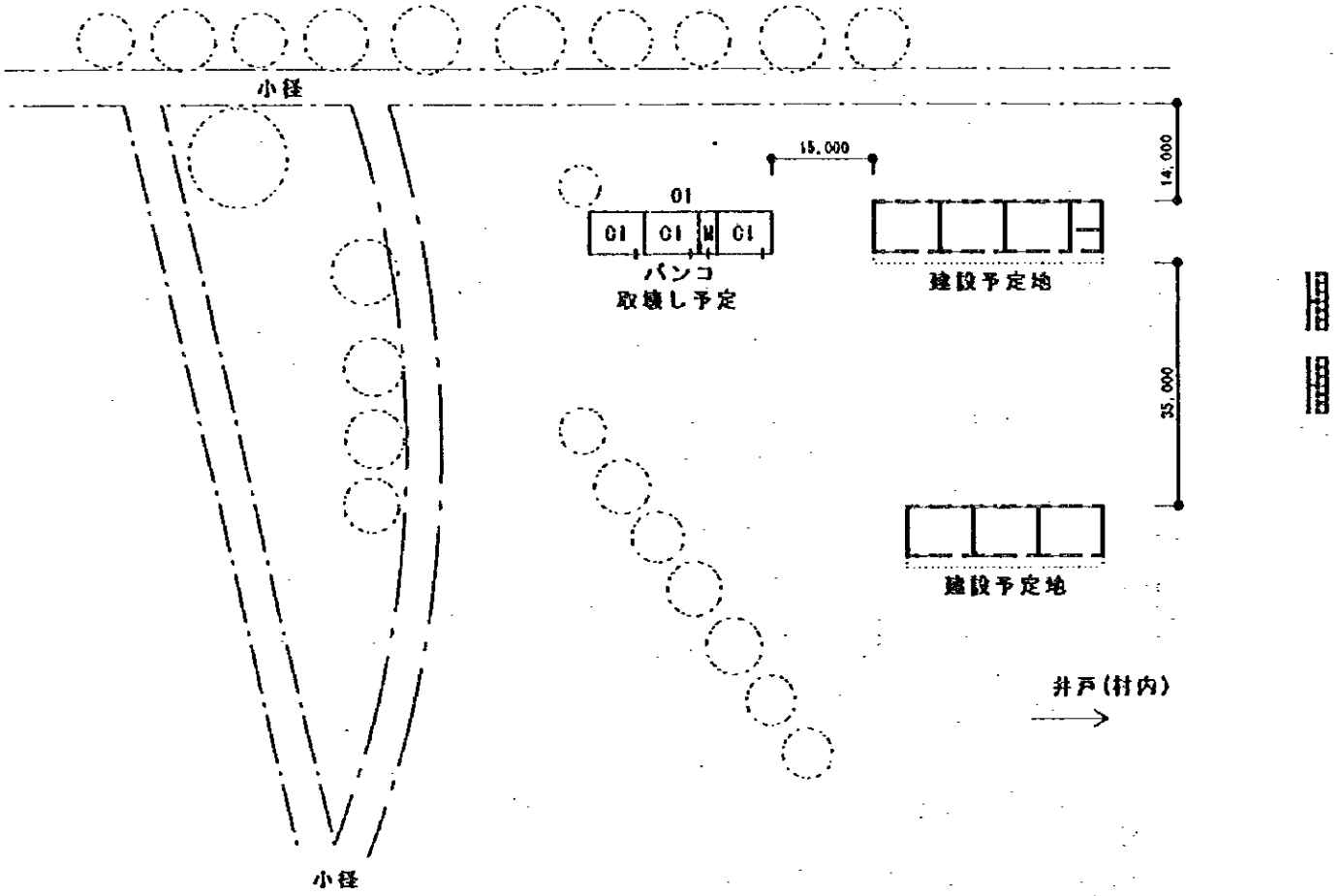
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



幹線道 (N1)

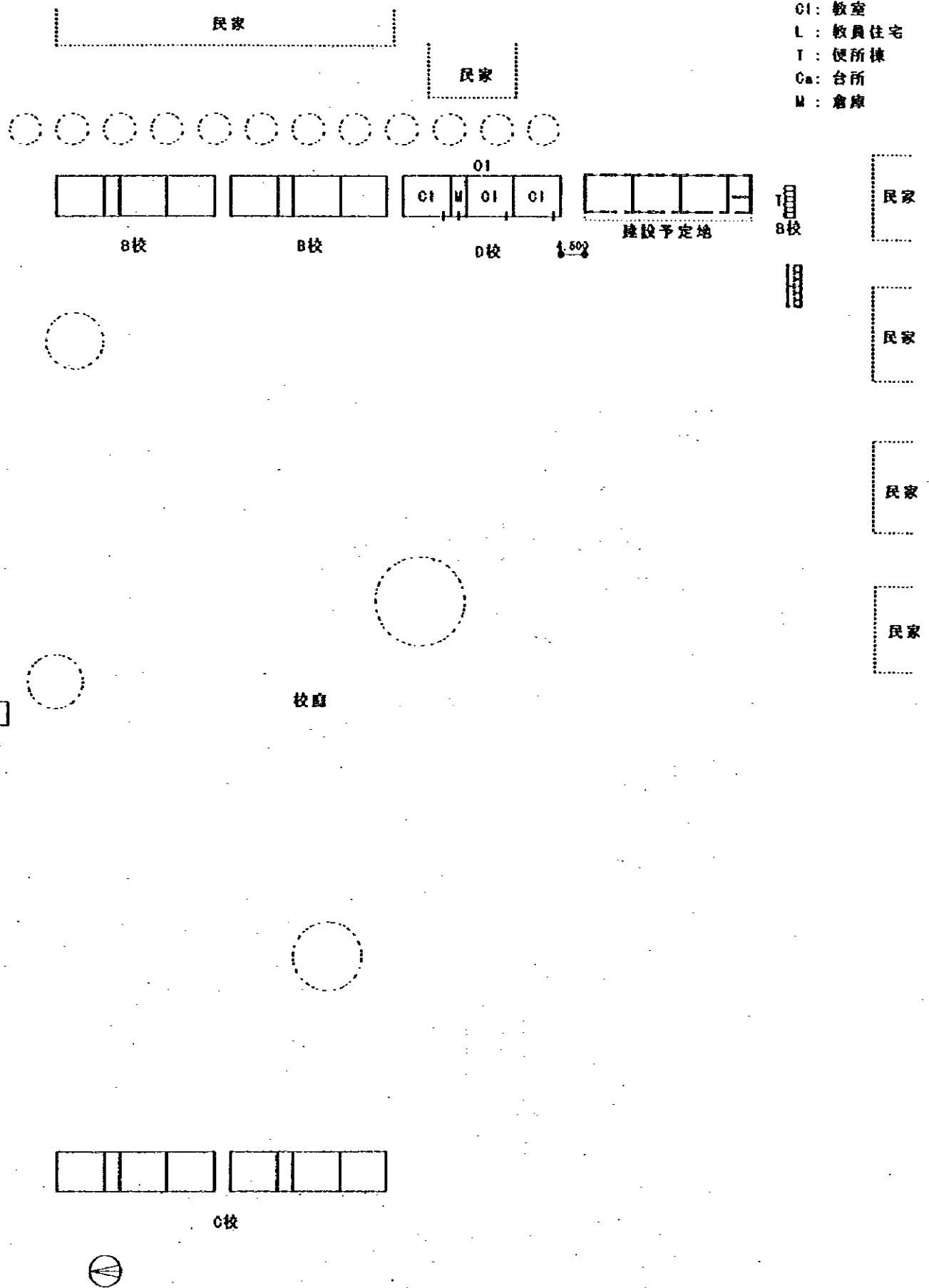


- 凡例
 O1: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫

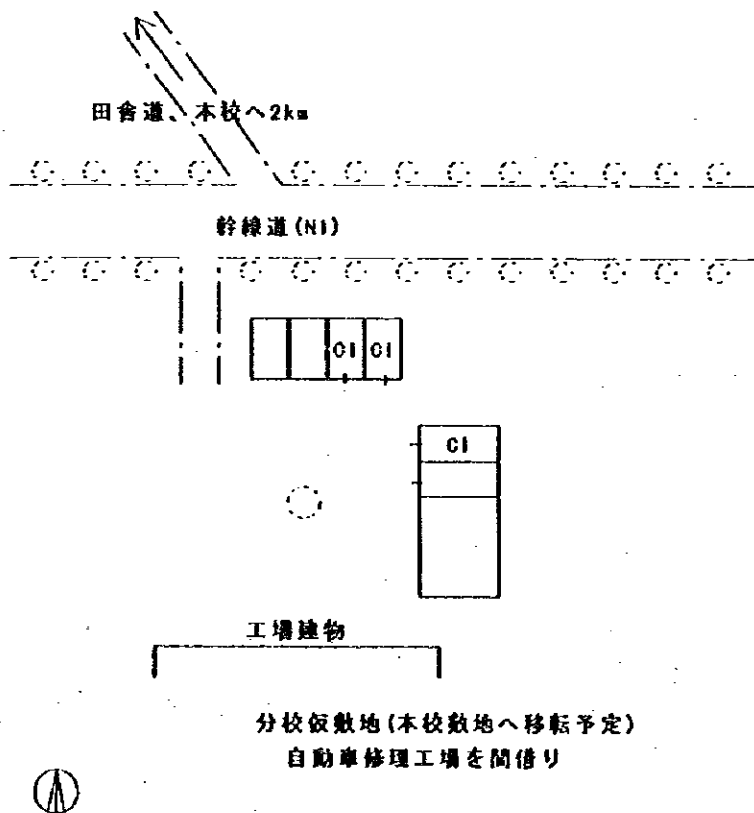
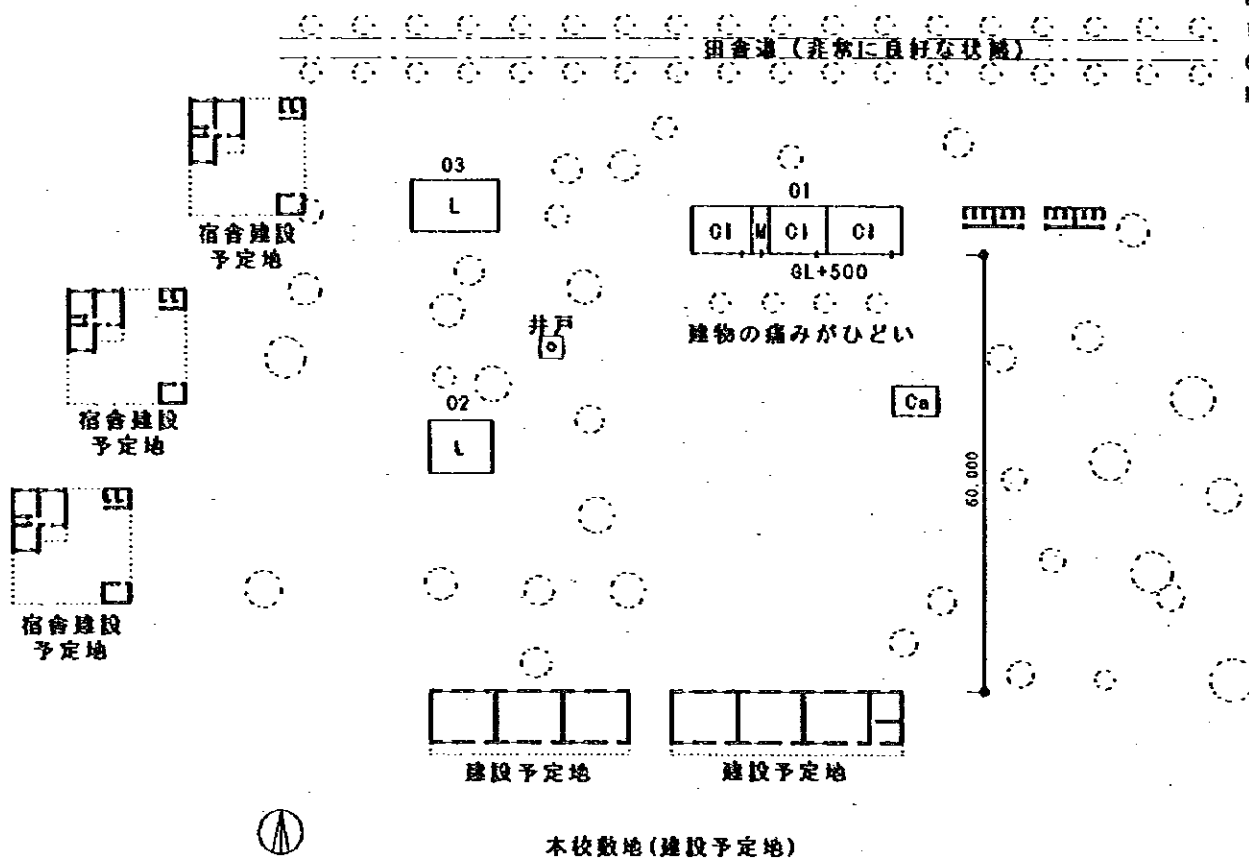


凡例

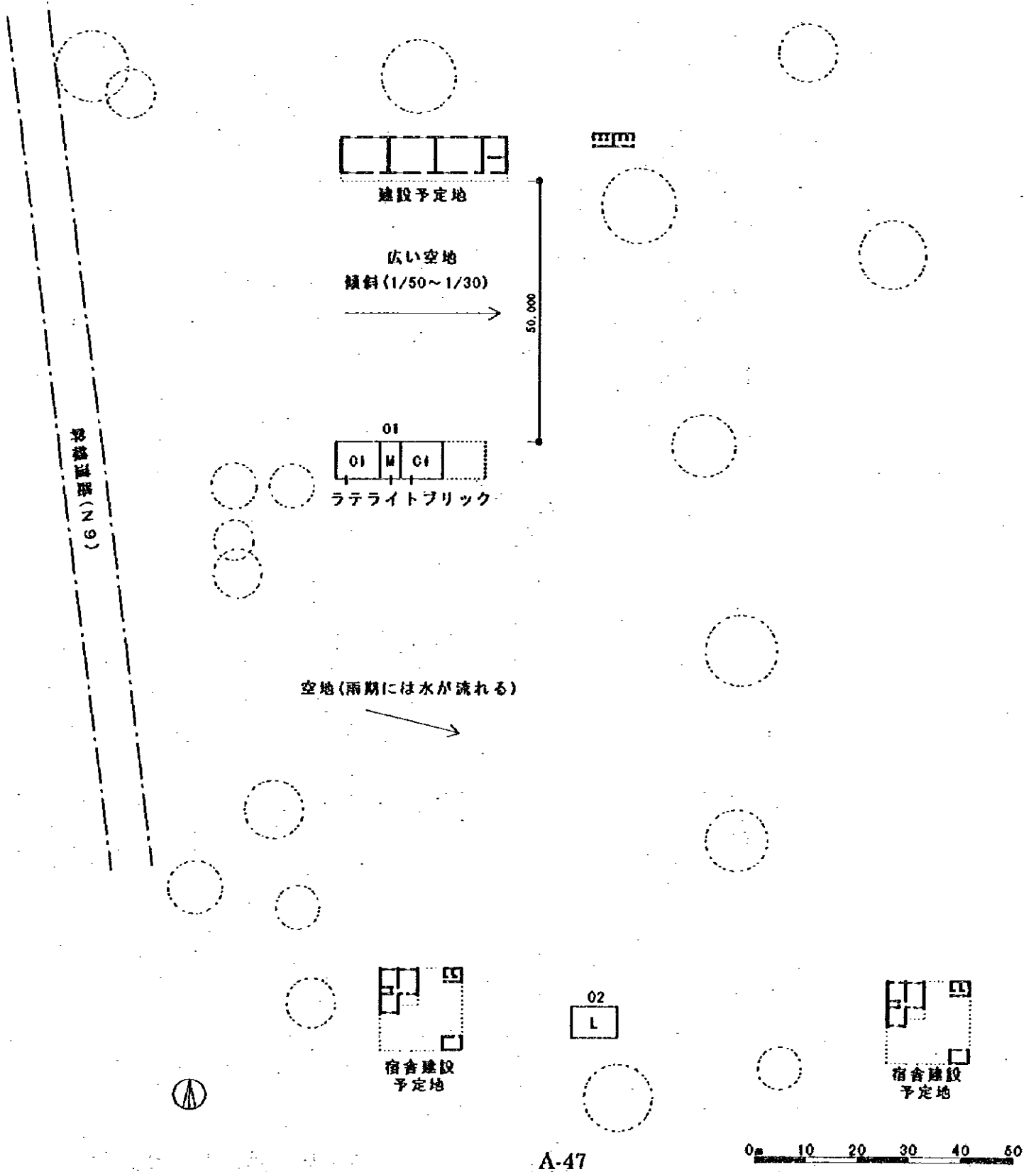
- Cl: 教室
- L: 教員住宅
- T: 便所棟
- Ca: 台所
- M: 倉庫



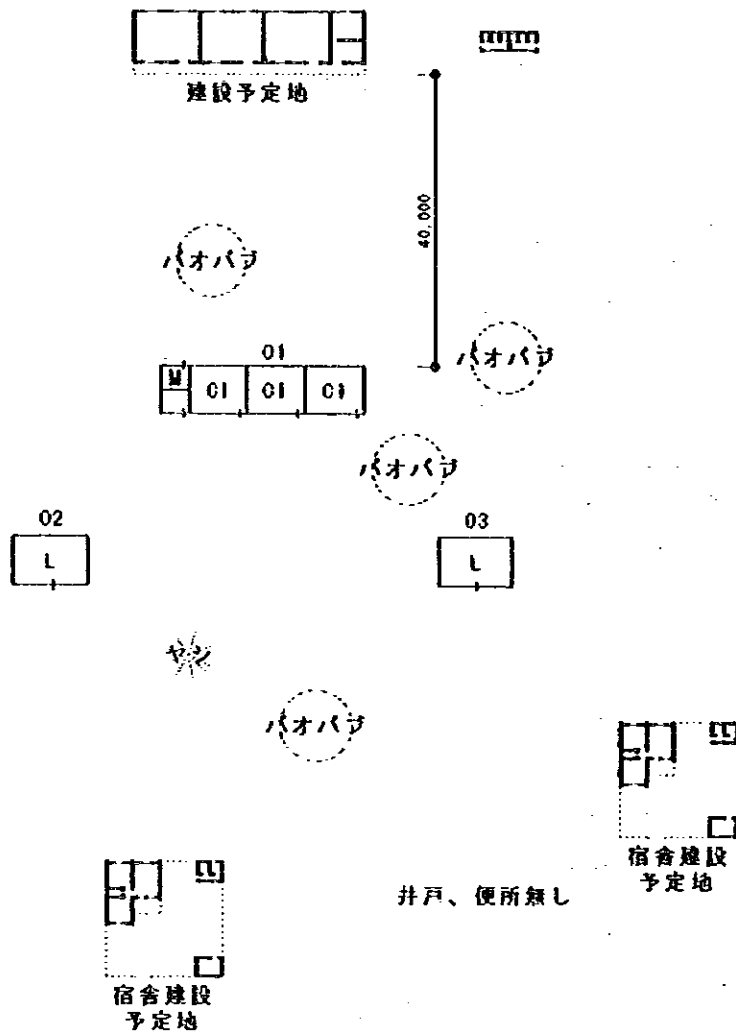
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



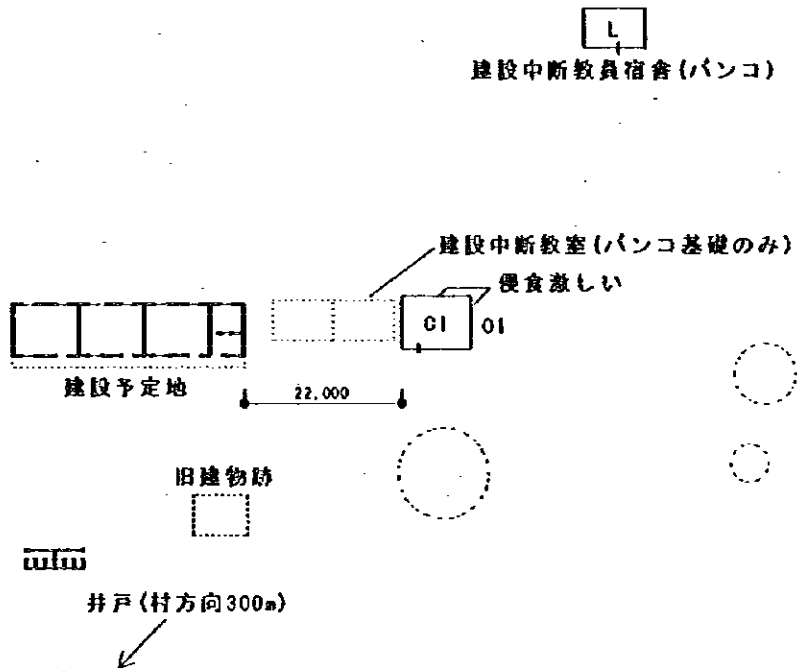
- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



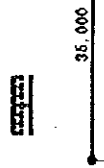
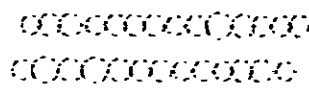
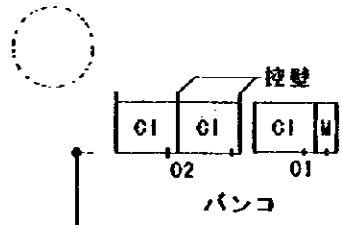
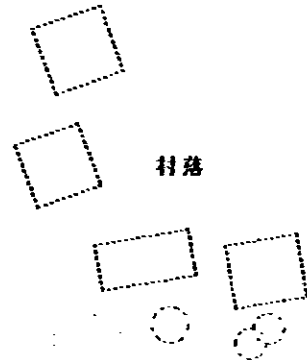
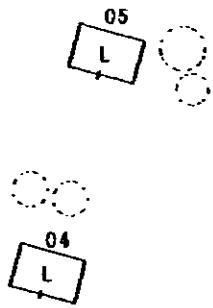
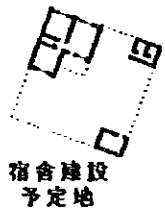
- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



- 凡例
Cl: 教室
L: 教員住宅
T: 便所棟
Ca: 台所
M: 倉庫



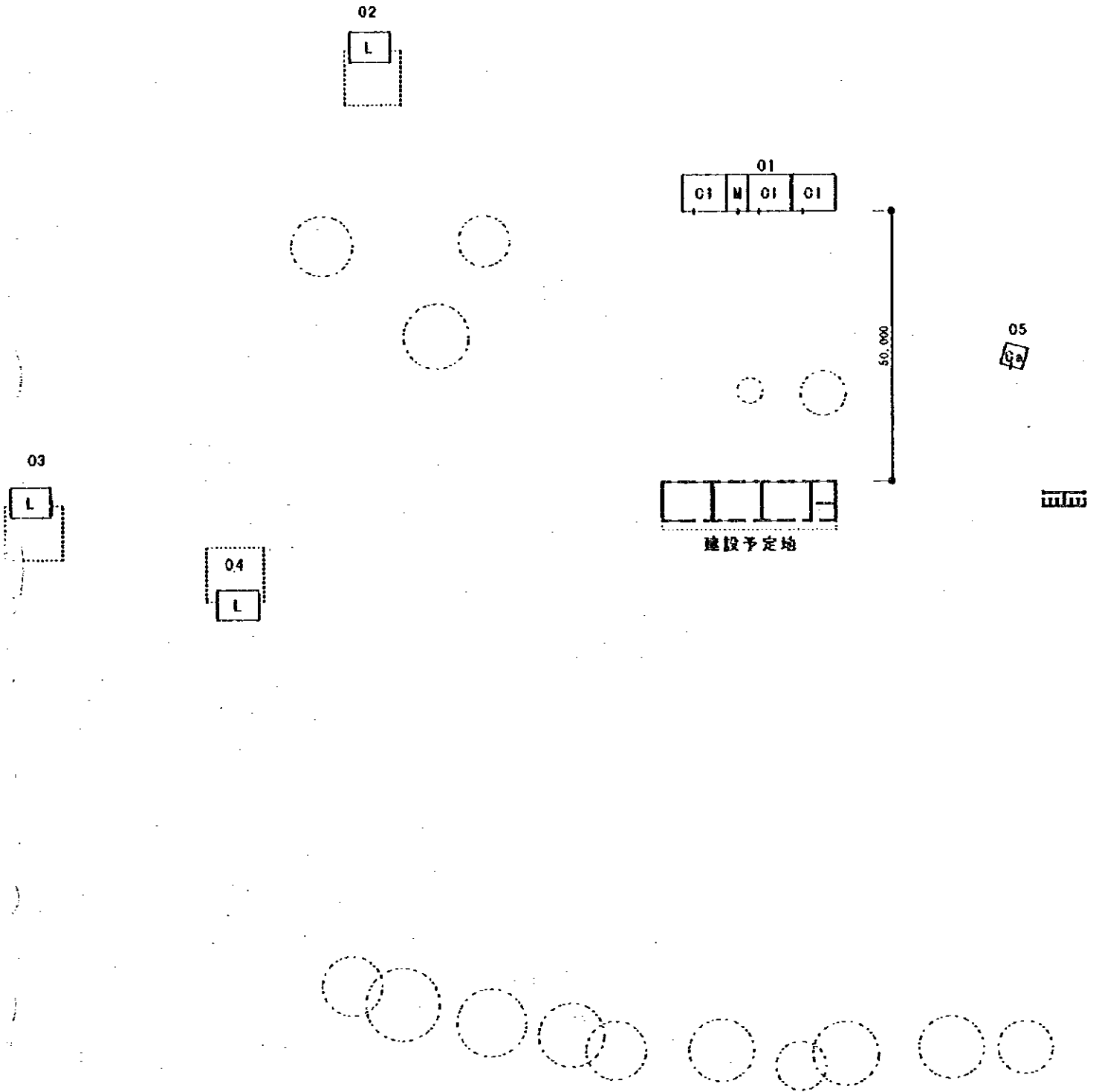
- 凡例
 GI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



汲上げ浅井戸



- 凡例
O1: 教室
L: 教員住宅
I: 便所棟
Ca: 台所
M: 倉庫

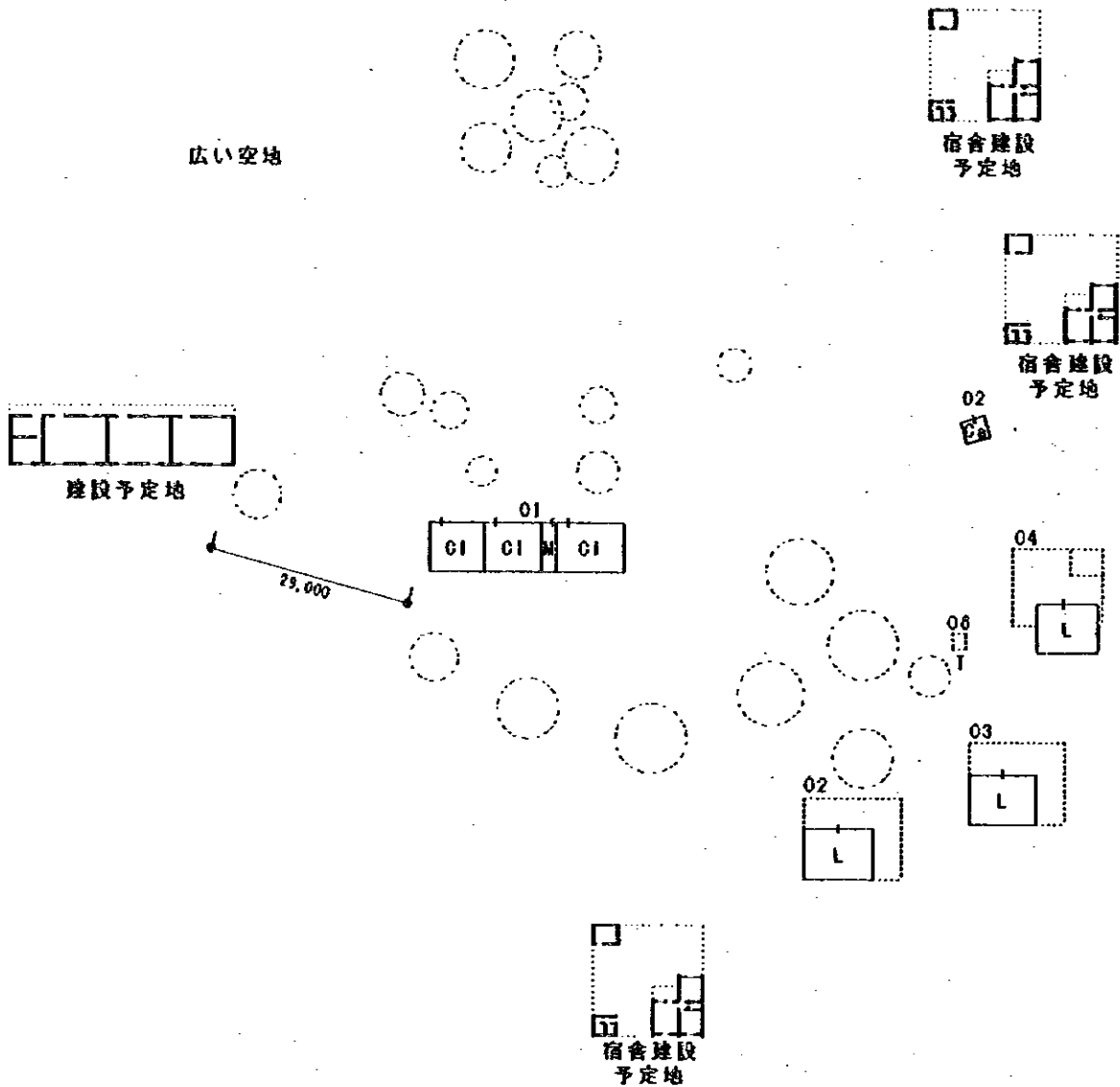


凡例

- CI: 教室
- L: 教員住宅
- T: 便所棟
- Ca: 台所
- M: 倉庫


01

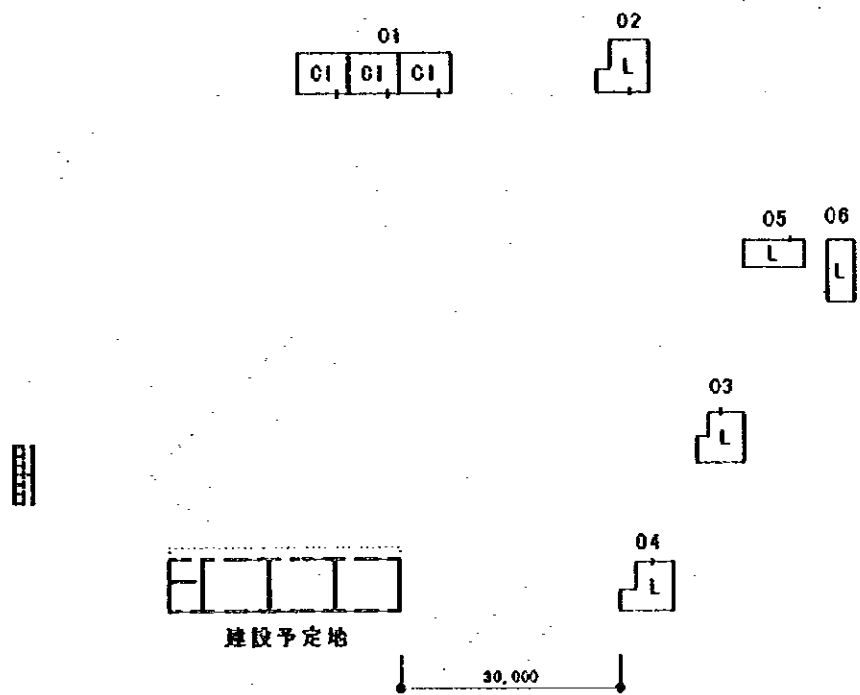
広い空地



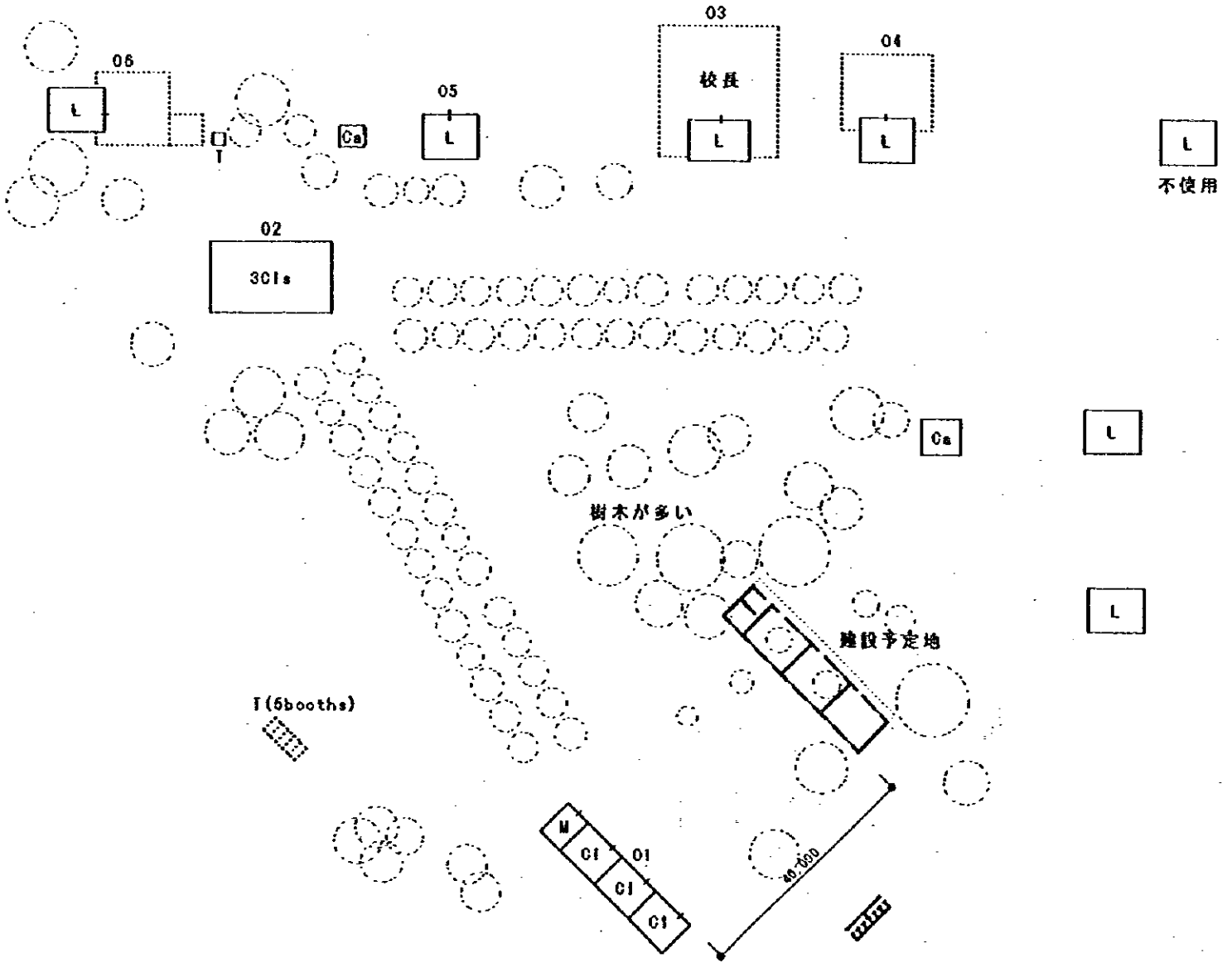
凡例

- Cl: 教室
- L: 教員住宅
- I: 便所棟
- Ga: 台所
- M: 倉庫

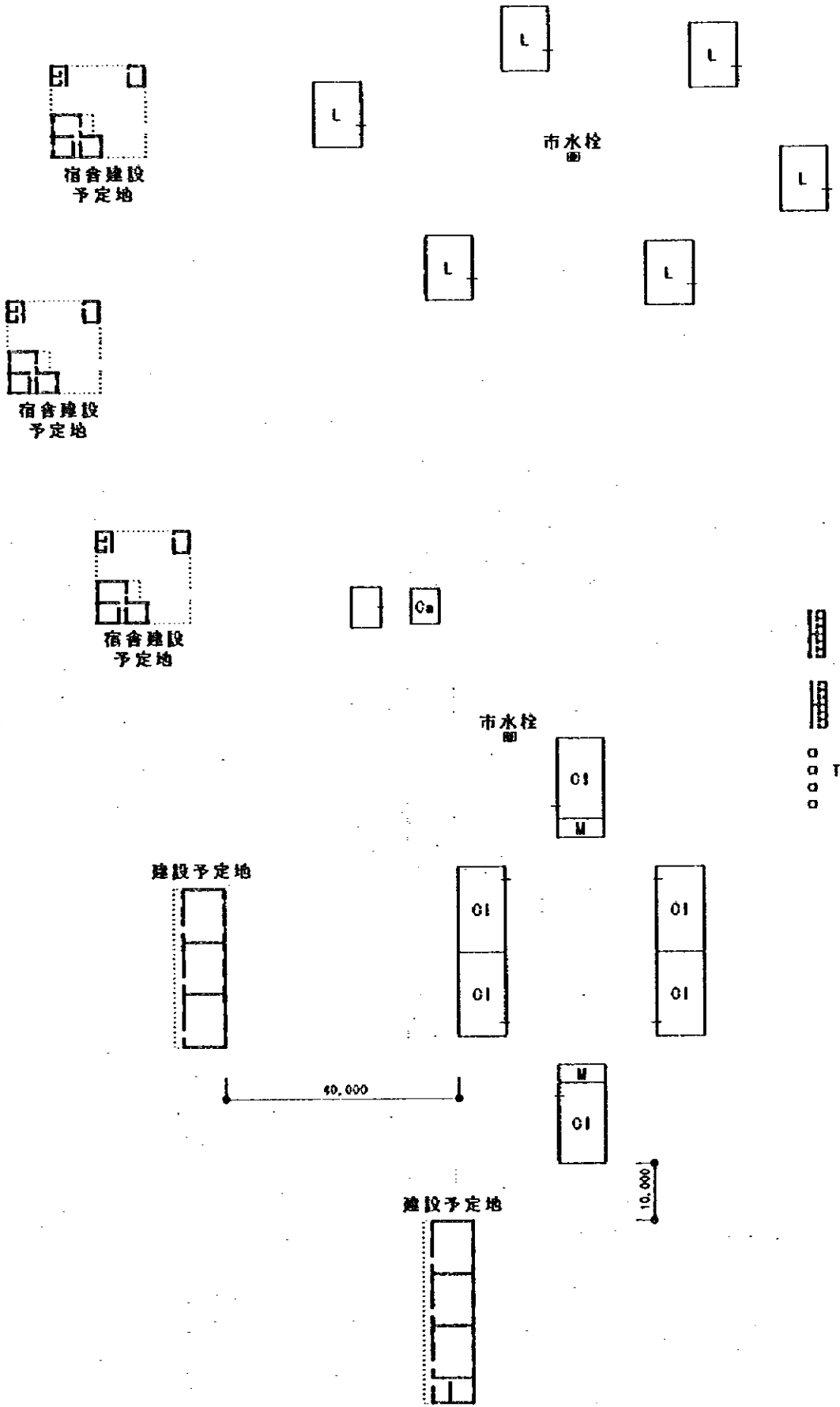
井戸

 学校敷地外



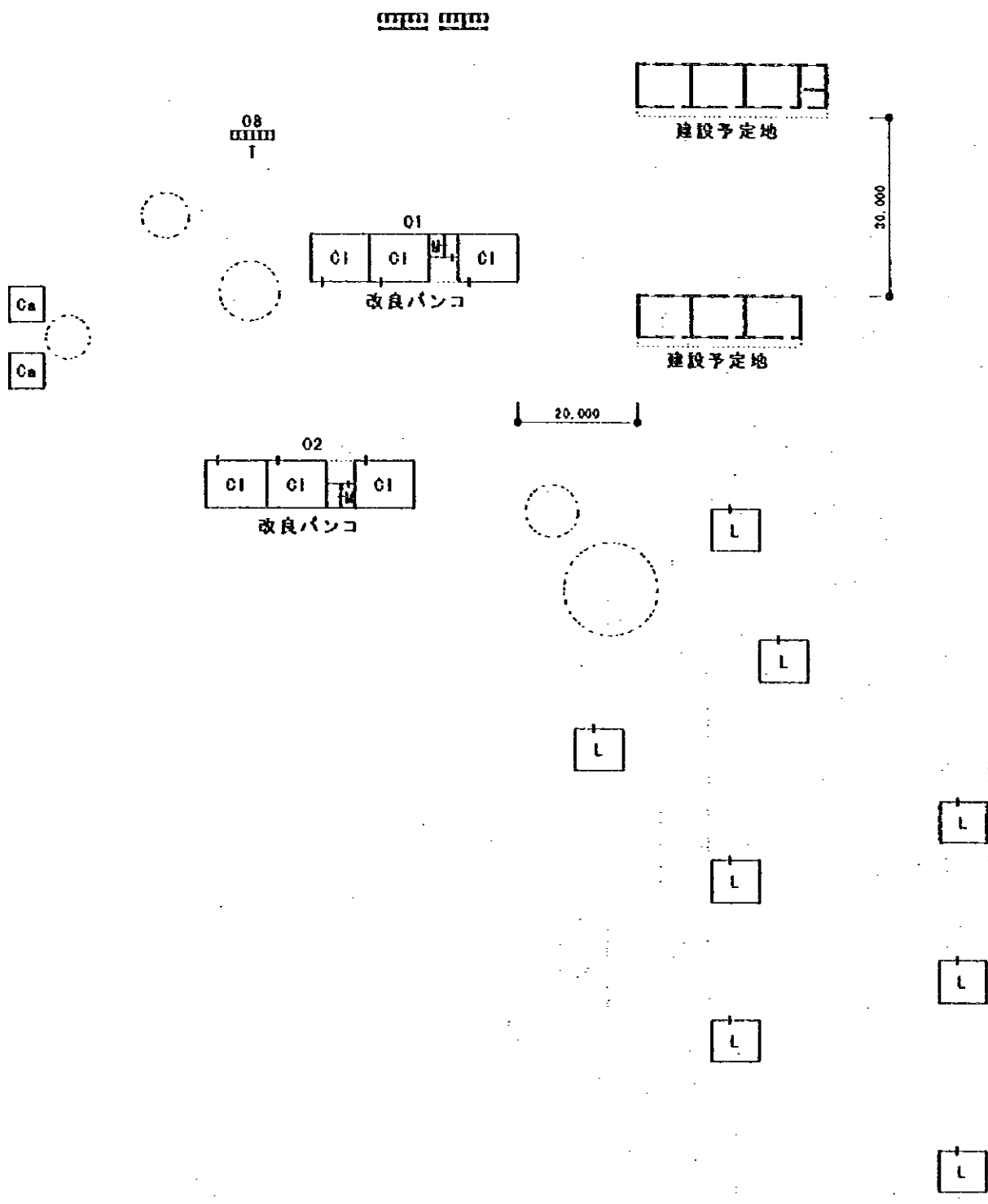
- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫

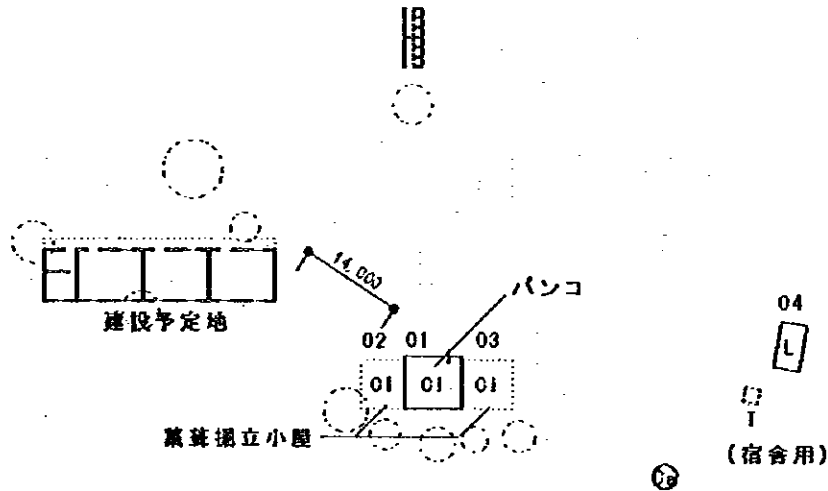


- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 I: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫

06



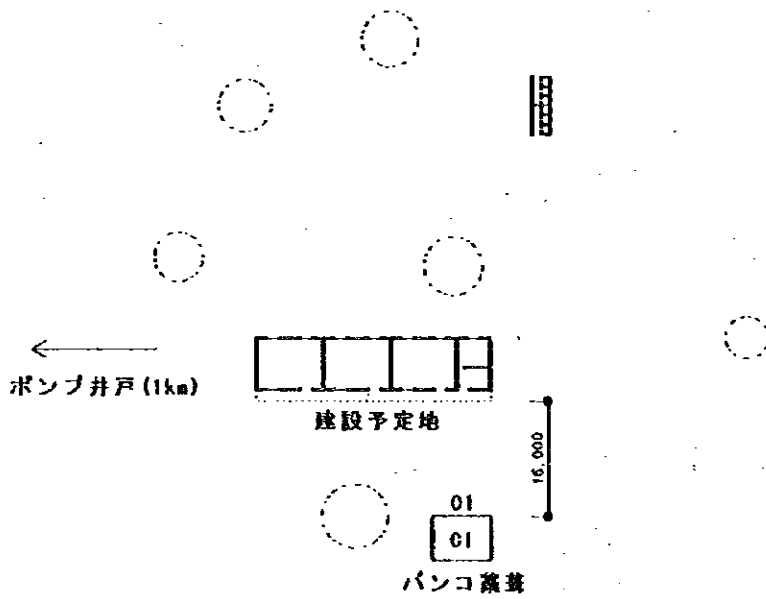
05



井戸 (800m)



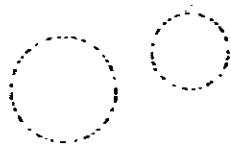
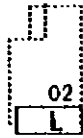
- 凡例
Cl: 教室
L: 教員住宅
T: 便所棟
Ca: 台所
M: 倉庫



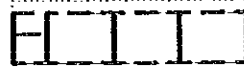
樹木少ない荒れた広い空地

- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫

ポンプ井戸 (800m)



周囲より小高い広い台地



建設予定地

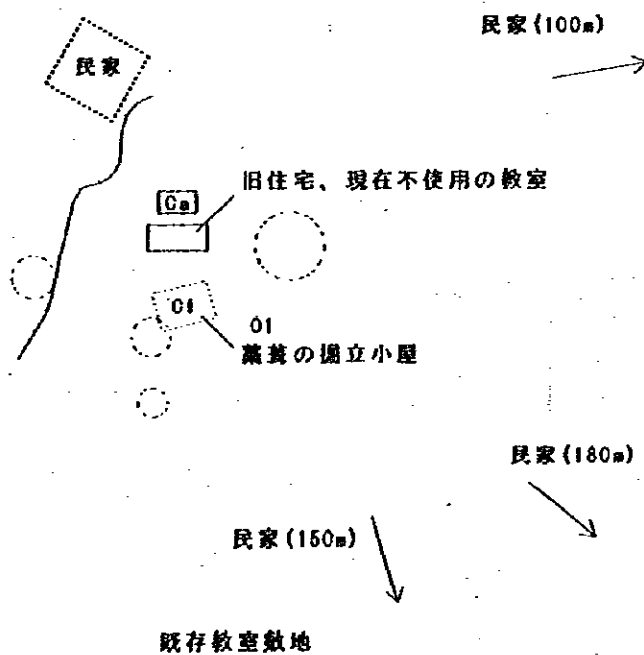
60,000

ブッシュ (200m)



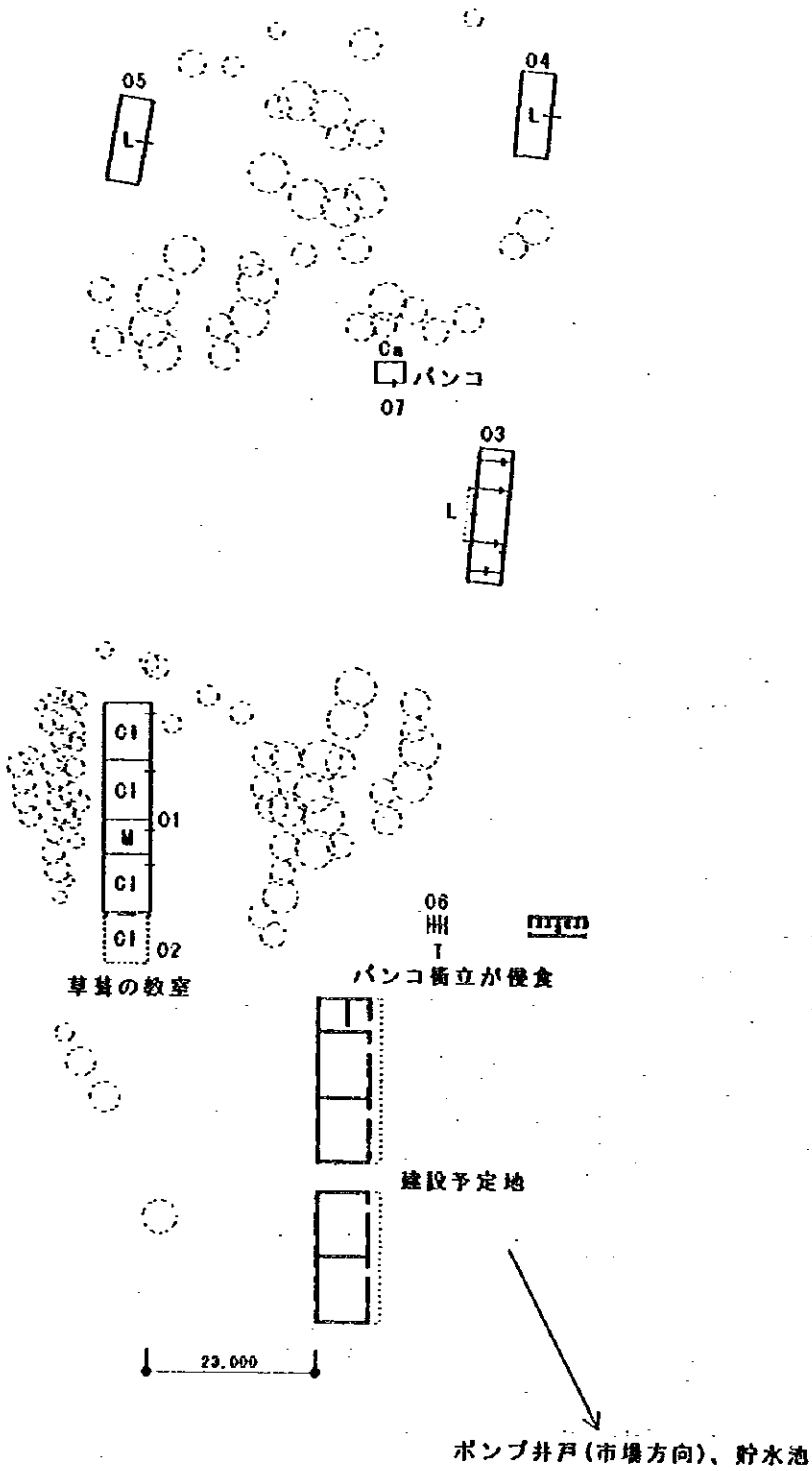
新校舎建設予定地は既存教室敷地より500m離れている

建設予定敷地



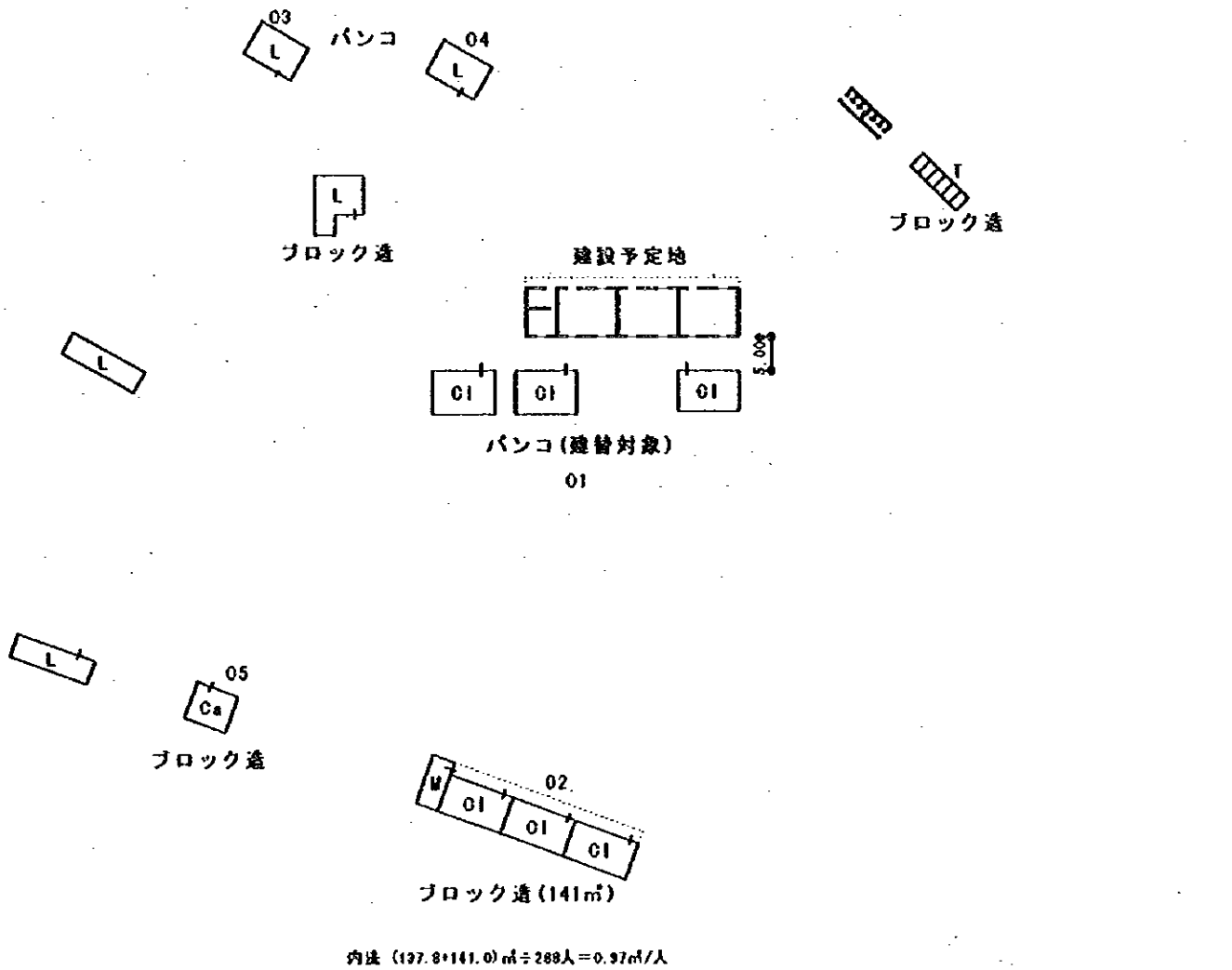
既存教室敷地

- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



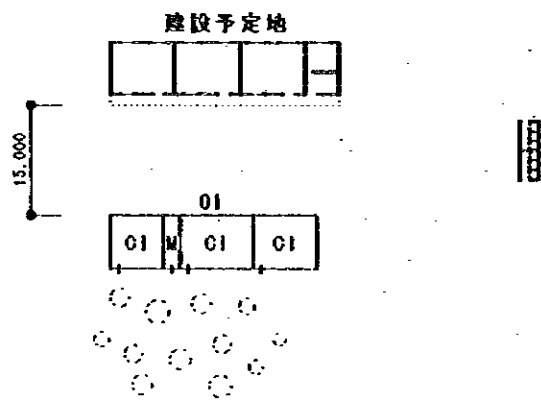
凡例

- Cl: 教室
- L: 教員住宅
- T: 便所棟
- Ca: 台所
- M: 倉庫



凡例

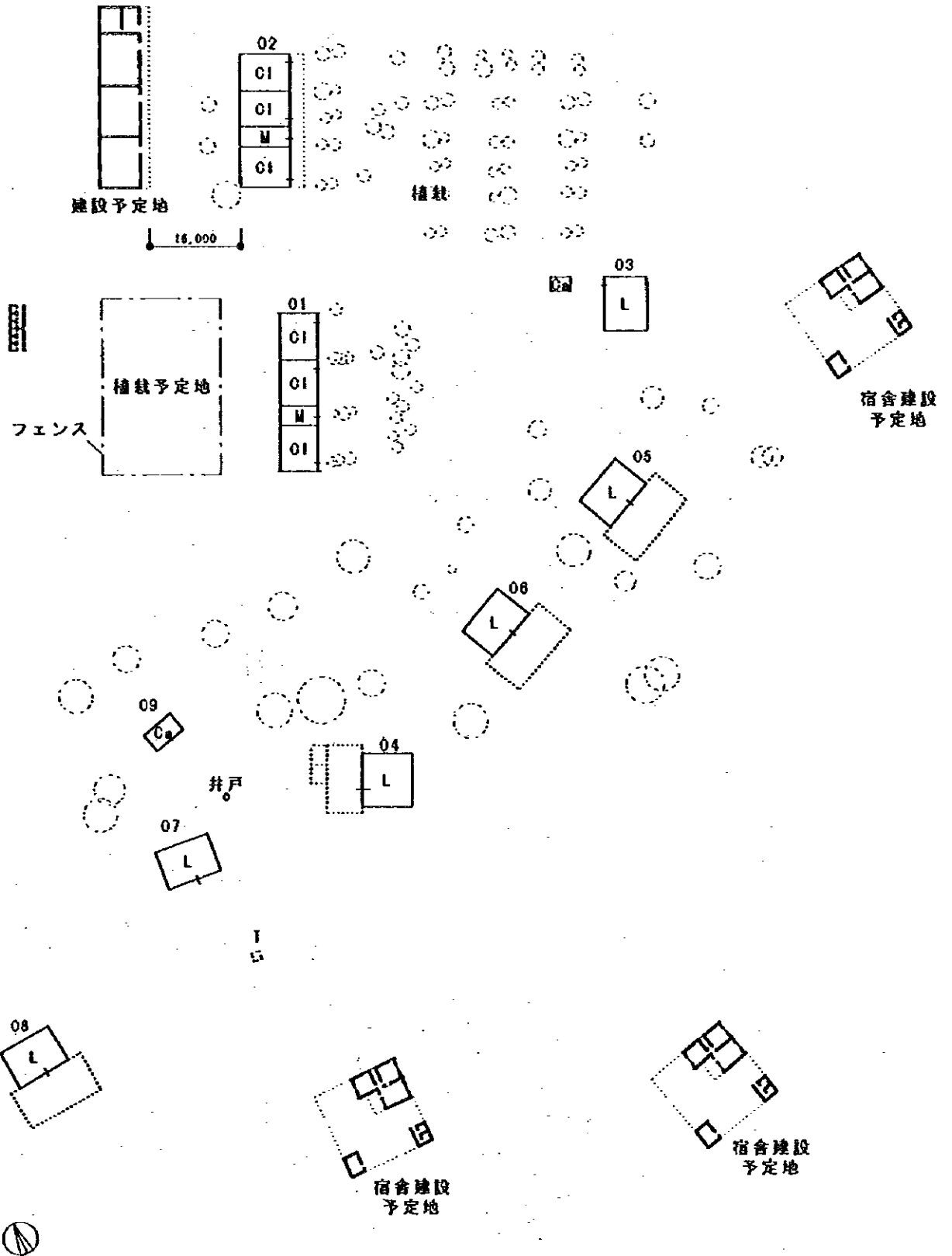
- Cl: 教室
- L: 教員住宅
- I: 便所棟
- Ca: 台所
- M: 倉庫



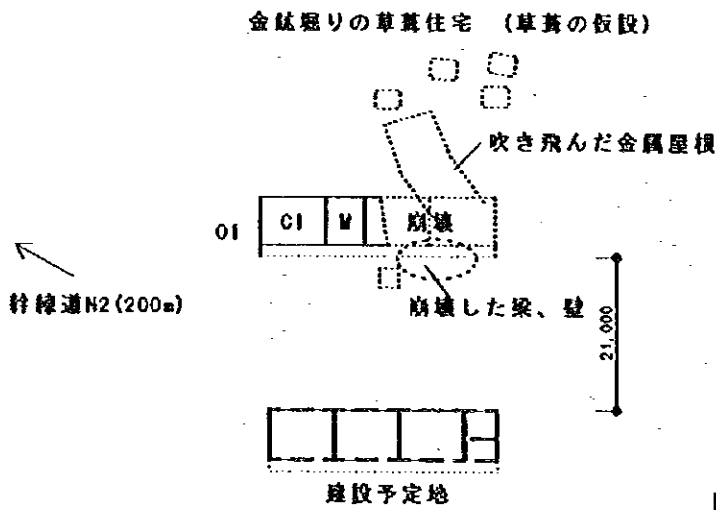
井戸
○
学校敷地外



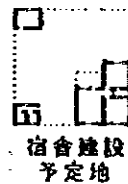
- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



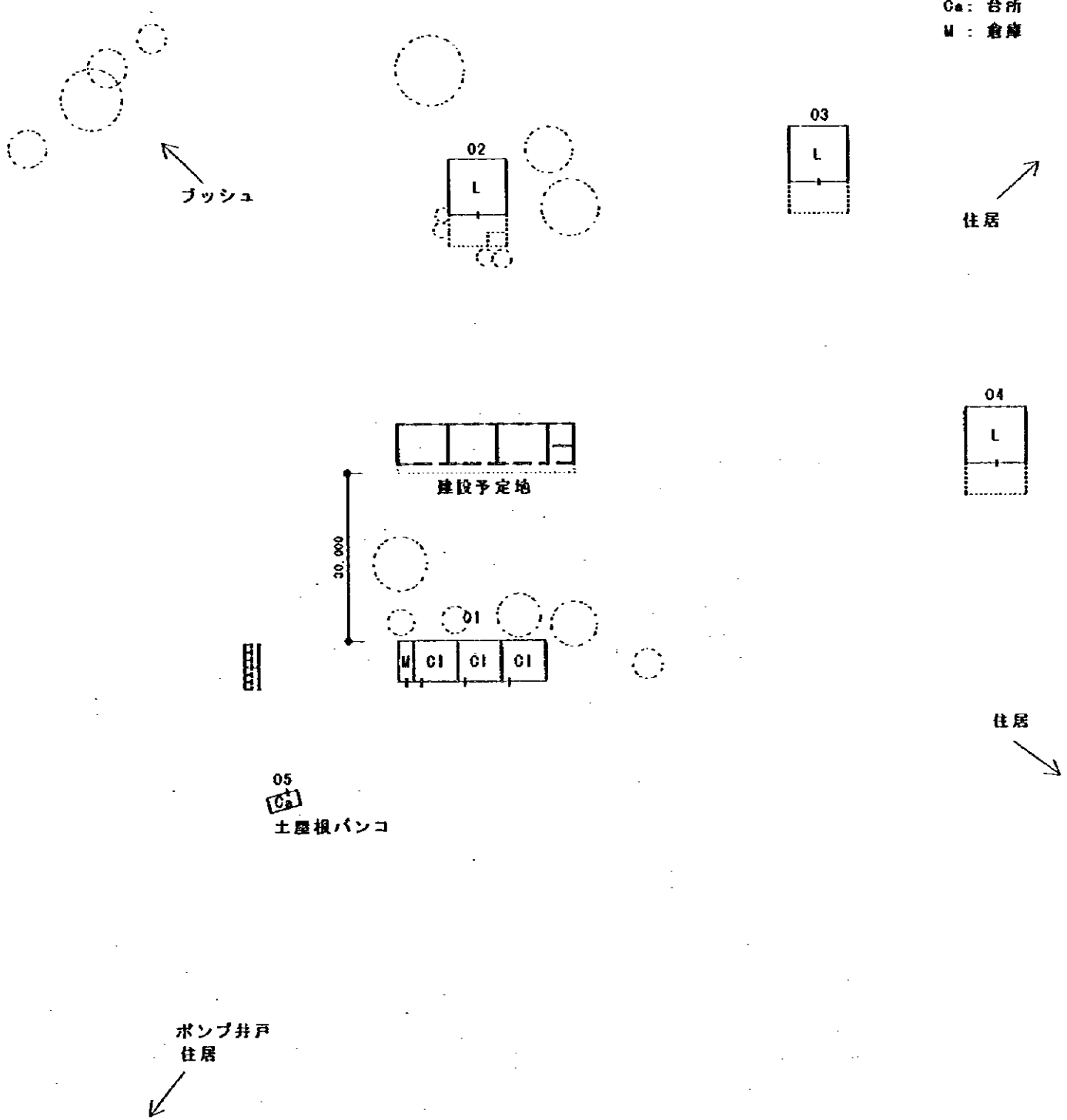
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 厕所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



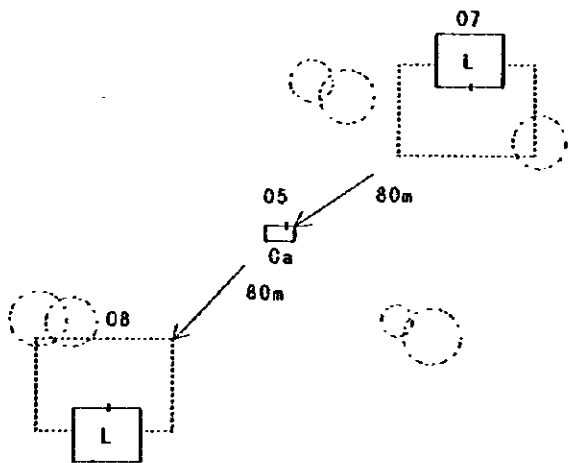
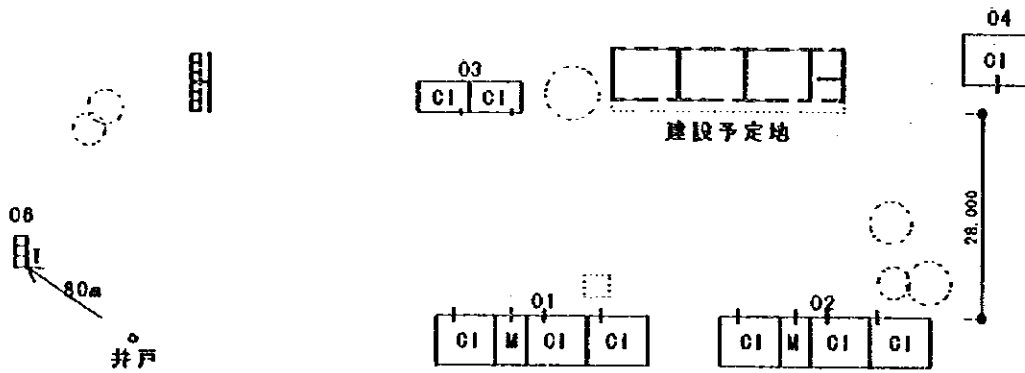
貯水池 (1km)



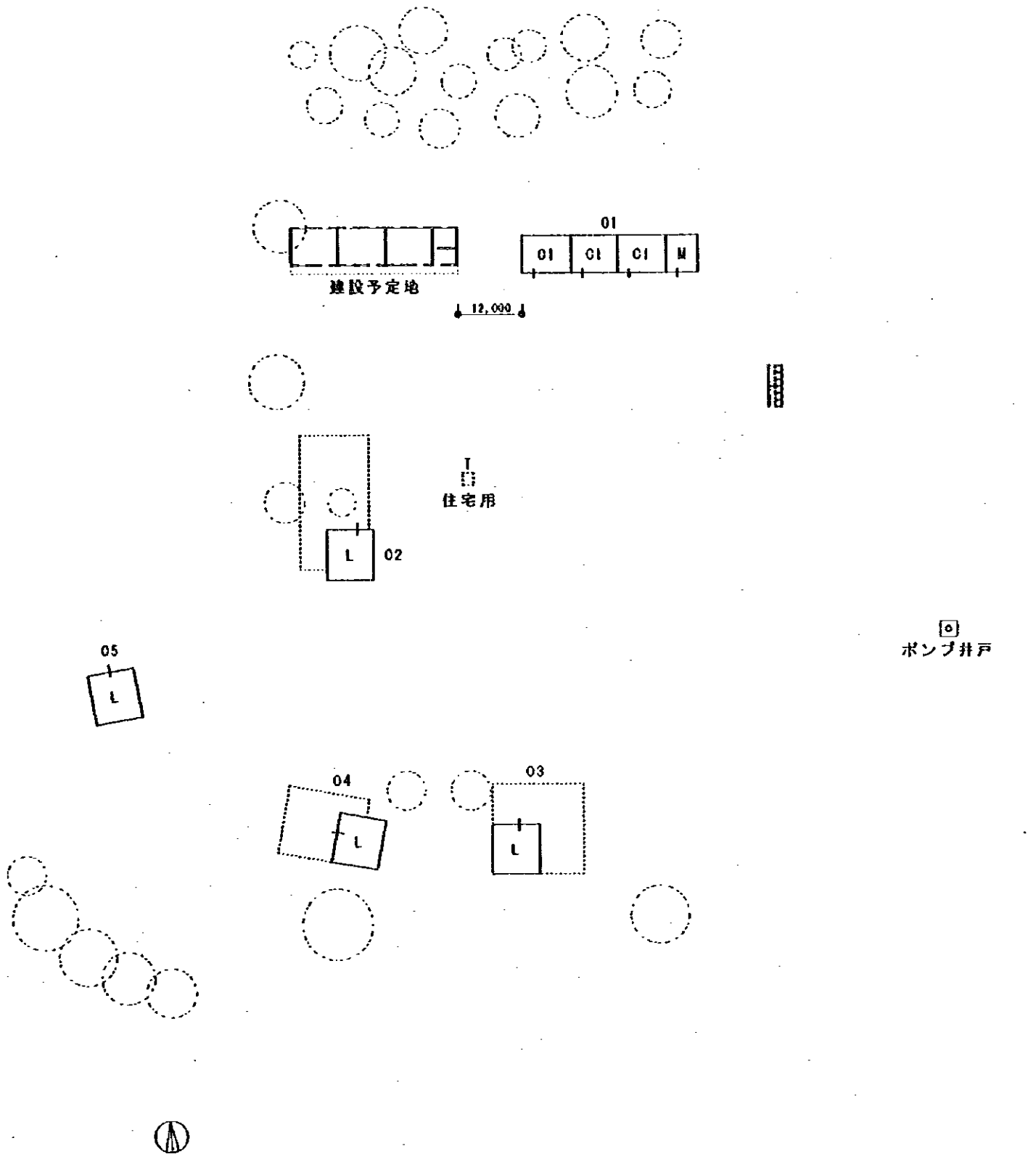
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



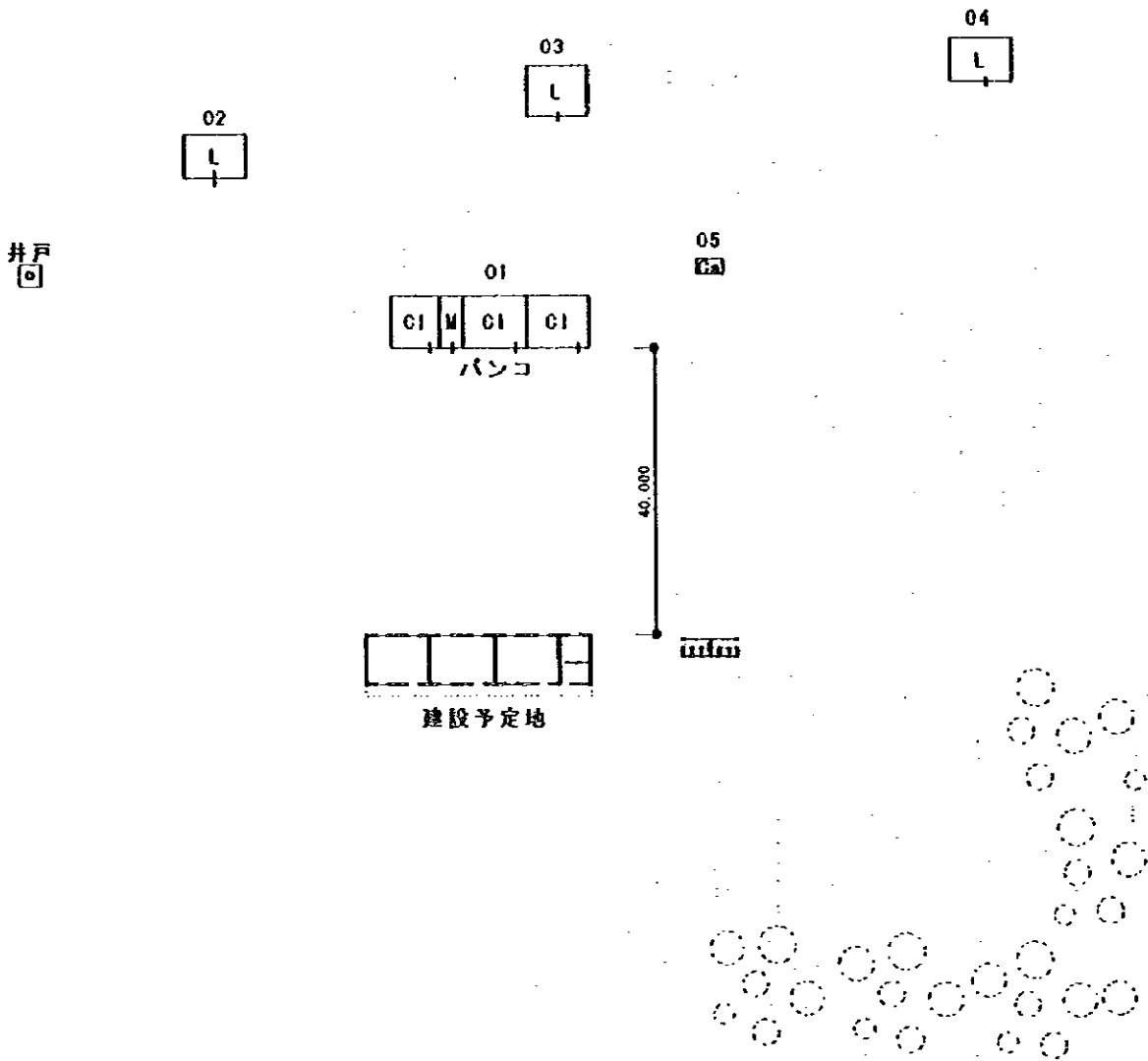
- 凡例
 Cl: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



- 凡例
 O1: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫

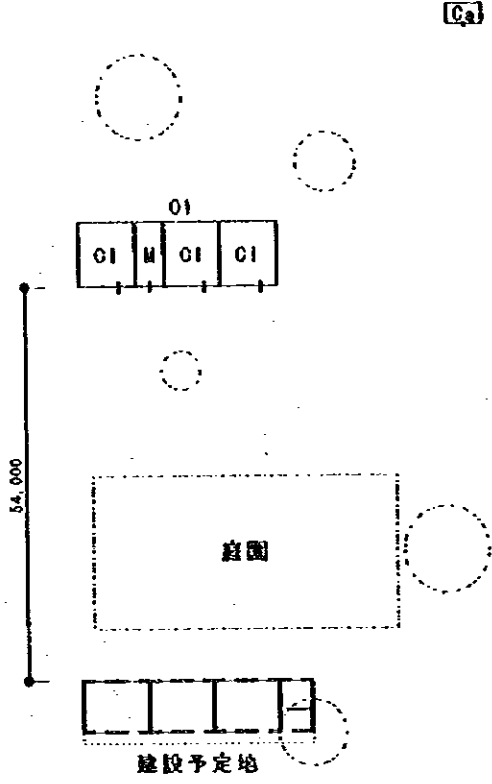
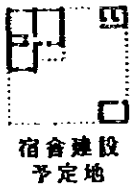
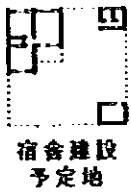
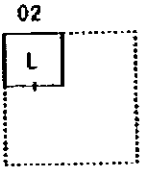


- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



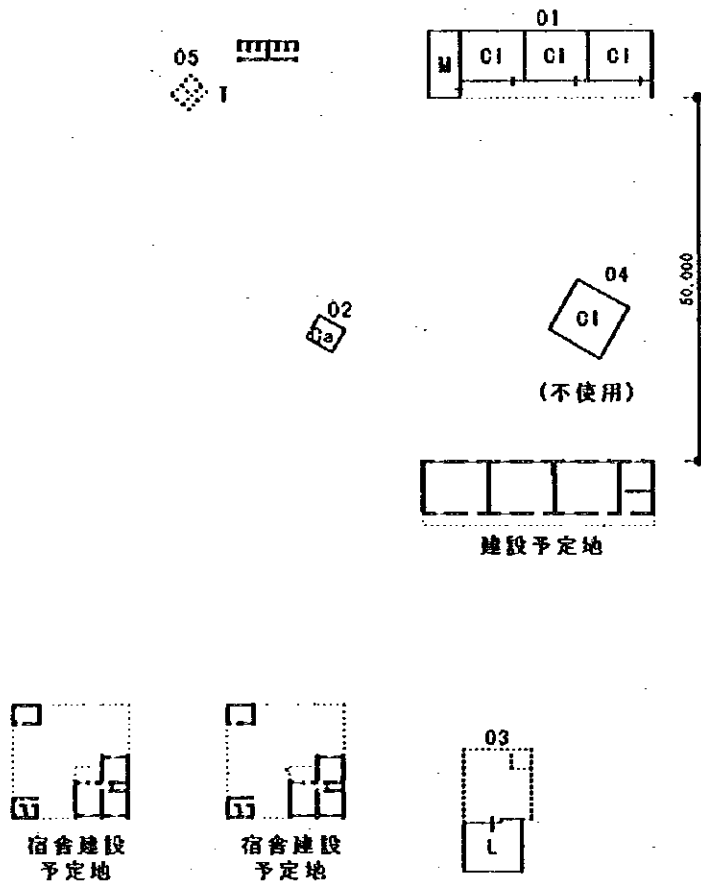
SANQUIE 05 Sandie '97.04/08

- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



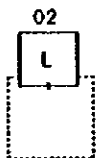
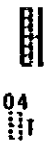
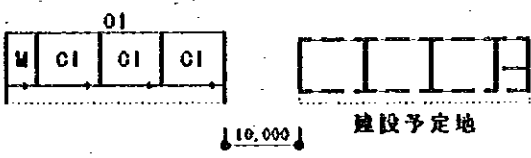
凡例

- CI : 教室
- L : 教員住宅
- T : 便所棟
- Ga : 台所
- M : 倉庫



- 凡例
- Cl: 教室
 - L: 教員住宅
 - T: 便所棟
 - Ca: 台所
 - M: 倉庫

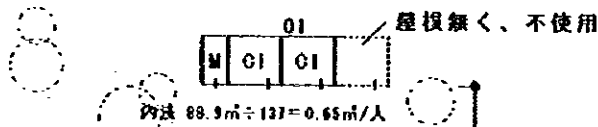
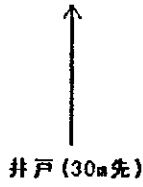
03
Ca



井戸

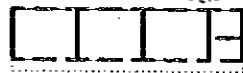


- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



内法 $88.9m \div 137 = 0.65m^2/人$

25.000



建設予定地

周囲は広大な荒地

成人識字教育用屋外教室(草葎覆い)

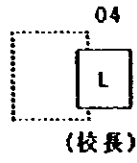


3つの住居は屋根が無く不使用

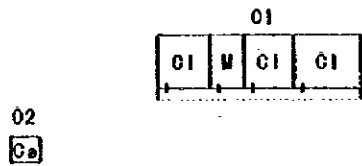
兼路 (100m)



- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



①



グランド

周囲は広い荒地

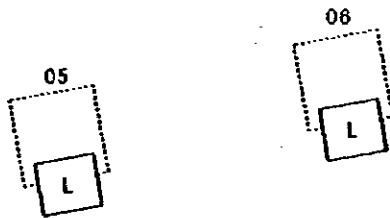
80,000

フェンス



道路

建設予定地



民家

凡例

- GI: 教室
- L: 教員住宅
- T: 便所棟
- : 台所
- : 倉庫

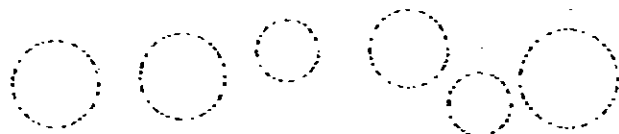
道路

9,000



建設予定地(A棟)

11,000



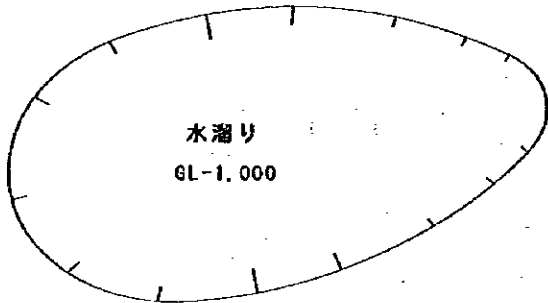
建設予定地(B棟)

23,000

▽2棟建てる場合の敷地境界線

民家

道路



水溜り
GL-1,000

民家

道路

SANGUIE 14 Reo Secteur C は対象外

現敷地はカトリックミッションの施設(1500㎡先)を借りている。

23,000

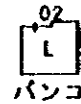
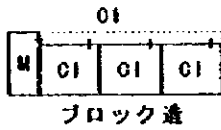
道路
↓ 民家

- 凡例
CI: 教室
L: 教員住宅
I: 便所棟
Ca: 台所
M: 倉庫

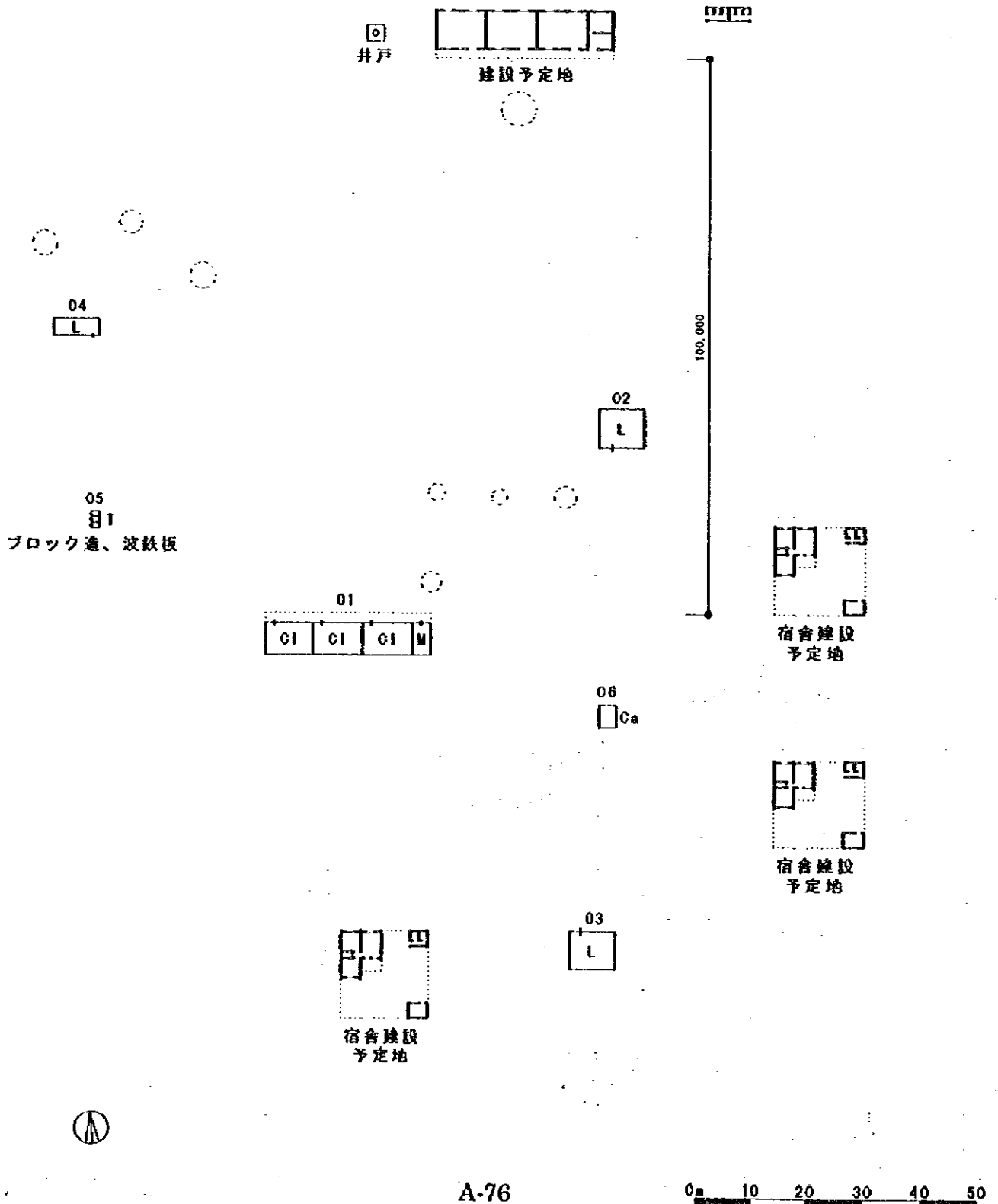


100.000

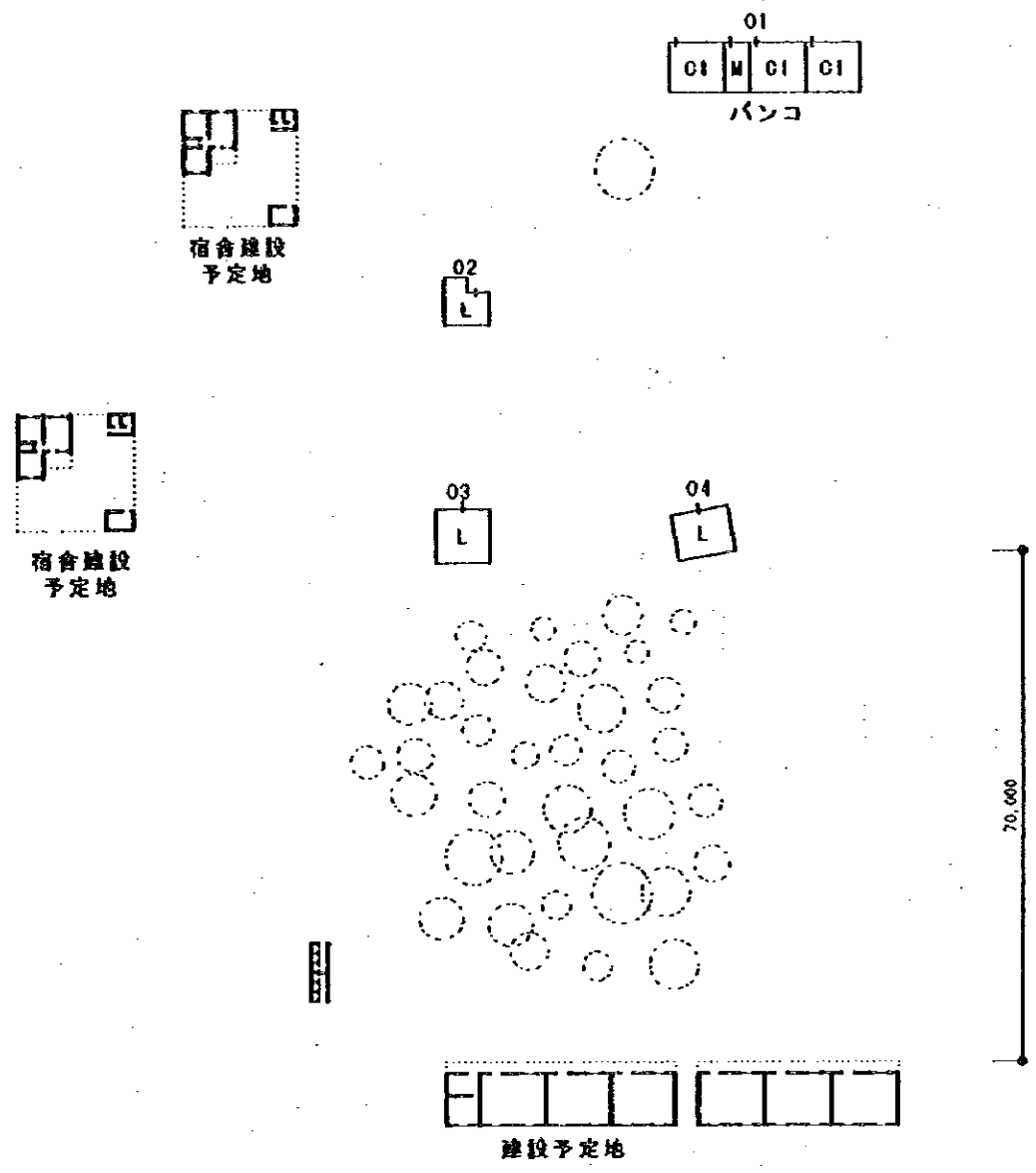
03
ブロック、波鉄板



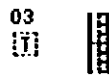
- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 I: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



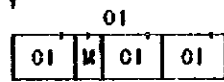
- 凡例
- Cl: 教室
 - L: 教員住宅
 - I: 便所棟
 - Ca: 台所
 - M: 倉庫



- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 I: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



10,000

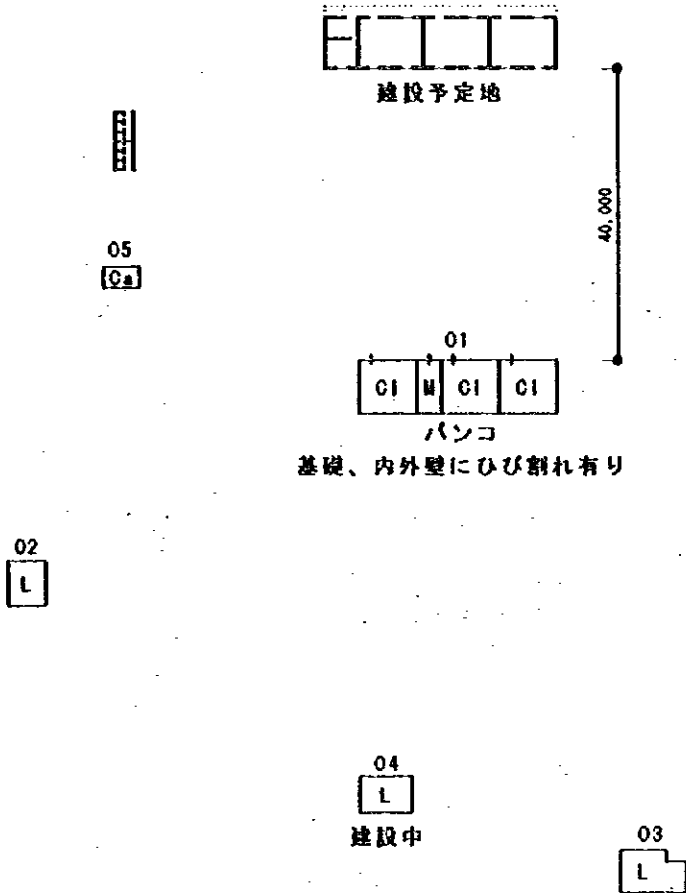


バンコ
外壁に割れ多い

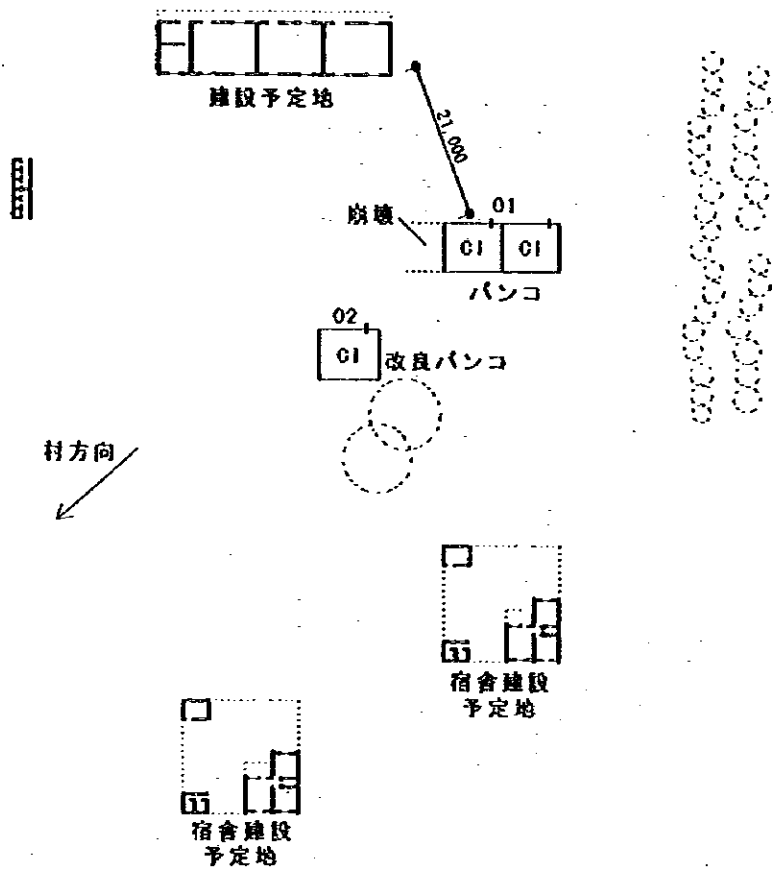


凡例

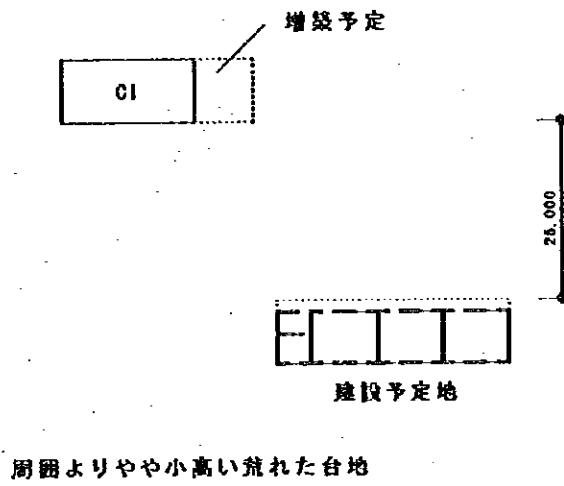
- CI: 教室
- L: 教員住宅
- Y: 便所棟
- Ca: 台所
- M: 倉庫



- 凡例
 C1: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



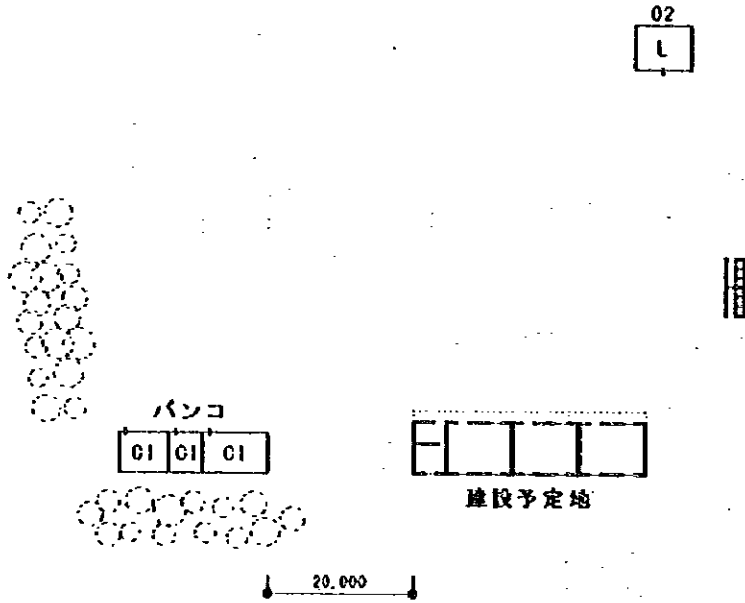
- 凡例
Cl: 教室
L: 教員住宅
T: 便所棟
Ca: 台所
M: 倉庫



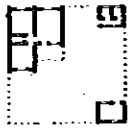
4~500m離れた村内に仮設のバンコ教室と旧青年農業訓練所(CFJA)利用の教室がある
数百m離れた位置にラテライトブロック石切り場がある。



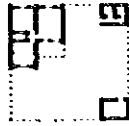
- 凡例
Cl: 教室
L: 教員住宅
T: 便所棟
Ca: 台所
M: 倉庫



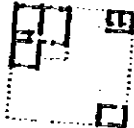
- 凡例
 OI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



宿舎建設
予定地



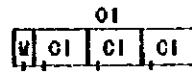
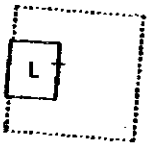
宿舎建設
予定地



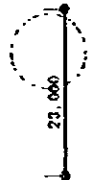
宿舎建設
予定地

05

04



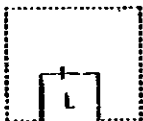
01
 改良パンコ
 内法 87m ÷ 122人 = 0.71m²/人



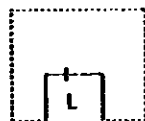
建設予定地

樹木少ない広い空地

03



02

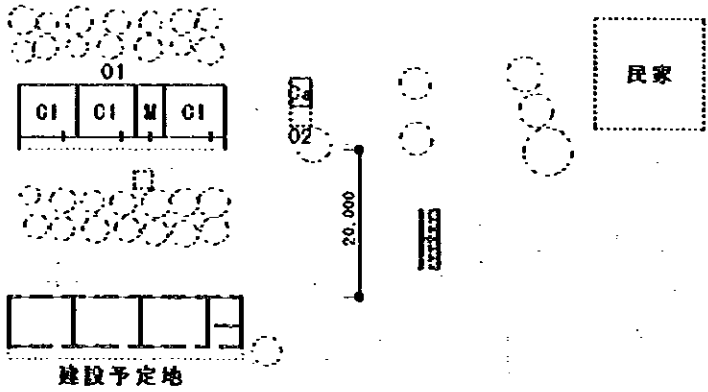


Ca

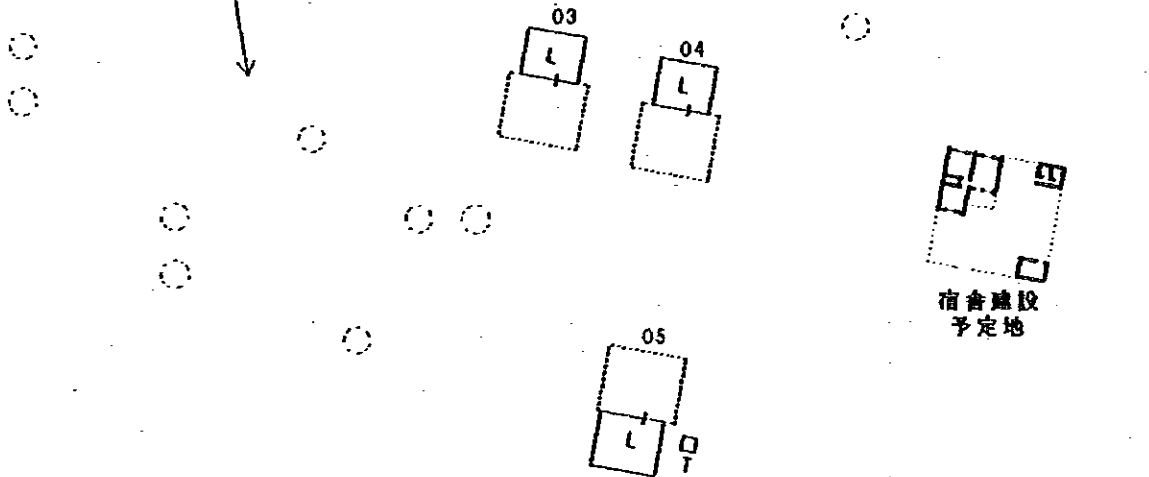


- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫

内法 144.9m² ÷ 198人 = 0.73m²/人

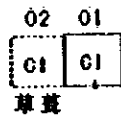


ポンプ深井戸 (200m先)



凡例

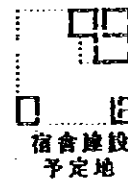
- Cl: 教室
- L: 教員住宅
- T: 便所棟
- Ca: 台所
- M: 倉庫



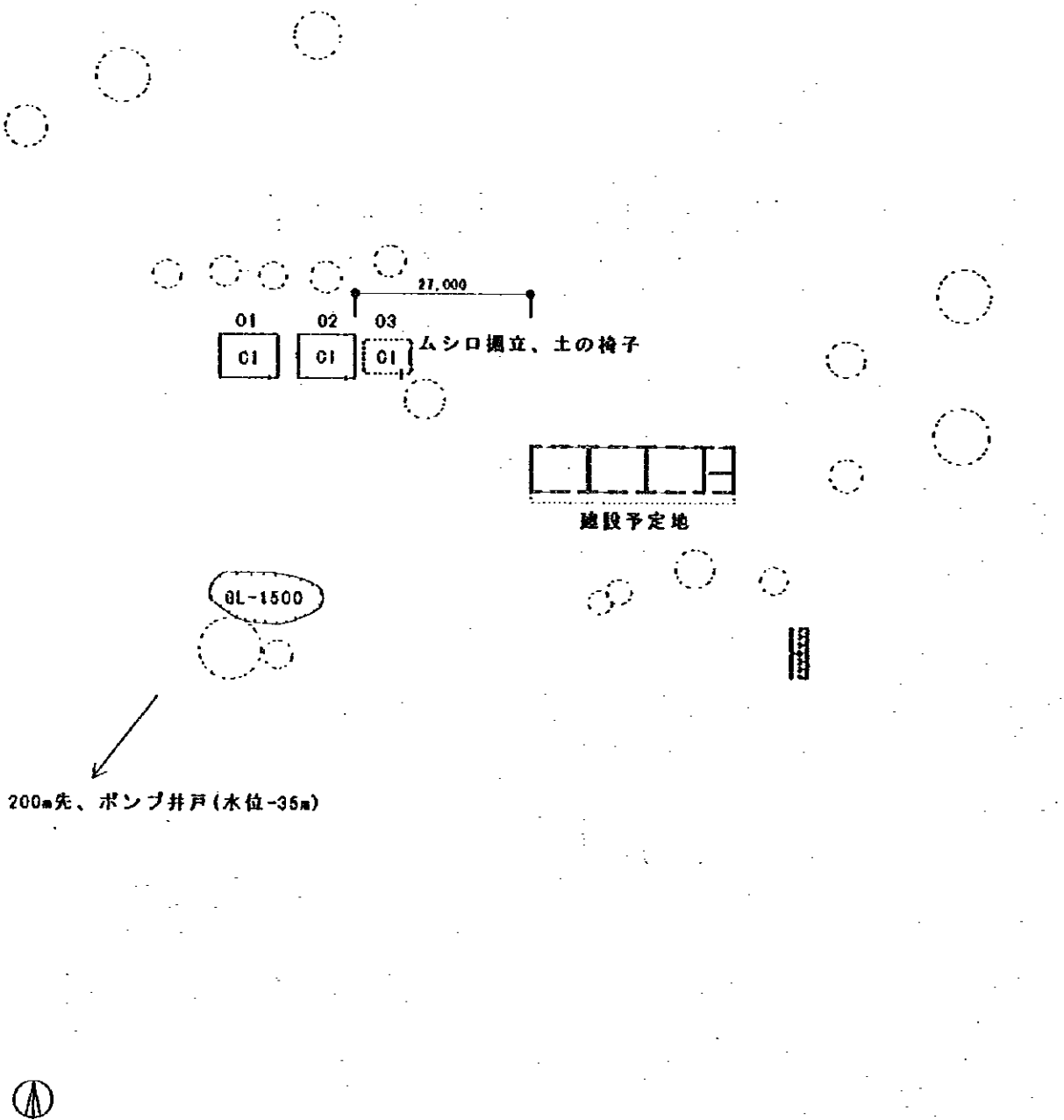
15,000



井戸無し



- 凡例
Cl: 教室
L: 教員住宅
T: 便所棟
Ca: 台所
M: 倉庫

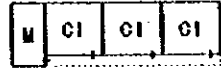


凡例

- CI: 教室
- L: 教員住宅
- I: 便所棟
- Ca: 台所
- M: 倉庫

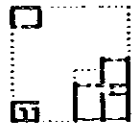


03



コンクリートブロック

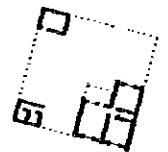
井戸
□



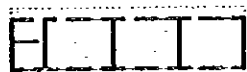
宿舎建設
予定地



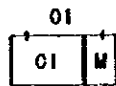
Ca



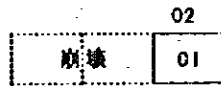
宿舎建設
予定地



建設予定地

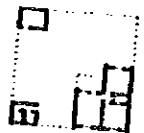


バンク



バンク

10,000

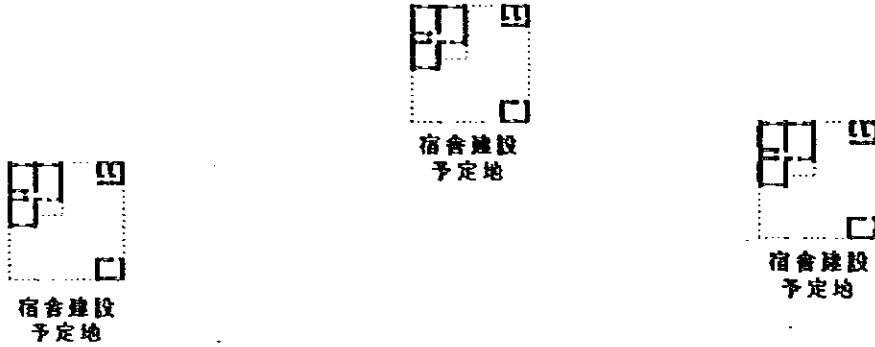


宿舎建設
予定地

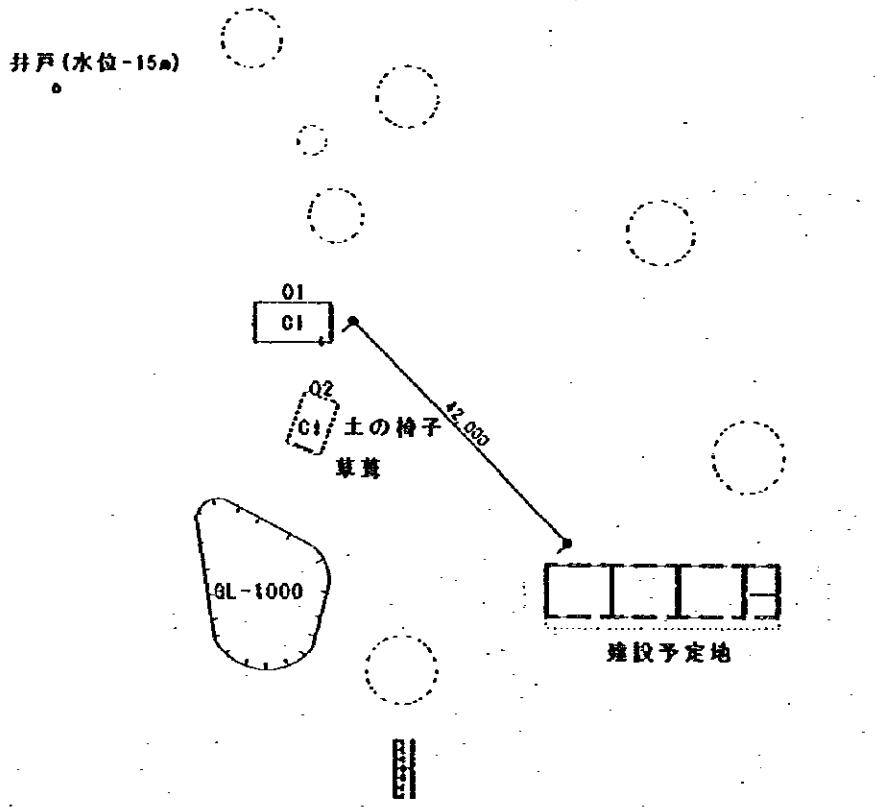


凡例

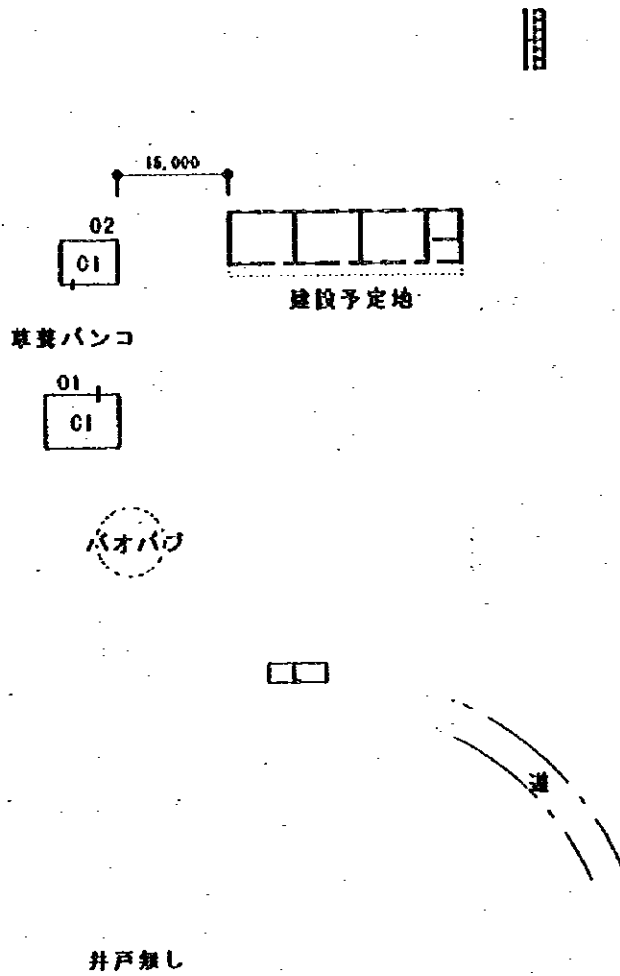
- O1: 教室
- L: 教員住宅
- I: 便所棟
- Om: 台所
- M: 倉庫



敷地は広大な荒れ地

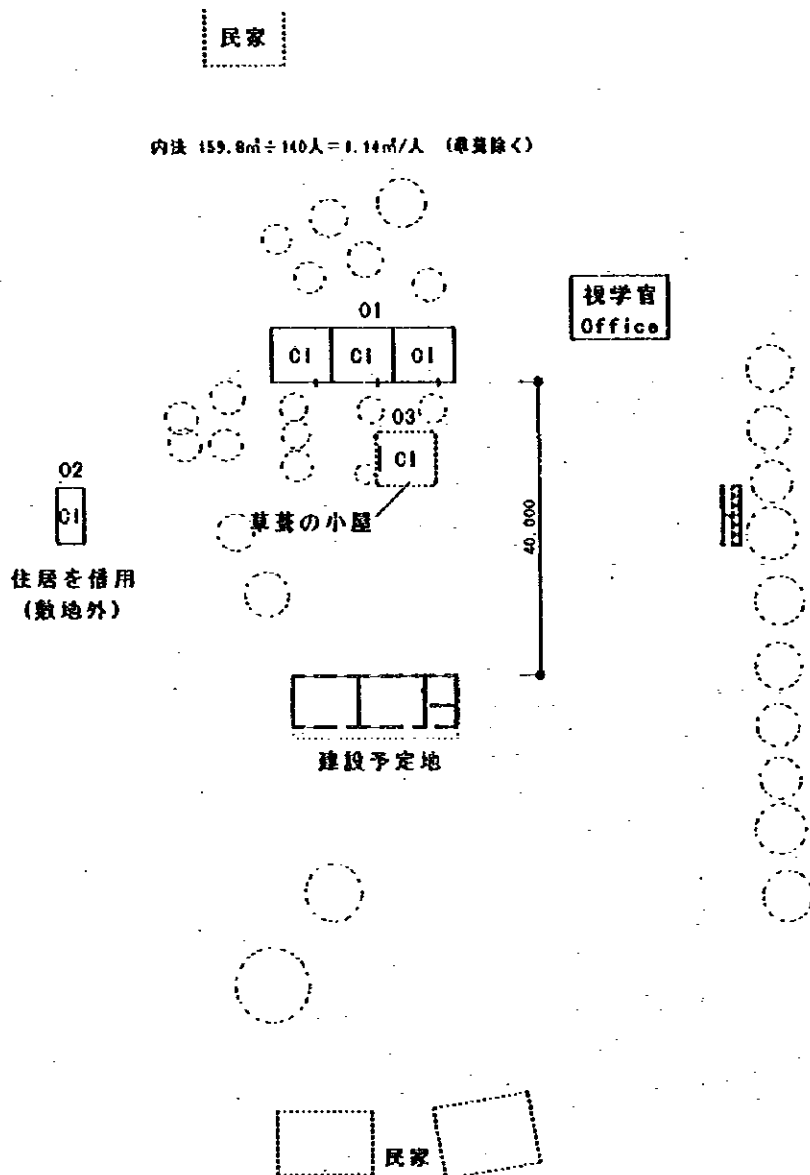


- 凡例
C1: 教室
L: 教員住宅
I: 便所棟
Ca: 台所
M: 倉庫

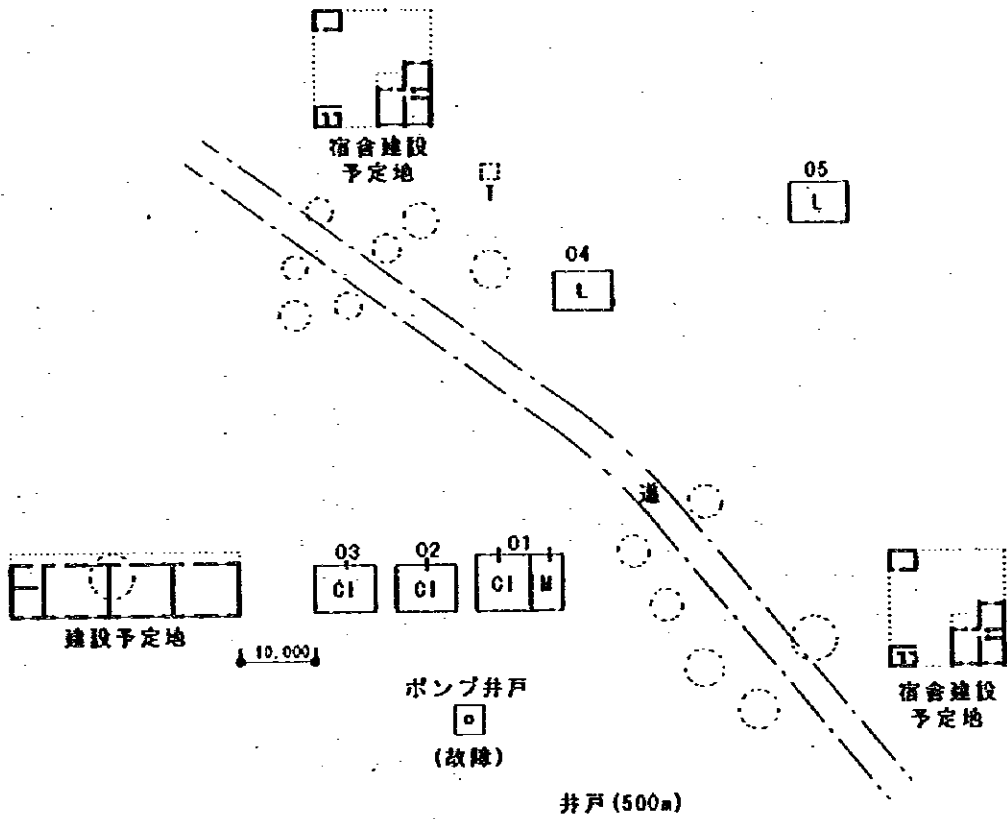


凡例

- C1: 教室
- L: 教員住宅
- T: 便所棟
- Ga: 台所
- M: 倉庫



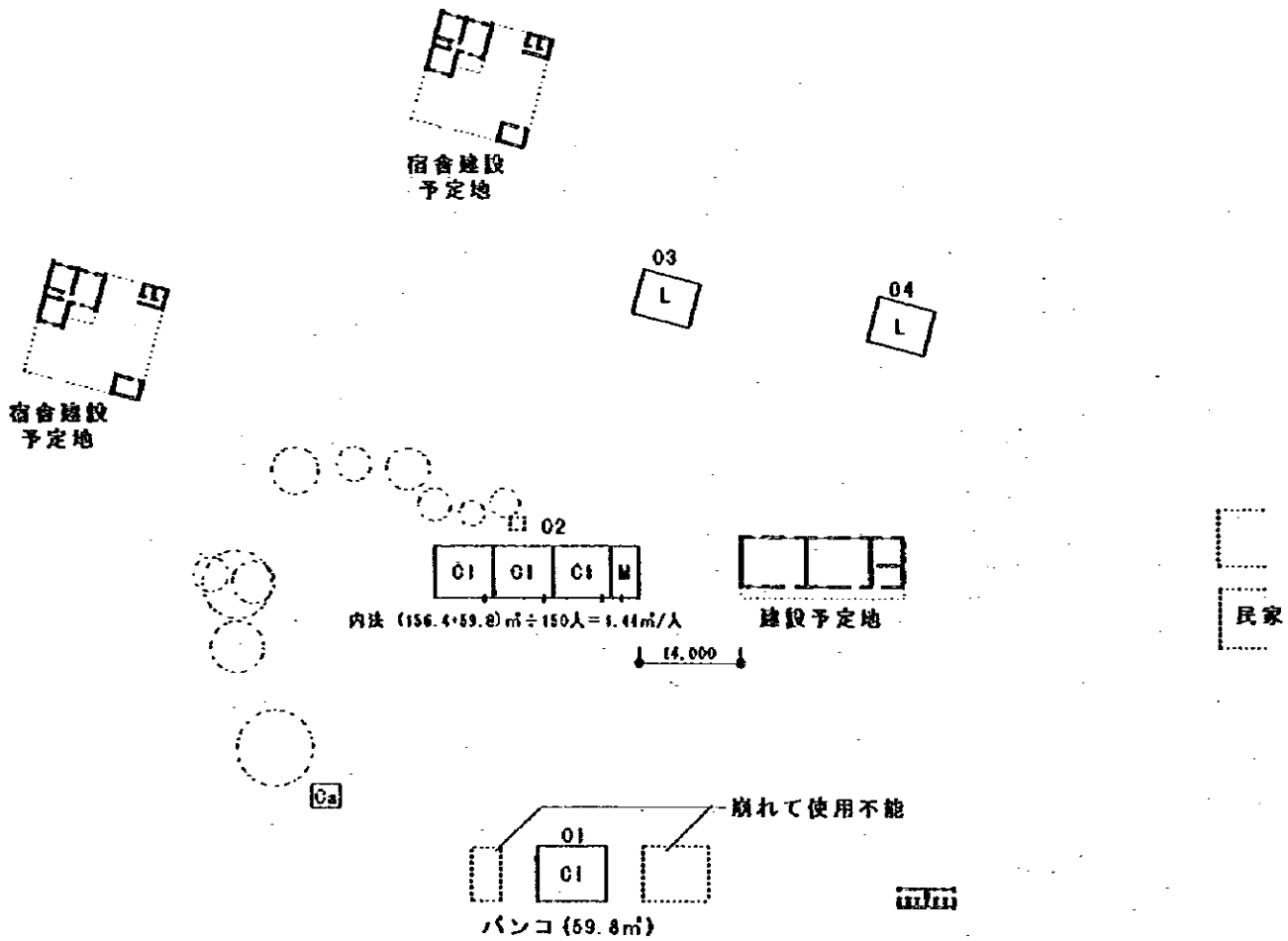
- 凡例
 C1: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



樹木少ない荒れた広い空地



- 凡例
 CI: 教室
 L: 教員住宅
 T: 便所棟
 Ca: 台所
 M: 倉庫



JICA